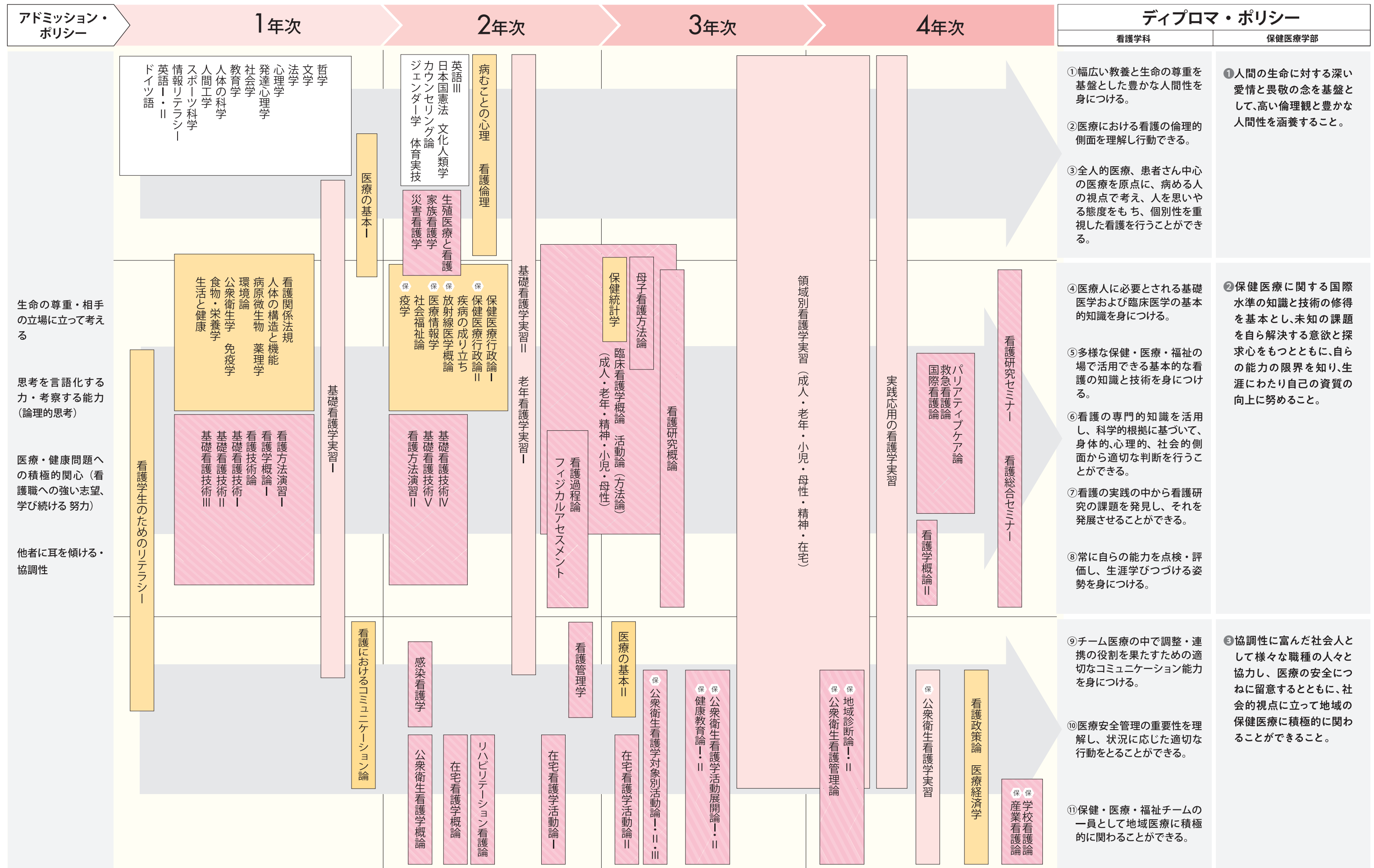




【令和7年度 看護学科2年次 時間割表】

*：選択科目

○：[養護教諭Ⅱ種免許]必修科目

●：[看護師]選択科目、[保健師]必修科目

<前期>

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9:00 ～ 10:30	疾病の成り立ちⅠ (茅野)	災害看護学 (村田)	社会福祉論 (小林)	疫学● (高橋)	成人看護学概論 (栗生田)	体育実技*○ (田中)
2 10:40 ～ 12:10	文化人類学* (田口) ジェンダー学* (田口)	病むことの心理 (大賀)	在宅看護学概論 (千田)		家族看護学 (山路)	
3 13:10 ～ 14:40	小児看護学概論 (土師)	母性看護学概論 (大森)	基礎看護技術Ⅴ (横山) 看護方法演習Ⅱ (関根)	保健医療行政論Ⅰ (加藤) 基礎看護技術Ⅳ (山崎)	公衆衛生看護学概論 (千田)	カウンセリング論 (大久保)
4 14:50 ～ 16:20	疾病の成り立ちⅡ (茅野)	フィジカルアセスメント (本谷)	基礎看護技術Ⅴ (横山) 看護方法演習Ⅱ (関根)	保健医療行政論Ⅰ (加藤) 基礎看護技術Ⅳ (山崎)	疾病の成り立ちⅠ (茅野)	カウンセリング論 (大久保)
5 16:30 ～ 18:00					感染看護学 (櫻井)	カウンセリング論 (大久保)

・老年看護学実習Ⅰ(鳥谷)

<後期>

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9:00 ～ 10:30	看護管理学 (横山)	リハビリテーション看護論 (栗生田)	老年看護学概論 (丸井)	精神看護学概論 (大賀)	医療情報学● (鈴木)	体育実技*○ (田中)
2 10:40 ～ 12:10	放射線医学概論 (久慈)	疾病の成り立ちⅢ (茅野)	成人看護学方法論Ⅰ (本谷)	疾病の成り立ちⅢ (茅野)	英語Ⅲ* (間山)	
3 13:10 ～ 14:40	日本国憲法*○ (植田)	在宅看護学活動論Ⅰ (西岡)	母性看護学活動論 (大森)	保健医療行政論Ⅱ● (加藤) 看護倫理 (松坂)	小児看護学活動論 (土師)	
4 14:50 ～ 16:20	看護過程論 (大澤) 生殖医療と看護* (大森)			保健医療行政論Ⅱ● (加藤) 看護倫理 (松坂)		
5 16:30 ～ 18:00	看護過程論 (大澤)					

・基礎看護学実習Ⅱ(横山)

※日程の詳細は、シラバスにて確認すること。

目 次

科目名(科目責任者)

<生活している人間の理解>

—人文科学系—

日本国憲法(植田 俊太郎)	9
---------------------	---

—社会科学系—

文化人類学(田口 亜紗)	12
カウンセリング論(大久保 美香)	15
ジェンダー学(田口 亜紗)	19

—自然科学系—

体育実技(田中 俊之)	22
-------------------	----

—外国語—

英語Ⅲ(間山 伸)	28
-----------------	----

<看護の対象としての人間の理解>

—医療と人間—

看護倫理(松坂 充子)	32
病むことの心理(大賀 淳子)	36

—人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進—

疾病の成り立ちⅠ(茅野 秀一)	40
疾病の成り立ちⅡ(茅野 秀一)	47
疾病の成り立ちⅢ(茅野 秀一)	51
放射線医学概論(久慈 一英)	59

—健康支援と社会保障制度—

社会福祉論(小林 明弘)	62
保健医療行政論Ⅰ(加藤 巳佐子)	64
保健医療行政論Ⅱ(加藤 巳佐子)	67

—健康現象の疫学と統計—

医療情報学(鈴木 康文)	71
疫学(高橋 美保子)	75

<看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得>

—看護専門分野—

基礎看護技術Ⅳ(食事・排泄の援助技術)(山崎 美智子)	79
基礎看護技術Ⅴ(検査・治療における援助技術)(横山 ひろみ)	83
看護方法演習Ⅱ(関根 由紀子)	87
成人看護学概論(栗生田 友子)	91
成人看護学方法論Ⅰ(慢性期の看護)(本谷 久美子)	95
老年看護学概論(丸井 明美)	99
小児看護学概論(土師 しのぶ)	103

小児看護学活動論（土師　しのぶ）	107
母性看護学概論（大森　智美）	113
母性看護学活動論（大森　智美）	117
精神看護学概論（大賀　淳子）	123
在宅看護学概論（千田　みゆき）	127
在宅看護学活動論Ⅰ（西岡　ひとみ）	131
公衆衛生看護学概論（千田　みゆき）	135
看護管理学（横山　ひろみ）	139
家族看護学（山路　真佐子）	142
災害看護学（村田　美穂）	146
—ケアの質向上のための看護学—	
感染看護学（櫻井　繭子）	149
看護過程論（大澤　優子）	152
フィジカルアセスメント（本谷　久美子）	156
リハビリテーション看護論（栗生田　友子）	159
生殖医療と看護（大森　智美）	162
—臨地実習—	
基礎看護学実習Ⅱ（横山　ひろみ）	164
老年看護学実習Ⅰ（鳥谷　めぐみ）	165

講義名	日本国憲法		
(副題)	生活している人間の理解（人文科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択（養護教諭：必修）		
配当年次	2年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 植田 俊太郎	非常勤教員（大学外部）

担当教員	植田俊太郎
科目の目標	法学学の基本的な考え方や条文の読み方などを理解した上で、日本国憲法の成り立ちや基本原理、憲法に定められた人権や統治機構について、各回、時事的なトピックとも関連付けながら学習する。それにより、社会生活において有権者・社会人に求められる日本国憲法の基礎知識を身につけるとともに、一見縁遠いものとして考えられがちな憲法が、私たちの日常生活に深くかかわる「身近な法」であることを理解する。
学習の具体的な目標	1) 日本国憲法の成り立ちを説明できる。 2) 日本国憲法の基本原理を説明できる。 3) 社会生活における基本的人権の重要性を説明できる。 4) 国民主権と統治機構の関係を説明できる。 5) 国際社会における平和主義の重要性を説明できる。 6) 多面的な視点をもって日本国憲法を考察できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	3限
	講義室	C408		
	担当者	植田		
	テーマ	ガイダンス 憲法はなぜ必要なのか		
	授業内容	1. 法とはどのようなものであり、その中で憲法が果たす役割がどのようなものであるかを理解し、概略を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分) なお、授業冒頭では、半期間の講義の進め方、評価方法、試験に関するガイダンスを行う。		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	3限
	講義室	C408		
	担当者	植田		
	テーマ	法のしくみ①		
	授業内容	1. 法と道徳、成文法と不文法、法の体系、公法と私法等について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	3限

	講義室	C408			
	担当者	植田			
	テーマ	法のしくみ②			
	授業内容	1. 法の機能、法の解釈、法の効力関係等について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年11月01日(土)	時限	3限	
	講義室	C408			
	担当者	植田			
	テーマ	憲法序論			
	授業内容	1. 立憲主義の誕生と展開、日本国憲法の成立史について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
5	年月日(曜日)	令和 7年11月01日(土)	時限	4限	
	講義室	C408			
	担当者	植田			
	テーマ	日本国憲法の基本原理			
	授業内容	1. 国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の意義と関係性およびその概要について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
6	年月日(曜日)	令和 7年11月03日(月)	時限	3限	
	講義室	C408			
	担当者	植田			
	テーマ	包括的基本権			
	授業内容	1. 幸福追求権、法の下での平等、個人の尊重の意義とその包括的性質について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
7	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	3限	
	講義室	C408			
	担当者	植田			
	テーマ	自由権①			
	授業内容	1. 精神的自由に関する諸権利について、権利の内容、意義およびこれらの権利の優越性について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
8	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	3限	
	講義室	C408			
	担当者	植田			
	テーマ	自由権②			
	授業内容	1. 経済的自由に関する諸権利について、権利の内容、意義およびこれらの権利に関する違憲審査基準等について理解し、説明できる。 2. 身体的自由に関する諸権利について、権利の内容、これらを担保するための刑事手続の基本を理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
9	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	3限	
	講義室	C408			
	担当者	植田			
	テーマ	社会権・参政権			
	授業内容	1. 生存権、教育を受ける権利、勤労の権利、労働基本権等について、権利の内容、意義およびこれらの権利に関して現在生じている諸問題について理解し、説明できる。 2. 参政権の意義および主権者としての選挙への関わり方について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	3限	
	講義室	C408			
	担当者	植田			
	テーマ	新しい人権			

授業内容		1. 新しい人権としてのプライバシーの権利、環境権、自己決定権、知る権利、肖像権等の権利の内容とその意義について理解し、説明できる。 2. 新しい人権の創設基準、限界および「人権のインフレ化現象」について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	3限
	講義室	C408		
	担当者	植田		
	テーマ	立法権		
	授業内容	1. 三権分立およびチェックアンドバランスの意味を理解し、説明できる。 2. 国会の地位と権能、二院制のしくみおよび法律の制定過程等について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	3限
	講義室	C408		
	担当者	植田		
	テーマ	行政権		
	授業内容	1. 内閣の組織、内閣・内閣総理大臣の役割等について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月05日(月)	時限	3限
	講義室	C408		
	担当者	植田		
	テーマ	司法権		
	授業内容	1. 司法権の独立、違憲審査制、三審制のしくみ等を理解し、説明できる。 2. 裁判員制度について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	3限
	講義室	C408		
	担当者	植田		
	テーマ	地方自治・憲法改正問題		
	授業内容	1. 地方自治の本旨、地方自治体の意義および業務等について理解し、説明できる。 2. 憲法改正に関する現状と諸問題について理解し、改正の在り方について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	3限
	講義室	C408		
	担当者	植田		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 学んだことを復習、整理し、その内容について自分の考えを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		1. 後期定期試験期間に、筆記試験を行う。 2. 試験において、持ち込みは一切不可とする。 3. 遅刻・欠席等、授業への参加態度を評価に含む。 4. 定期試験不合格者には、試験終了後に1回のみ再試験を行う。		
教科書		授業ごとに、内容に沿ったプリント・資料等を配布する。		
参考書		1. 『憲法(第8版)』(岩波書店、2023年)、芦部信喜 著、高橋和之 補訂 2. 『法律学への案内(第2版)』(八千代出版、2021年)金津謙、足立文美恵、佐々木彩、今出和利、齋藤美喜 著 3. その他、各回の授業内で重要と思われるものを紹介する。		
連絡先/オフィスアワー		授業内容に関する質問等は、授業後に教室にて受け付ける。		
履修上の注意、履修要件		日本国憲法について、初学者を対象とする。 前もって配布したプリントを予習し、講義後は、学習内容の確認を行うこと。 また、日ごろのニュース(特に法律、政治、社会問題に関する報道)に積極的にアクセスすることを期待する。		

講義名	文化人類学		
(副題)	生活している人間の理解（社会科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	月曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	2年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 田口 亜紗	非常勤教員（大学外部）

担当教員	田口 亜紗
科目の目標	人間を理解するためには、その背景となる文化を知ることが欠かせない。世界のフィールドで人類の多様性と普遍性を探求してきた文化人類学を学ぶことで、異なる視点や存在への理解にむけた想像力を養うとともに、これからの医療のあり方を多角的に考えるための視点と方法を知る。
学習の具体的な目標	1) 文化相対主義の姿勢を知ること、多様な価値を比較検討して相対的に評価できるようになる。 2) 文化人類学の知見を用いて、人間の生老病死の社会的文脈を多角的に考察できる。 3) 看護学のケース・スタディ（症例研究）に応用されるエスノグラフィーの方法を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	田口		
	テーマ	文化人類学とは何か		
	授業内容	1. 文化人類学の物の見方（文化相対主義）と手法（フィールドワーク）について説明できる。 2. エスノグラフィーの手法の看護への応用可能性を考察できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	田口		
	テーマ	食の文化史		
	授業内容	1. 人類の環境適応と資源活用、食文化の変遷について説明できる。 2. 栽培種や食材のグローバリゼーションがもたらす経済格差、生態系の変動、新たな疾病、消費者運動、宗教的実践について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	田口		

テーマ	贈り物と市場交換			
授業内容	1. 社会関係を維持/断絶する経済活動の諸機能について、主に互酬性と市場原理の区別によって説明できる。 2. 人体部分の資源化・商品化・医療ツーリズムの実態を知るとともに、医療と身体の今日的課題を考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年05月10日(土)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	田口		
	テーマ	儀礼の社会的意義		
	授業内容	1. 儀礼の分節機能と象徴作用について説明しながら、現代の儀礼や医療的所作の社会分析ができる。 2. 割礼やTSの性別適合手術をジェンダー/セクシュアリティの視点を交えて考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月10日(土)	時限	4限
	講義室	C405		
	担当者	田口		
	テーマ	出産の今昔		
	授業内容	1. 出産や助産の事例を紐解き、生命や産育をめぐる価値の変化を考察できる。 2. 医療化概念とアクティブ・パース運動の思想的背景、リプロダクティブ・ヘルス／ライツ概念を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	田口		
	テーマ	老いの価値		
	授業内容	1. 老いの社会的位置づけの変遷を確認し、少子高齢化時代の社会デザインを展望できる。 2. 認知症患者のエスノグラフィが新しいケアを拓いた経緯を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	田口		
	テーマ	死への感受		
	授業内容	1. 葬送儀礼の社会的意義を説明できる。 2. 遺体処置と死生観の変遷、ポストコロナにおける死と遺体との向き合い方について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	田口		
	テーマ	苦悩と癒し		
	授業内容	1. 優生思想と健康概念の変化、東洋医学や代替医療を活用する統合医療の理論的背景を説明できる。 2. 治病儀礼の意義を分析し、「スピリチュアルな健康」概念を検討できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		レポート（40%）および授業時のコメントペーパー（60%）で評価する。詳細は初回授業で説明する。		
教科書		授業ごとに内容に沿った資料を配布する。		
参考書		授業のテーマごとに、関連する書籍や新聞記事などを毎回紹介する。 基本的な入門書や事典は以下のとおり。 『文化人類学』波平恵美子編、医学書院、2022年 『文化人類学の思考法』松村圭一郎・中川理・石井美保編、世界思想社、2019年 『文化人類学事典』日本文化人類学会編、丸善、2009年 『文化人類学キーワード 改訂版』山下晋司・船曳健夫編、有斐閣双書、2008年 『フィールドワークへの挑戦』菅原和孝編、世界思想社、2006年 『人類学のコンセンサス——文化人類学入門』浜本満・浜本まり子編、学術図書出版社、1994年		
連絡先/オフィスアワー		授業後に教室で相談を受け付ける。 電子メールでも対応可能。Email:asataguchi808@gmail.com 長時間の相談が予想される場合は、事前にメールでアポイントを取ること。		

履修上の注意、履修要件	授業日までに、テーマに関連する書籍や新聞記事等に目を通しておくこと。授業後には配布した資料を見直し、疑問があれば次回の授業までに文献検索をしたり教員に質問できるように情報を整理しておくこと（各30分程度）。その他、余暇等を利用し、授業で紹介した参考文献にあたるなどして各自がテーマへの理解を深めていくことが求められる。 授業後のコメント・ペーパーへのフィードバックは、次の授業の開始時に行う。
-------------	--

講義名	カウンセリング論		
(副題)	生活している人間の理解（社会科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	土曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 大久保 美香	非常勤教員（大学外部）

担当教員	大久保美香
科目の目標	講義において、高度専門職である看護師に必要なカウンセリング理論と技法、特に傾聴を実際の場面の想定により学ぶ。また、カウンセリング技法を患者さんとの短い会話や自らのメンタルヘルスにも役立てる事ができるようディスカッションや実演を交えて演習を行う。
学習の具体的な目標	1) 看護におけるカウンセリングの目的・理論・技法を説明できる。 2) カウンセリングにおける受容・共感・傾聴について説明できる。 3) 各発達段階の心理特性と心理的支援の留意点を説明できる。 4) 実演において実際に受容と傾聴的態度をとることができる。 5) 実演の中でカウンセリング技法を用い各心的反応に対応できる。 6) 患者さんの家族の心的理解について説明できる。 7) ディスカッションを通じて看護場面での心的動きを学び、場面に応じた対応を説明できる。 8) 内省により自己理解を進めることができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年06月07日(土)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大久保		
	テーマ	看護におけるカウンセリング 導入		
	授業内容	1. 医療現場におけるカウンセリングの必要性を説明できる。 2. 看護場面における患者との関わり方について考察し、自分の考えを述べることができる。 3. 心理面を理解する上での基本的な態度と心構えを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年06月07日(土)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	大久保		
	テーマ	カウンセリング概論 理論 1		
	授業内容			

1. 来談者中心療法、認知行動療法の目的と技法について説明できる。
 2. カウンセリングにおける治療者の基本的態度を説明できる。
 3. 非指示的カウンセリングの意味について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年06月07日(土)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	大久保		
	テーマ	カウンセリング概論 理論 2		
	授業内容	1. 精神分析理論の基本概念を説明できる。 2. 心理的防衛機制を列挙できる。 3. 転移-逆転移について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年06月14日(土)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大久保		
	テーマ	カウンセリング概論 技法		
	授業内容	1. 受容・共感・傾聴について述べる事ができる。 2. 自動思考とスキーマについて説明できる。 3. 自由連想法・言語連想法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年06月14日(土)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	大久保		
	テーマ	各発達段階における心理		
	授業内容	1. 幼児期・児童期の心理特性と発達課題・心理的支援について説明できる。 2. 思春期・青年期の心理特性と発達課題・心理的支援について説明できる。 3. 成人期・壮年期・老年期の心理特性と発達課題・心理的支援について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年06月14日(土)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	大久保		
	テーマ	各症例における心的反応		
	授業内容	1. 入院患者の心理について考察し、自分の考えを述べる事ができる。 2. 癌患者の心的反応とそれへの対処について、例を挙げて説明できる。 3. 糖尿病患者の心的反応とそれへの対処について、例を挙げて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月21日(土)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大久保		
	テーマ	各症例における心的支援		
	授業内容	1. 実際の場面を想定して、癌患者さんのカウンセリングを考察し、ディスカッションや実演ができる。 2. 実際の場面を想定して、糖尿病患者さんのカウンセリングを考察し、ディスカッションや実演ができる。 3. その他の患者さんへの適切な支援について、自分の考えを述べる事ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月21日(土)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	大久保		
	テーマ	精神障害者の心的特徴		
	授業内容	1. うつと自殺について概説できる。 2. 統合失調症の心的特徴と行動特性について述べる事ができる。 3. 健康者との心理的差異を述べる事ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月21日(土)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	大久保		

テーマ	精神障害者への心的支援			
授業内容	1. 実際の場面を想定して、うつ病患者さんとの関わり方を考察し、実演できる。 2. 実際の場面を想定して、統合失調症患者さんとの関わり方を考察し、実演できる。 3. その他の精神障害との関わり方について考察し、自分の考えを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年06月28日(土)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大久保		
	テーマ	難病患者の心理と心的支援		
	授業内容	1. 病気による心的反応を述べることができる。 2. 病気とその治療に伴うストレスについて考察し、自分の考えを述べることができる。 3. 看護における難病患者さんとの関わり方について考察し、自分の考えを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月28日(土)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	大久保		
	テーマ	対象喪失と家族支援		
	授業内容	1. 対象の喪失が与える心理的影響について説明できる。 2. 対象喪失とその回復過程について述べることができる。 3. 家族支援のあり方について考察し、自分の考えを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月28日(土)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	大久保		
	テーマ	緩和ケア		
	授業内容	1. 告知に伴う心理的变化について考察し、自分の考えを述べることができる。 2. 身体・精神的支援について説明できる。 3. スピリチュアルケアについて概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月05日(土)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大久保		
	テーマ	場面想定と実演		
	授業内容	1. 医療現場における会話の重要性について考えることができる。 2. 患者さんの訴えを的確に捉える方法について心理学的に考察し、具体的に実演できる。 3. 患者さんに的確に伝える方法について考察し、具体的に実演できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月05日(土)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	大久保		
	テーマ	場面想定と実演		
	授業内容	1. 医療現場における会話の重要性について考えることができる。 2. 患者さんの訴えを的確に捉える方法について心理学的に考察し、具体的に実演できる。 3. 患者さんに的確に伝える方法について考察し、具体的に実演できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月05日(土)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	大久保		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 看護にあたる自分の心と向き合い自己理解を進めることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	講義の中で実演、レポート作成による評価、小テストを行う。その他、出席と授業態度を重視する。各レポート提出に対しコメントを返す。 定期試験期間中の試験なし。 再試験なし。
教科書	授業毎に、内容に沿った資料を配布する。
参考書	1. ナースだからできる5分間カウンセリング～現場で役立つ心理的ケアの理論と実際、小島通代/吉本武史、医学書院 2. 看護に生かす臨床心理学、菅佐和子、朱鷺書房
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 講義後、教室にて、またはメールにて相談を受け付ける。 メールアドレス：rakoneko@yahoo.co.jp
履修上の注意、履修要件	授業に備えて参考書などを読んでおくこと。授業後は資料を基に学習内容の見直しを行い、さらに学友とディスカッションをするなど、学習内容の理解を深めることに心掛けること。

講義名	ジェンダー学		
(副題)	生活している人間の理解（社会科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	月曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	2年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 田口 亜紗	非常勤教員（大学外部）

担当教員	田口 亜紗
科目の目標	ジェンダー学は人間の性に関連する現象や問題について社会文化的要因を検討することで分析する学問である。授業では文化人類学の視点と事例を軸とし、社会学、歴史学、哲学の知見にも広く触れながら国内外の多様な事例を参照し、患者の性的症状に対しての、ひいては身近な他者や自分自身の生き方に対しての多角的かつ柔軟な視野を養う。
学習の具体的な目標	1) 基本的な鍵概念を知ることで、性現象を社会文化的に捉える視角を獲得できる。 2) 異文化の事例に多く触れることで性現象の可塑性（文化的・歴史的多様性）を知り、既存の価値観や制度と強く結びつく規範を客観的に考察できる。 3) ジェンダーの非対称性を分析することを通じて、人間関係に生じる多種の権力構造を説明できる。 4) フィードバックや学生同士のディスカッションを通じて異なる意見に耳を傾け、正解が1つではない問いや現象に身を寄せる想像力と態度を養う。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	田口		
	テーマ	ジェンダーとは何か		
	授業内容	1. ジェンダー学のスタンスについて説明できる。 2. インターセックス（半陰陽、DSD、性分化疾患）の事例を、医療化と性別2元制の視点から説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	田口		
	テーマ	男女という制度		
	授業内容	1. ジェンダー関連の諸概念について説明できる。 2. 「第3のジェンダー」や「ジェンダー・ミックス」の事例から性別2元制を相対化する。 （予習時間30分、復習時間30分）		
3	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	2限

講義室		C405		
担当者		田口		
テーマ		異性愛社会のメカニズム		
授業内容		1. 性の歴史と解剖学的視点との関連について説明できる。 2. 近年言及されるLGBTQ+の発想と、民族誌的な性現象との違いを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	田口		
	テーマ	家族の定義		
	授業内容	1. 婚姻関係や親子関係を分析する手法の1つである親族関係図を作成できるようになる。 2. ポリガミーや女性婚の事例を紐解きながら、近代家族モデルを再検討できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	田口		
	テーマ	新たなパートナーシップの模索		
	授業内容	1. 同性婚やシビル・パートナーシップ制度の特徴と課題を説明できる。 2. これからの家族のあり方やジェンダー問題について、事例や根拠を述べながら議論が出来る。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	田口		
	テーマ	生殖補助医療がつくる親子関係		
	授業内容	1. 生殖補助医療の可能性と課題を、主に卵子やSNS精子提供、子宮移植の事例から、当事者の実情を踏まえ考察できる。 2. 民族誌的事例から多元的な親子関係の意義を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	田口		
	テーマ	月経からみる医療・テクノロジー・制度保障		
	授業内容	1. 月経をめぐる価値やジェンダー規範の変遷と、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ概念について説明できる。 2. SDGsやMHM、生理の貧困、フェムテックの動向を確認し、開発途上国と日本社会の類似性と課題を検討できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	田口		
	テーマ	労働とジェンダー		
	授業内容	1. 性役割分業に基づく家庭内労働や看護、介護労働の特性と問題について議論できる。 2. 感情労働という視点から、ケア労働やセックスワーク、サービス業の課題について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	レポート（30%）および授業後に提出するコメントペーパー（70%）で評価する。詳細は初回授業で説明する。
教科書	授業ごとに内容に沿った資料を配布する。
参考書	授業中に各テーマにあわせて紹介する。 主な入門書は以下の通り。 『ジェンダーの社会学』江原由美子ほか編、新曜社、1989年。 『知らないと恥ずかしいジェンダー学入門』加藤秀一、朝日新聞社、2006年。 『ジェンダーで学ぶ文化人類学』田中雅一・中谷文美編、2005年。 『セックスの人類学』奥野克己編、春風社、2009年。 『ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた』佐藤文香監修、明石書店、2020年。

連絡先/オフィスアワー	授業終了後に教室で相談を受け付ける。 電子メールでの相談も可能。 Email: asataguchi808@gmail.com 長時間の相談が予想される場合は、事前にメールでアポイントを取ることを。
履修上の注意、履修要件	授業日までにテーマに関連する文献や新聞記事等に目を通しておくこと。授業後には配布した資料を見直し、疑問があれば文献を調べたり次回の授業で質問できるように情報を整理しておくこと（予習復習それぞれ30分程度）。その他、余暇等を利用し授業で紹介した参考文献にあたるなどして各自がテーマへの理解を深めていくことが求められる。 コメントへのフィードバックは、次の授業開始時に行う。

講義名	体育実技		
(副題)	生活している人間の理解（自然科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	土曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	選択（養護教諭：必修）		
配当年次	2年通年		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 田中 俊之	非常勤教員（大学外部）

担当教員	田中 俊之
科目の目標	この科目では、生涯にわたって健康で充実した生活を送るための運動に関する知識・技術を習得する。また、ルールや用具を障害の種類や程度に適合（adapt）させ、障害のある人をはじめ、幼児や高齢者、体力の低い人など、誰もが参加できるように工夫されたアダプテッド・スポーツを体験し、その意義について理解することを目指す。
学習の具体的な目標	1) 健康な身体づくりには適切な運動が必要であることを説明できる。 2) 人の発達に応じた適切な運動があることを説明できる。 3) アダプテッド・スポーツの概念とその意義について述べることができる。 4) 運動する際、参加者の安全に配慮することができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月12日(土)	時限	1限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	ドッジボール①		
	授業内容	1. ルールの概要を説明することができる。 2. 種目の特性について説明することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月12日(土)	時限	2限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	ドッジボール②		
	授業内容	1. ルールの概要を説明することができる。 2. 種目の特性について説明することができる。 3. 味方とのコミュニケーションを適切に図ることができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月26日(土)	時限	1限
	講義室	川角キャンパス体育館		

担当者	田中			
テーマ	ドッジボール③			
授業内容	1. ルールの概要を説明することができる。 2. 種目の特性について説明することができる。 3. 味方とのコミュニケーションを適切に図ることができる。 4. ゲームを戦術的に考察することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年04月26日(土)	時限	2限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	ドッジボール④		
	授業内容	1. ルールの概要を説明することができる。 2. 種目の特性について説明することができる。 3. 味方とのコミュニケーションを適切に図ることができる。 4. ゲームを戦術的に考察することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月17日(土)	時限	1限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	バドミントン①		
	授業内容	1. ラケットを適切なグリップによって操作できる。 2. 手首、肘、肩を効率よく使い、スイングすることができる。 3. 正確にラケットの中心で、シャトルを捉えることができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月17日(土)	時限	2限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	バドミントン②		
	授業内容	1. オーバーヘッドストロークで打球を打ち返すことができる。 2. オーバーヘッドストロークでスマッシュを打つことができる。 3. アンダーハンドでロブを打つことができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月31日(土)	時限	1限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	バドミントン③		
	授業内容	1. 連続的にドライブを打ちラリーを展開することができる。 2. ネット前にヘアピンを落とすことができる。 3. ルールに沿って、ゲームを展開することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月31日(土)	時限	2限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	バドミントン④		
	授業内容	1. ルールに沿って、ゲームを展開することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月14日(土)	時限	1限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	ミニ・サッカー①		
	授業内容	1. ボールをキックして真っ直ぐに転がすことができる。 2. 転がってきたボールに正確にトラップすることができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月14日(土)	時限	2限
	講義室	川角キャンパス体育館		

担当者	田中			
テーマ	ミニ・サッカー②			
授業内容	1. インサイド・キックでボールをパスすることができる。 2. インステップ・キックでボールを蹴ることができる。 (予習時間20分、復習時間40分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年06月28日(土)	時限	1限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	ミニ・サッカー③		
	授業内容	1. 2対1、4対2において、パスを通すことができる。 2. ルールに沿ってゲーム展開できる。 3. ゲームを戦略的に考察することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月28日(土)	時限	2限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	ミニ・サッカー④		
	授業内容	1. ゲーム時におけるポジショニングの役割を説明できる。 2. コミュニケーションを図り、パスゲームを展開できる。 3. ゲームを戦略的に考察することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月12日(土)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	田中		
	テーマ	アダプテッド・スポーツとはなにか？		
	授業内容	1. アダプテッド・スポーツの基本的考え方を説明できる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月12日(土)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	田中		
	テーマ	アダプテッド・スポーツのはじまりとパラリンピック・ムーブメント①		
	授業内容	1. アダプテッド・スポーツの基本的考え方を説明できる。 2. パラリンピックが世界の障害者スポーツの発展に貢献してきた背景を理解する。 (予習時間20分、復習時間40分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月19日(土)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	田中		
	テーマ	アダプテッド・スポーツのはじまりとパラリンピック・ムーブメント②		
	授業内容	1. 日本の障害者スポーツの流れについて理解し、説明できる。 2. 東京パラリンピック以降に期待される社会の変化について考察する。 (予習時間20分、復習時間40分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年11月01日(土)	時限	1限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	バウンズ・パレーボール①		
	授業内容	1. ルールの概要を説明することができる。 2. 味方とのコミュニケーションを図ることにより、ゲームを展開することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
17	年月日(曜日)	令和 7年11月01日(土)	時限	2限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	バウンズ・パレーボール②		

	授業内容	1. ルールの概要を説明することができる。 2. 味方とのコミュニケーションを図ることにより、ゲームを展開することができる。 3. ゲームを戦術的に考察することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年11月08日(土)	時限	1限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	卓球バレー①		
	授業内容	1. ルールの概要を説明することができる。 2. 味方とのコミュニケーションを図ることにより、ゲームを展開することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年11月08日(土)	時限	2限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	卓球バレー②		
	授業内容	1. ルールの概要を説明することができる。 2. 味方とのコミュニケーションを図ることにより、ゲームを展開することができる。 3. ゲームを戦術的に考察することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年11月15日(土)	時限	1限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	風船バレーボール①		
	授業内容	1. ルールの概要を説明することができる。 2. 味方とのコミュニケーションを図ることにより、ゲームを展開することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年11月15日(土)	時限	2限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	風船バレーボール②		
	授業内容	1. ルールの概要を説明することができる。 2. 味方とのコミュニケーションを図ることにより、ゲームを展開することができる。 3. ゲームを戦術的に考察することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年11月22日(土)	時限	1限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	ホッケー①		
	授業内容	1. ルールの概要を説明することができる。 2. 味方とのコミュニケーションを図ることにより、ゲームを展開することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年11月22日(土)	時限	2限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	ホッケー②		
	授業内容	1. ルールの概要を説明することができる。 2. 味方とのコミュニケーションを図ることにより、ゲームを展開することができる。 3. ゲームを戦術的に考察することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
24	年月日(曜日)	令和 7年11月29日(土)	時限	1限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	ブラインド・スポーツ①		
	授業内容			

1. ルールの概要を説明することができる。 2. 味方とのコミュニケーションを図ることにより、ゲームを展開することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)				
25	年月日(曜日)	令和 7年11月29日(土)	時限	2限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	ブラインド・スポーツ②		
	授業内容	1. ルールの概要を説明することができる。 2. 味方とのコミュニケーションを図ることにより、ゲームを展開することができる。 3. ゲームを戦術的に考察することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
26	年月日(曜日)	令和 7年12月13日(土)	時限	1限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	ボッチャ①		
	授業内容	1. ルールの概要を説明することができる。 2. 味方とのコミュニケーションを図ることにより、ゲームを展開することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
27	年月日(曜日)	令和 7年12月13日(土)	時限	2限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	ボッチャ②		
	授業内容	1. ルールの概要を説明することができる。 2. 味方とのコミュニケーションを図ることにより、ゲームを展開することができる。 3. ゲームを戦術的に考察することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
28	年月日(曜日)	令和 8年01月17日(土)	時限	1限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	アダプテッド・スポーツをつくってみよう! ①		
	授業内容	1. 参加者に応じたアダプテッド・スポーツをつくることができる。 2. メンバーとのディスカッションによって、用具やルールを工夫することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
29	年月日(曜日)	令和 8年01月17日(土)	時限	2限
	講義室	川角キャンパス体育館		
	担当者	田中		
	テーマ	アダプテッド・スポーツをつくってみよう! ②		
	授業内容	1. 参加者に応じたアダプテッド・スポーツをつくることができる。 2. メンバーとのディスカッションによって、用具やルールを工夫することができる。 3. メンバーとつくったアダプテッド・スポーツを他者に分かりやすいように説明することができる。 (予習時間20分、復習時間40分)		
30	年月日(曜日)	令和 8年01月24日(土)	時限	1限
	講義室	G203		
	担当者	田中		
	テーマ	アダプテッド・スポーツにおける課題とは?		
	授業内容	1. パラリンピックとノーマライゼーションとの関係について理解し、説明できる。 2. 日本の障害者スポーツやパラリンピックの今後の展望について、話し合い考察する。 (予習時間20分、復習時間40分)		
評価方法		出席状況、レポートを総合的に判断して評価する。		
教科書		必要に応じて資料を配付する。		

参考書	「パラリンピックと日本-知られざる60年史」田中圭太郎著 集英社 「アダプテッド・スポーツの科学-障害者・高齢者のスポーツ実践のための理論-」矢部京之助・草野 勝彦・中田英雄編著 市村出版 「教養としてのアダプテッド体育・スポーツ学」齊藤まゆみ編著 大修館書店 「世界一伸びるストレッチ」中野ジェームズ修一著 サンマーク出版
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業後に相談を受け付ける。 随時、メールにて質問を受け付ける。 E-mail: earchery.t@gmail.com
履修上の注意、履修要件	・参考文献や参考図書を用いて、授業の該当部分に関する学習内容を深めていくとともに、実際に身体を動かしてみた感覚を重視し、安全で効率的な方法を身につけるように努めること。 ・年間を通じて全2回（前期1回、後期1回）のレポートの提出があります。 ・レポートの結果に対する皆さんへのフィードバックについては、まとめの時間の中で（前期1回、後期1回）コメントを返します。

講義名	英語Ⅲ		
(副題)	生活している人間の理解（外国語）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	2年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 間山 伸	共通教育部門教員

担当教員	間山 伸・青木 啓子
科目の目標	英語Ⅰ・Ⅱで学習した英語力を基礎として、さらに医療現場、医療にかかわる専門的な内容の英語学習を進めていく。より複雑な内容の英文読解、医療現場でやり取りされる内容に関するリスニング練習等を通して、英語の言語知識と運用能力を発展・向上させる。また医療現場、医療に関連した分野で用いられる英語表現の習得を目指す。
学習の具体的な目標	1) 医療の現場で用いられる英語の語彙を習得し、表現できる。 2) 医療に関する英文を正確に読むことができる。 3) 読んだ英文の一部あるいは全文の内容を分かりやすく日本語で説明できる。 4) 医療の現場で用いられる様々な英語を聴き取り、全文の内容を説明できる。 5) 読んだり、聞いたりした内容を整理し、概要や要点を書くことができる。 6) 医療の現場で用いられる様々な英語を使ってコミュニケーションができる。 毎時の授業では、各レッスンで取り上げられている医療や関連分野の具体的なトピックに基づいた会話表現を学び(Useful Expressions for Patient Communication)、ペアワークやグループワークでRole Playを行いつつコミュニケーション演習を行っていく。また、トピックに関連した内容の英文(Reading Comprehension)を読み、読解力を養いつつ、その中に出てくるさまざまな医療現場や関連分野で用いられる基本的な英語語彙・表現を学ぶ。 授業形態：プレゼンテーション、発表、グループワーク

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月10日(金)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	間山・青木		
	テーマ	授業ガイダンス、既習の英語学習内容の確認		
	授業内容	授業ガイダンス 既習事項の確認：体の部位、臓器、医療器具等の名称を日本語から英語にできる、英語で発音できる、英語から日本語にできる テキストの音声ファイルダウンロード/ストリーミング利用方法の確認 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	間山・青木		

テーマ	Unit 1 Is this your first visit to this hospital?			
授業内容	挨拶と窓口対応に関わるvocabularyを英語で聞き取れる、正しく綴れる、意味を日本語で言える 挨拶と窓口対応に関わる英語での会話を聞き取ることができる 挨拶と窓口対応に関わる英文を読み、英語の質問に答えられる、内容を日本語で説明できる 挨拶と窓口対応に関わる英語表現を使って英語でコミュニケーションができる (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年10月24日(金)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	間山・青木		
	テーマ	Unit 2 What's the matter with you?		
	授業内容	身体の問題に関わるvocabularyを英語で聞き取れる、正しく綴れる、意味を日本語で言える 身体の問題に関わる英語での会話を聞き取ることができる 身体の問題に関わる英文を読み、英語の質問に答えられる、内容を日本語で説明できる 身体の問題に関わる英語表現を使って英語でコミュニケーションができる (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	間山・青木		
	テーマ	Unit 3 I'm going to take a blood sample		
	授業内容	採血に関わるvocabularyを英語で聞き取れる、正しく綴れる、意味を日本語で言える 採血に関わる英語での会話を聞き取ることができる 採血に関わる英文を読み、英語の質問に答えられる、内容を日本語で説明できる 採血に関わる英語表現を使って英語でコミュニケーションができる (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月07日(金)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	間山・青木		
	テーマ	Unit 4 Let me explain our daily routine		
	授業内容	入院生活の流れに関わるvocabularyを英語で聞き取れる、正しく綴れる、意味を日本語で言える 入院生活の流れに関わる英語での会話を聞き取ることができる 入院生活の流れに関わる英文を読み、英語の質問に答えられる、内容を日本語で説明できる 入院生活の流れに関わる英語表現を使って英語でコミュニケーションができる (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月08日(土)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	間山・青木		
	テーマ	Unit 5 I'm going to ask you about your lifestyle habits		
	授業内容	生活習慣や宗教上の制限に関わるvocabularyを英語で聞き取れる、正しく綴れる、意味を日本語で言える 生活習慣や宗教上の制限に関わる英語での会話を聞き取ることができる 生活習慣や宗教上の制限に関わる英文を読み、英語の質問に答えられる、内容を日本語で説明できる 生活習慣や宗教上の制限に関わる英語表現を使って英語でコミュニケーションができる (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月14日(金)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	間山・青木		
	テーマ	Unit 6 Have you had any surgeries before?		
	授業内容	病歴(既往歴)の確認に関わるvocabularyを英語で聞き取れる、正しく綴れる、意味を日本語で言える 病歴(既往歴)の確認に関わる英語での会話を聞き取ることができる 病歴(既往歴)の確認に関わる英文を読み、英語の質問に答えられる、内容を日本語で説明できる 病歴(既往歴)の確認に関わる英語表現を使って英語でコミュニケーションができる (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月21日(金)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	間山・青木		
	テーマ	Unit 7 Do you have any allergies?		
	授業内容			

アレルギーの有無の確認に関わるvocabularyを英語で聞き取れる、正しく綴れる、意味を日本語で言える
 アレルギーの有無の確認に関わる英語での会話を聞き取ることができる
 アレルギーの有無の確認に関わる英文を読み、英語の質問に答えられる、内容を日本語で説明できる
 アレルギーの有無の確認に関わる英語表現を使って英語でコミュニケーションができる
 (予習時間30分、復習時間30分)

9	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	間山・青木		
	テーマ	Unit 8 How would you describe the pain?		
	授業内容	痛みの確認に関わるvocabularyを英語で聞き取れる、正しく綴れる、意味を日本語で言える 痛みの確認に関わる英語での会話を聞き取ることができる 痛みの確認に関わる英文を読み、英語の質問に答えられる、内容を日本語で説明できる 痛みの確認に関わる英語表現を使って英語でコミュニケーションができる (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	間山・青木		
	テーマ	Unit 9 How much can you move your legs?		
	授業内容	可動域の確認に関わるvocabularyを英語で聞き取れる、正しく綴れる、意味を日本語で言える 可動域の確認に関わる英語での会話を聞き取ることができる 可動域の確認に関わる英文を読み、英語の質問に答えられる、内容を日本語で説明できる 可動域の確認に関わる英語表現を使って英語でコミュニケーションができる (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	間山・青木		
	テーマ	Unit 10 Let' s start practicing getting into the wheelchair		
	授業内容	車いすへの移乗介助に関わるvocabularyを英語で聞き取れる、正しく綴れる、意味を日本語で言える 車いすへの移乗介助に関わる英語での会話を聞き取ることができる 車いすへの移乗介助に関わる英文を読み、英語の質問に答えられる、内容を日本語で説明できる 車いすへの移乗介助に関わる英語表現を使って英語でコミュニケーションができる (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	間山・青木		
	テーマ	Unit 11 Let' s make the walks longer		
	授業内容	歩行トレーニングに関わるvocabularyを英語で聞き取れる、正しく綴れる、意味を日本語で言える 歩行トレーニングに関わる英語での会話を聞き取ることができる 歩行トレーニングに関わる英文を読み、英語の質問に答えられる、内容を日本語で説明できる 歩行トレーニングに関わる英語表現を使って英語でコミュニケーションができる (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	間山・青木		
	テーマ	Unit 12 You' re from Australia, aren' t you?		
	授業内容	患者さんとの雑談に関わるvocabularyを英語で聞き取れる、正しく綴れる、意味を日本語で言える 患者さんとの雑談に関わる英語での会話を聞き取ることができる 患者さんとの雑談に関わる英文を読み、英語の質問に答えられる、内容を日本語で説明できる 患者さんとの雑談に関わる英語表現を使って英語でコミュニケーションができる (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月16日(金)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	間山・青木		
	テーマ	Unit 13 Are you Ms. Brown?		
	授業内容			

家族の方とのコミュニケーションに関わるvocabularyを英語で聞き取れる、正しく綴れる、意味を日本語で言える 家族の方とのコミュニケーションに関わる英語での会話を聞き取ることができる 家族の方とのコミュニケーションに関わる英文を読み、英語の質問に答えられる、内容を日本語で説明できる 家族の方とのコミュニケーションに関わる英語表現を使って英語でコミュニケーションができる (予習時間30分、復習時間30分)				
15	年月日(曜日)	令和 8年01月23日(金)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	間山・青木		
	テーマ	第1回から第14回までの授業内容のまとめ		
	授業内容	第1回から第14回までの授業で学習した内容を振り返り、身についたこと、理解できていない点を確認する 今後の専門分野の学習と医療英語の学習との関連や方向性について受講生が各自考える (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		1. 定期試験内での筆記試験(60%) 2. 授業への出席状況、授業内の練習状況(20%) 3. 授業内の小テスト、発表、レポートなどの課題(課題の内容に応じて添削や採点を行ったうえで返却する)(20%) 4. 再試験の有無: 無		
教科書		1. 『Care for All -Effective Patient communication for Healthcare Workers-』 田中博晃、眞砂薫: 成美堂 (2025年)		
参考書		1. 倉林 秀男 『バッチリ身につく 英語の学び方 (ちくまプリマー新書390)』 (筑摩書房 2021) 2. 今井 むつみ 『英語独習法 (岩波新書 新赤版 1860)』 (岩波新書 2020) 3. 里中 哲彦 『日本人のための英語学習法 (ちくま新書)』 (ちくま書房 2019) 4. 井上 逸兵 『英語の思考法 ――話すための文法・文化レッスン (ちくま新書)』 (筑摩書房 2021)		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【間山】 オフィスアワー: 月曜日12:10-13:10 上記時間帯での訪問が難しい場合は、Eメールにてアポイントメントを取ること。 Eメール: mayama01@saitama-med.ac.jp aoki.keiko21@nihon-u.ac.jp (青木)		
履修上の注意、履修要件		予習については、教材をよく読んで、分からない個所をまとめておく。復習については、学習した内容をもう一度自分で確認・整理して、理解できない個所は次の授業で質問できるようにまとめておくこと。		

講義名	看護倫理		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（医療と人間）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/助産師	◎ 松坂 充子	看護学科教員

担当教員	松坂 充子・大賀 公子・梶原 順子
科目の目標	倫理とは、特定の集団や職業に求められる理に適った秩序としての行動の規準・規範とされている。看護職者においては「看護倫理」であり、看護職者として倫理的であることが求められる。変化する時代や社会の中で、倫理的感受性を高め最善の看護実践を目指し行動するための、基礎的能力を養う。
学習の具体的な目標	1) 倫理、看護倫理、医療倫理、生命倫理について、学ぶ意味を説明できる。 2) 倫理的意思決定の重要性、自己の倫理観との関連について理解し、自己の価値観を見つめる姿勢を養うことができる。 3) 徳の倫理、倫理原則、看護者の倫理綱領、看護実践上の倫理的概念について理解し、これらの活用の仕方が具体的・実践的に説明できる。 4) 対象者中心の医療や人権擁護の視点から、看護職者の役割や責務について考察することができる。 5) 事例を通して、看護実践上の自己の行動や判断の根拠について、倫理的視点から説明できる。 6) 看護実践における倫理的問題に対処するために、道徳的感受性と倫理的感受性を養うことの重要性が理解できる。 7) 看護実践において倫理的責任を果たすための自己の課題を考察することができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月23日(木)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	松坂		
	テーマ	看護倫理の理解		
	授業内容	1. 看護職者が看護倫理を学ぶ必要性について説明できる。 2. 看護倫理の授業における自己の課題を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月30日(木)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	松坂		
	テーマ	倫理原則		
	授業内容	1. 生命倫理や医療倫理の原則を説明できる。 2. 看護倫理の原則が説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	松坂		
	テーマ	看護倫理に関する重要なことば(1)		
	授業内容	1. 看護倫理に関する重要なことば(アドボカシー、ケアリング、パターンリズム)について説明できる。 2. 事例の看護場面において、グループワークを通し倫理的な看護実践について説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年11月13日(木)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	松坂		
	テーマ	看護倫理に関する重要なことば(2)		
	授業内容	1. 看護倫理に関する重要なことば(協力、責務と責任)について説明できる。 2. 事例の看護場面において、グループワークを通し倫理的な看護実践について説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月20日(木)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	松坂		
	テーマ	看護倫理に関する重要なことば(3)		
	授業内容	1. 看護実践における重要な倫理的概念の一つである意思決定について説明できる。 2. 事例の看護場面において、グループワークを通し倫理的な看護実践について説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	松坂		
	テーマ	看護職の倫理綱領(1)		
	授業内容	1. 看護職の倫理綱領について説明できる。 2. 看護職として求められる倫理について倫理綱領をもとに考えを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	松坂		
	テーマ	看護職の倫理綱領(2)		
	授業内容	1. 看護職として求められる倫理について倫理綱領をもとに考えを述べることができる。 2. 事例の看護場面において、グループワークを通し倫理的な看護実践について説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	大賀		
	テーマ	専門職としての倫理調整		
	授業内容	1. 看護実践における倫理的問題や葛藤の解決を図る、倫理調整の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	松坂		
	テーマ	生命倫理		
	授業内容	1. 生命倫理における倫理的背景について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月11日(木)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	松坂		
	テーマ	医療・看護場面で生じるジレンマ(1)		

授業内容		1. 看護実践における倫理的問題から派生するジレンマについて説明できる。 2. 医療・看護場面において生じる看護職者としての倫理的ジレンマについて、グループで分析することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月11日(木)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	梶原		
	テーマ	人間の尊厳と看護倫理		
	授業内容	1. 人間(患者)尊厳について、自分の考えを述べることができる。 2. 看護職者として人間(患者)の尊厳を守ることの意味を説明できる。 3. よりよい看護を実践することとはどのようなことが説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	松坂		
	テーマ	医療・看護場面で生じるジレンマ(2)		
	授業内容	1. 看護実践における倫理的問題から派生するジレンマについて説明できる。 2. 医療・看護場面において生じる看護職者としての倫理的ジレンマについて、グループで分析することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月18日(木)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	松坂		
	テーマ	看護実践における倫理的問題(1)		
	授業内容	1. 看護実践における倫理的問題の特徴について説明できる。 2. 看護実践における倫理的問題に対処するために、倫理的感受性を養うことの重要性について説明できる。 3. 意思決定支援のために、看護の倫理原則や看護倫理に関する重要な言葉の理解が必要であることを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年12月18日(木)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	松坂		
	テーマ	看護実践における倫理的問題(2)		
	授業内容	1. 看護実践における倫理的問題の特徴について説明できる。 2. 看護実践における倫理的問題に対処するために、倫理的感受性を養うことの重要性について説明できる。 3. 意思決定支援のために、看護の倫理原則や看護倫理に関する重要な言葉の理解が必要であることを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年12月18日(木)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	松坂		
	テーマ	看護倫理-看護職としての課題		
	授業内容	1. 医療や看護における倫理的問題を挙げ、看護職として求められる行動を提案できる。 2. 看護倫理における自己の課題を明確にできる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		1. 学修上定めたルールの履行およびグループワークの参加やプレゼンテーション(40%)、課題レポート(60%)を総合的に判断し評価する。合格点に満たなかった場合、追加課題を提示し再評価する。なお再評価は1回のみとする。		
教科書		1. 看護倫理 よい看護・よい看護への道しるべ、小西恵美子編集、南江堂		
参考書		1. 看護実践の倫理 倫理的意思決定のためのガイド、サラ・T. フライ他著、日本看護協会出版会、2010。 2. 改訂版 具体的なジレンマからみた看護倫理の基本、坪倉繁美編、サイオ出版、2015。 3. これからの倫理と看護、手島恵著、日本看護協会出版会、2021。 4. よくわかる看護者の倫理綱領 第3版、峰村淳子・石塚睦子編著、照林社、2022。 5. 看護者の基本的責務 定義・概念/基本法/倫理 2025年版、日本看護協会監修、日本看護協会出版会、2025。 6. 日本看護協会HP 看護職の倫理綱領 https://www.nurse.or.jp/nursing/assets/statistics_publication/publication/rinri/code_of_ethics.pdf		

連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【松坂】 平日9時～17時 E-mail:matsuzak@saitama-med.ac.jp 実習等で不在の場合があるため、可能な限り事前にメールでアポイントメントをとること。
履修上の注意、履修要件	・該当部分を予習し、教科書で内容の意味を理解し授業に臨んでください。 ・初回授業で授業の進め方や評価について説明します。それに基づき学修をすすめてください。 ・授業コメントは授業当日に提出してください。コメントは翌授業日を目途に返します。 ・授業では倫理観や価値観を問われる機会が多くあります。その際に異なる意見や考えに対しても、「相手を尊重する」ということを前提に意見交換に努めてください。 ・授業後に復習として授業テーマを振り返り、教科書や参考文献を用いて整理しておいてください。 ・課題およびレポートの提出期限は厳守してください。

講義名	病むことの心理		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（医療と人間）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/養護教諭	◎ 大賀 淳子	看護学科教員

担当教員	大賀 淳子・鳥谷めぐみ
科目の目標	慢性疾患や難病を抱えて生きる人々、薬害被害者のお話を伺い、学生間のディスカッションを通して、病むことの心理についての理解を深め、看護者としての自らの課題を見出す。
学習の具体的な目標	1) 病むことが個人の身体面、心理面、社会面、スピリチュアルな面におよぼす影響を説明できる。 2) 病気を受容し、そこから得られた体験（病むこと）を意義づけ、人生の一部として統合していく過程を説明できる。 3) 病む人の声や気持ちに共感し、病む人を全人的に理解したうえで、自身の具体的ななかかわり方を検討し、計画できる。 4) 病む人がグループをつくり、「わかちあい」、「ときはなたれて」、「ひとりだち」していく過程を説明できる。 特別講義（4回）の翌週、上記1）～4）にそって、グループでディスカッションを行う。 さらにその翌週、グループごとにプレゼンテーションを行い、学生による評価を行う。 また、全体討議を行って、個人の学びを深める。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月08日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・鳥谷		
	テーマ	オリエンテーション 病むことの意味を考える（1）		
	授業内容	1. 本演習のスケジュール、成績評価について理解する。 2. 病むことが個人の身体面、心理面、社会面、スピリチュアルな面に及ぼす影響について概観を説明することができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	2限
	講義室	C401・C405		
	担当者	大賀・鳥谷		
	テーマ	病むことの意味を考える（2）GW		
	授業内容			

1. 身近な病気を例として、自身およびグループメンバーの経験をもとに、「病むことの意味」についてディスカッションを行う。
2. ディスカッションの内容をPPTにまとめ、プレゼンテーションの準備を行う。
(予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	2限
	講義室	C401・C405		
	担当者	大賀・鳥谷		
	テーマ	病むことの意味を考える(3) プレゼンテーション		
	授業内容	1. 「病むことの意味」について、グループごとにプレゼンテーションを行う。 2. 各グループのプレゼンテーションを聴き、評価を行う(この回の評価結果は成績に反映されません)。 (予習時間1時間、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	2限
	講義室	C401・C405		
	担当者	大賀・鳥谷		
	テーマ	当事者講義①乳がん_特別講師: 持田豊子氏		
	授業内容	1. 乳がん患者の体験とその心理について理解する。 2. 予習内容を踏まえ、講義で学んだことを記述し、次週のグループワークに備えることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	2限
	講義室	C401・C405		
	担当者	大賀・鳥谷		
	テーマ	乳がんを病むことの心理_GW		
	授業内容	1. 持田氏の講義での学びをグループメンバーと交流する。 2. 学習の具体的な目標1)～4)にそってディスカッションを行う。 3. ディスカッションの内容をPPTにまとめ、プレゼンテーションの準備を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	2限
	講義室	C401・C405		
	担当者	大賀・鳥谷		
	テーマ	乳がんを病むことの心理_プレゼンテーション		
	授業内容	1. 「乳がんを病むことの心理」について、グループごとにプレゼンテーションを行う。 2. 各グループのプレゼンテーションを聴き、評価を行う。 3. 全体討論を行って、「乳がんを病むことの心理」についての考えを深め、レポートにまとめる。 (予習時間1時間、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	2限
	講義室	C401・C405		
	担当者	大賀・鳥谷		
	テーマ	当事者講義②結節性硬化症_特別講師: 和田芽衣氏		
	授業内容	1. 結節性硬化症の子どもを持つ母親の体験と心理について理解する。 2. 予習内容を踏まえ、講義で学んだことを記述し、次週のグループワークに備えることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	2限
	講義室	C401・C405		
	担当者	大賀・鳥谷		
	テーマ	結節性硬化症の子どもを持つ母親の心理_GW		
	授業内容	1. 和田氏の講義での学びをグループメンバーと交流する。 2. 学習の具体的な目標1)～4)にそってディスカッションを行う。 3. ディスカッションの内容をPPTにまとめ、プレゼンテーションの準備を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	2限
	講義室	C401・C405		
	担当者	大賀・鳥谷		
	テーマ	結節性硬化症の子どもを持つ母親の心理_プレゼンテーション		
	授業内容			

授業内容		1. 「結節性硬化症の子どもを持つ母親の心理」について、グループごとにプレゼンテーションを行う。 2. 各グループのプレゼンテーションを聴き、評価を行う。 3. 全体討論を行って、「結節性硬化症の子どもを持つ母親の心理」についての考えを深め、レポートにまとめる。 (予習時間1時間、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	2限
	講義室	C401・C405		
	担当者	大賀・鳥谷		
	テーマ	当事者講義③薬害被害の心理_特別講師：近澤昭雄氏		
	授業内容	1. 薬害被害およびイレッサによる被害について理解する。 2. 予習内容を踏まえ、講義で学んだことを記述し、次週のグループワークに備えることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	2限
	講義室	C401・C405		
	担当者	大賀・鳥谷		
	テーマ	薬害被害者の心理_GW		
	授業内容	1. 近澤氏の講義での学びをグループメンバーと交流する。 2. 学習の具体的な目標1)～4)にそってディスカッションを行う。 3. ディスカッションの内容をPPTにまとめ、プレゼンテーションの準備を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	2限
	講義室	C401・C405		
	担当者	大賀・鳥谷		
	テーマ	薬害被害者の心理_プレゼンテーション		
	授業内容	1. 「薬害被害者の心理」について、グループごとにプレゼンテーションを行う。 2. 各グループのプレゼンテーションを聴き、評価を行う。 3. 全体討論を行って、「薬害被害者の心理」についての考えを深め、レポートにまとめる。 (予習時間1時間、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	2限
	講義室	C401・C405		
	担当者	大賀・鳥谷		
	テーマ	3回の特別講義を通して「病むことの心理」について考える_GW		
	授業内容	1. 3回の特別講義、GW、他グループの発表を総括し、本科目での学びや今後の課題についてディスカッションを行う。 2. ディスカッションの内容をPPTにまとめ、プレゼンテーションの準備を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月19日(土)	時限	3限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・鳥谷		
	テーマ	「病むことの心理」プレゼンテーション①		
	授業内容	1. 「病むことの心理」についてグループごとにプレゼンテーションを行う。 2. 各グループの発表を聴き、評価を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月19日(土)	時限	4限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・鳥谷		
	テーマ	「病むことの心理」プレゼンテーション②		
	授業内容	1. 前回に続き、「病むことの心理」についてグループごとにプレゼンテーションを行う。 2. 各グループの発表を聴き、評価を行う。 3. 本科目での学び、今後の課題をレポートにまとめる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		1. 出席状況 注) 特別講師による講義は必ず出席してください。1回でも欠席した場合は、評価の対象となりません。 2. プレゼンテーションに対する学生評価(計4回) 3. グループへの貢献度(自己評価、他者評価) 4. 「2025病むことの心理ポートフォリオファイル」(配布資料、各疾患の予習、特別講師の講義からの学		

	び、各回のプレゼンテーションを聴いての学び、全体を通しての学び、などを含むファイルを作成する) 5. 基準に満たない場合、再試験を1回のみ行う。 評価方法の詳細は、初回のオリエンテーションで説明します。
教科書	疾患の予習に必要な書籍は適宜指示する。
参考書	1. 心的外傷後成長ハンドブック：耐え難い体験が人の心にもたらすもの、宅香菜子・清水研監訳，医学書院，2014. 2. 医療者のための実践スピリチュアルケア：苦しむ患者さんから逃げない！、小沢竹俊，日本医事新報，2008. 3. 実践スピリチュアルケア：病む人の心に寄り添うために、リチャードFグローブスほか，西野洋訳，春秋社，2009 4. スピリチュアルケア：病む人とその家族・友人および医療スタッフのための心のケア，ワルデマール・キッペス，サンパウロ，1999 5. スピリチュアルな痛み：薬物や手術でとれない苦痛・叫びへのケア，ワルデマール・キッペス，弓箭書院，2009
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【大賀】 月・水曜日の3・4限 上記時間帯に訪問できない場合は、事前にメールでアポイントメントをとること。 E-mail：ogaju@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	1. 当事者による講義の翌週のグループワークには、自分の意見をまとめたうえで臨み、グループワークおよび発表準備をスムーズに進めてください。 2. 授業終了後は関連文献を読み、さらに学びを深めてください。

講義名	疾病の成り立ち I		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	月曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員

職種	氏名	所属
医師	◎ 茅野 秀一	臨床検査学科教員

担当教員	茅野 秀一・加藤木利行・田邊 一郎・辻 美隆・嶋崎 晴雄・石田 明・宮野 恭平・石川 聖・海老原弘剛・清水 直樹・岡井 公志
科目の目標	将来、看護師として患者さんや家族のケアにあたるため、診療に関する基本的な事項を理解し、血液、呼吸器、循環器、皮膚科、眼科、乳腺疾患および精神科疾患に関する基本的な知識を修得する。
学習の具体的な目標	●疾病の成り立ち I ー① 【総論】 1) 疾病の成立要因について説明できる。 2) 疾病による組織の障害とその回復過程について概説できる。 3) 疾病の診断から治療にいたる流れを説明できる。 4) 身体診察法と各種の検査法について概説できる。 5) 外科的治療に関する基本的な事項を説明できる。 6) 移植医療に関する基本的な事項を説明できる。 【血液疾患】 1) 血液疾患を分類し、それぞれの病因・病態について概説できる。 2) 代表的な血液疾患の発症様式と症候、診断の要点を説明できる。 3) 代表的な血液疾患の治療と予後について概説できる。 【呼吸器疾患】 1) 呼吸器疾患を分類し、それぞれの病因・病態について概説できる。 2) 代表的な呼吸器疾患の発症様式と症候、診断の要点を説明できる。 3) 代表的な呼吸器疾患の治療と予後について概説できる。 ●疾病の成り立ち I ー② 【循環器疾患】 1) 循環器疾患を分類し、それぞれの病因・病態について概説できる。 2) 代表的な循環器疾患の発症様式と症候、診断の要点を説明できる。 3) 代表的な循環器疾患の治療と予後について概説できる。 【眼科・皮膚科疾患・乳腺疾患】 1) 日常よく診る眼科疾患の診断と治療について概説できる。 2) 日常よく診る皮膚科疾患の診断と治療について概説できる。 3) 乳腺疾患の診断と治療について概説できる。 【精神科疾患】

- 1) 精神科疾患を分類し、代表的な精神科疾患の症候、診断の要点を説明できる。
- 2) 代表的な精神科疾患の治療と予後について概説できる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	田邊		
	テーマ	総論1：診療の流れ		
	授業内容	1. 医療面接の意義とその概要を説明できる。 2. 基本的な身体診察の手順について、その概要を説明できる。 3. 身体診察を行う上で留意すべき事項を説明できる。 4. 基本的な臨床検査について、その概要を説明できる。 5. 基本的な治療法について、その概要を説明できる。 6. 医療面接から身体診察、検査、診断、治療にいたる一連の診療の流れを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	田邊		
	テーマ	総論2：生化学検査、生理機能検査		
	授業内容	1. 代表的な尿・便検査の種類と意義を簡単に説明できる。 2. 代表的な血液検査の種類と意義を簡単に説明できる。 3. 尿・便・血液検査の検体採取法について簡単に説明できる。 4. 検査を行う上で留意すべき事項を説明できる。 5. 検査結果を解釈する上で留意すべき事項を簡単に説明できる。 6. 代表的な生理機能検査の種類と意義を簡単に説明できる。 7. 心電図、筋電図、脳波検査、肺機能検査の概要を述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	田邊		
	テーマ	総論3：各種の画像検査		
	授業内容	1. 単純XP、造影XP、CT、MRIの原理および種類と適応を概説できる。 2. RI検査の原理および種類と適応を概説できる。 3. これらの検査を行う際の留意点を簡単に説明できる。 4. それぞれの検査でみられる代表的な画像所見を簡単に説明できる。 5. 超音波検査の原理および種類と適応を概説できる。 6. 内視鏡検査の原理および種類と適応を概説できる。 7. 超音波および内視鏡検査でみられる代表的な画像所見を簡単に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	田邊		
	テーマ	総論4：疾病の要因、傷害に対する生体反応		
	授業内容	1. 病理学で用いられる基礎的な用語を挙げ、それぞれについて簡単に説明できる。 2. 疾病の要因を挙げ、それぞれについて簡単に説明できる。 3. 循環障害の病態について概説できる。 4. 炎症の病態について概説できる。 5. 腫瘍の病態について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	茅野		
	テーマ	総論5：創傷治癒、消毒と滅菌、手術の基本手技		
	授業内容			

1. 創傷の種類を列挙し、説明できる。
2. 創傷治癒のメカニズムを説明できる。
3. 傷治癒遅延因子を列挙できる。
4. 各種滅菌法について簡単に説明できる。
5. 消毒法の概要を説明できる。
6. 手術時手洗いについて説明できる。
7. 縫合・結紮法の概要を説明できる。
8. 切開法・止血法の概要を説明できる。

(予習時間30分、復習時間30分)

6	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	加藤木		
	テーマ	総論7: 移植医療		
	授業内容	1. 移植の種類について概要を説明できる。 2. 植物状態、脳死、心臓死について説明できる。 3. 臓器移植の種類について説明できる。 4. ドナーの種類・条件について概要を説明できる。 5. 拒絶反応の概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	辻		
	テーマ	総論6: 周術期の管理、インフォームドコンセント、EBM		
	授業内容	1. 周術期の患者さんへの対応を説明できる。 2. 術前リスク評価について説明できる 3. 術後の合併症について説明できる。 4. 術後管理の要点を説明できる。 5. 根拠に基づく医療について説明できる。 6. インフォームドコンセントについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	石田		
	テーマ	血液1: 血液細胞と造血、造血障害の病態生理、貧血疾患		
	授業内容	1. 血液細胞の種類と役割を説明できる 2. 造血のしくみについて簡単に説明できる 3. 血球計算と骨髓検査を説明できる 4. 白血球異常、脾腫、リンパ節腫脹をきたす疾患を説明できる 5. 貧血の病態について簡単に説明できる 6. 主な貧血疾患を列挙して、その症候と治療の概略を説明できる (予習時間30分、復習時間30分) 障害の病態生理、貧血疾患		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	呼吸器1: 呼吸器疾患の診断と治療、胸膜・縦隔疾患		
	授業内容	1. 肺や気管支の解剖が説明でき、肺機能検査、血液ガスの正常値や簡単な解釈ができる。 2. 喀痰検査、胸部X線、CT、気管支鏡検査などの呼吸器診断法について概説できる。 3. 胸膜・縦隔を侵す代表的な疾患を列挙し、その概要を簡単に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	石田		
	テーマ	血液2: 造血器腫瘍、化学療法、造血幹細胞移植、輸血療法		
	授業内容	1. 主要な造血器腫瘍を列挙して、その症候と治療の概略を説明できる 2. 化学療法とその合併症の要点を説明できる 3. 造血幹細胞移植の要点を説明できる 4. 輸血製剤の種類と特徴、輸血療法の要点を説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	4限
	講義室	C401		

担当者	石田			
テーマ	血液3：止血・凝固・線溶、出血性疾患の病態生理、出血性疾患			
授業内容	1. 止血・凝固・線溶のしくみについて簡単に説明できる 2. 出血性疾患の病態について簡単に説明できる 3. 主な出血性疾患を列挙して、その症候と治療の概略を説明できる （予習時間30分、復習時間30分）			
12	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	呼吸器2：肺腫瘍		
	授業内容	1. 肺癌や肺の良性腫瘍の分類を説明できる。 2. 肺癌や肺の良性腫瘍の症候を列挙できる。 3. 肺癌や肺の良性腫瘍の検査所見を説明できる。 4. 肺癌や肺の良性腫瘍の治療について簡単に説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	呼吸器3：慢性閉塞性肺疾患		
	授業内容	1. 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の分類を説明できる。 2. COPDの症候を列挙できる。 3. COPDの検査所見、とくに肺機能検査の特徴について説明できる。 4. COPDの治療法と予後について簡単に説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	呼吸器4：間質性肺疾患、肺感染症、急性呼吸促進症候群、サルコイドーシスなど		
	授業内容	1. 間質性肺炎について概説できる。 2. 肺感染症（細菌性・ウイルス性など）の種類と症候について述べる事が出来る。 3. 肺感染症の検査所見と治療について簡単に説明できる。 4. 急性呼吸促進症候群、サルコイドーシスについて概説できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	辻		
	テーマ	呼吸器5：呼吸器疾患の外科的療法（胸膜疾患を含む）		
	授業内容	1. 肺癌の手術療法について簡単に説明できる。 2. 縦隔腫瘍の手術療法の概要を説明できる。 3. 肺結核の手術療法の概要を説明できる。 4. 自然気胸の病態と症候および治療について簡単に説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
16	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	田邊		
	テーマ	循環器1：循環器疾患の診断と治療、虚血性心疾患		
	授業内容	1. 心臓の構造、心周期、刺激伝導系について簡単に説明できる。 2. 心電図、心エコー、心カテーテル、核医学検査などについて簡単に説明できる。 3. 虚血性心疾患の疫学について概説できる。 4. 心筋梗塞および狭心症の発症様式と症候、診断の要点を説明できる。 5. 心筋梗塞および狭心症の治療と予後について概説できる。 6. 虚血性心疾患の予防について概説できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
17	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	石川		
	テーマ	眼科1：日常よく診る眼科疾患1		

	授業内容	1. 眼科という診療科の内容を確認する。 2. 眼球の構造と機能（近視、乱視の違いを理解する） 3. 簡単な外眼部疾患の理解（霰粒腫、麦粒腫、結膜炎など） 4. 白内障の理解 （予習時間30分、復習時間30分）		
18	年月日（曜日）	令和 7年06月13日（金）	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	田邊		
	テーマ	循環器2：不整脈		
	授業内容	1. 不整脈の種類を挙げ、それぞれの病態について簡単に説明できる。 2. 徐脈性不整脈と頻脈性不整脈について、心電図上の特徴も含めて説明できる。 3. 致死的な不整脈の心電図所見を説明できる。 4. 抗不整脈薬、アブレーション、ペースメーカーなどによる各種不整脈の治療法を概説できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
19	年月日（曜日）	令和 7年06月16日（月）	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	田邊		
	テーマ	循環器3：心不全		
	授業内容	1. 心不全の病態と症候を、右心不全と左心不全に分けて説明できる。 2. 急性心不全と慢性心不全の異同を述べ、それぞれの治療法について簡単に説明できる。 3. 心不全をきたす疾患（心筋疾患、血管疾患、弁疾患など）を列挙し、その概要を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
20	年月日（曜日）	令和 7年06月18日（水）	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	石川		
	テーマ	眼科2：日常よく診る眼科疾患2		
	授業内容	1. 眼底疾患を通して全身疾患を知る。（糖尿病性網膜症を中心に） 2. 眼科の代表的な治療法（マイクロサージャリーの実際、レーザー治療）を説明できる。 3. 緑内障について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
21	年月日（曜日）	令和 7年06月20日（金）	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	田邊		
	テーマ	循環器4：弁膜症、心筋・心膜疾患		
	授業内容	1. 心雑音の分類を述べ、その概要を簡単に説明できる。 2. 弁膜症（先天性心疾患を除く）の分類を説明できる。 3. 弁膜症、とくに僧帽弁狭窄症の症候を列挙できる。 4. 弁膜症の治療法と予後について概説できる。 5. 心筋症の分類を述べ、その概要を簡単に説明できる。 6. 心膜疾患の分類を述べ、その概要を簡単に説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
22	年月日（曜日）	令和 7年06月23日（月）	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	田邊		
	テーマ	循環器5：血圧の異常、脈管疾患		
	授業内容	1. 高血圧症の成因について概説できる。 2. 高血圧症の診断基準について簡単に説明できる。 3. 高血圧症をきたす疾患を分類して概説できる。 4. 高血圧症の予防と治療について概説できる。 5. 低血圧症の病態と症候について簡単に説明できる。 6. 大動脈を侵す代表的な疾患を列挙し、その概要を簡単に説明できる。 7. 末梢動脈および静脈を侵す代表的な疾患を列挙し、その概要を簡単に説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
23	年月日（曜日）	令和 7年06月25日（水）	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	海老原		
	テーマ	精神科1：精神科疾患1		
	授業内容			

1. 正常・異常の判断基準について、その概要を説明できる。
2. 代表的な精神疾患の分類、症状、予後について概要を説明できる
(予習時間30分、復習時間30分)

24	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	宮野		
	テーマ	皮膚科1: 日常よく診る皮膚科疾患1		
	授業内容	1. 皮膚の基本的な構造と機能について説明できる。 2. 角化の機序、メラニン生成機序、皮膚の免疫学の基本について説明できる。 3. 皮膚の種類と特徴について説明できる。 4. 皮膚科の基本的な診断法、検査法について説明できる。 5. 皮膚病理組織学・皮膚免疫組織学の基本について説明できる。 6. 湿疹・アトピー性皮膚炎・接触皮膚炎・蕁麻疹について説明できる。 7. 多形滲出性紅斑・結節性紅斑・スウィート病・ペーチェット病について説明できる。 8. 代表的なデルマドローームについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
25	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	清水		
	テーマ	精神科2: 精神科疾患2		
	授業内容	1. 統合失調症の症状、治療、予後について、その概要を説明できる。 2. 精神科での薬物療法について、その概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	宮野		
	テーマ	皮膚科2: 日常よく診る皮膚科疾患2		
	授業内容	1. 薬疹について説明できる。 2. アナフィラクトイド紫斑病について説明できる。 3. 尋常性天疱瘡・水疱性類天疱瘡について説明できる。 4. 尋常性乾癬・扁平苔癬について説明できる。 5. 母斑細胞母斑・太田母斑・ポートワイン母斑・いちご状血管腫について説明できる。 6. 基底細胞癌・有棘細胞癌・悪性黒色腫について説明できる。 7. 尋常性痤瘡、円形脱毛症について説明できる。 8. 代表的なウイルス・細菌・真菌感染症について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
27	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	岡井		
	テーマ	精神科3: 精神科疾患3		
	授業内容	1. 躁うつ病の症状、治療、予後について、その概要を説明できる。 2. 精神疾患の治療を行う際の処置について、その概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
28	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	加藤木		
	テーマ	循環器6: 循環器疾患の外科的療法1		
	授業内容	1. 人工心臓の構造と機能を理解し説明できる。 2. 補助心臓について説明できる。 3. 代表的な先天性心疾患を列挙し、その概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
29	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	加藤木		
	テーマ	循環器7: 循環器疾患の外科的療法2		
	授業内容			

1. 弁膜症の手術療法について簡単に説明できる。
2. 経皮的冠動脈形成術および冠動脈バイパス術について簡単に説明できる。
3. 大動脈瘤・大動脈解離の病態と症候および治療について簡単に説明できる。
(予習時間30分、復習時間30分)

30	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	辻		
	テーマ	乳腺疾患：乳癌・乳腺症・その他		
	授業内容	1. 乳腺の良性疾患、悪性疾患を列挙し、その概要を説明できる。 2. 乳腺の画像診断について簡単に説明できる。 3. 乳癌の症候と検査所見について説明できる。 4. 乳癌の手術および集学的治療について簡単に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 疾病の成り立ち I-①の試験は6月21日(土)2限に、I-②の試験は定期試験期間内に行う。(いずれも多肢選択問題) 2. I-①とI-②の双方に合格する必要がある、その平均が最終成績となる。 3. どちらの試験も、出席不良の場合には受験資格を失い、結果的に科目不合格となるので注意すること。 4. I-①とI-②とも不合格者には再試験を行なう。
教科書	1. なるほどなっとく内科学 浅野嘉延 編 南山堂 2. 系統看護学講座 病態生理学 疾病の成り立ちと回復の促進〔2〕 医学書院
参考書	1. 内科学 第10版、朝倉書店 2. 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 第9版 医学書院 3. 臨床病態学3、北村聖編、ヌーヴェルヒロカワ
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【茅野秀一】 月曜日の17時から18時 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 メールアドレス：hidekazu@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。

講義名	疾病の成り立ちⅡ		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員

職種	氏名	所属
医師	◎ 茅野 秀一	臨床検査学科教員

担当教員	茅野 秀一・辻 美隆・嶋崎 晴雄・澤田 豊・朝倉 博孝・渡邊 裕輔・矢部慎一郎
科目の目標	将来、看護師として患者さんや家族のケアにあたるため、腎・尿路疾患、膠原病、整形外科、救急、女性生殖器、妊娠と分娩に関する基本的な知識を修得する。
学習の具体的な目標	【腎・尿路疾患・男性生殖器疾患】 1) 腎・尿路・生殖器疾患を分類し、それぞれの病因・病態について概説できる。 2) 代表的な腎・尿路疾患の発症様式と症候、診断の要点を説明できる。 3) 代表的な腎・尿路疾患の治療と予後について概説できる。 4) 代表的な男性生殖器疾患の診断と治療について概説できる。 【女性生殖器、妊娠と分娩】 1) 女性生殖器の構造、性周期のメカニズムについて概説できる。 2) 正常な妊娠・分娩の経過とその異常について概説できる。 【膠原病・リウマチ性疾患】 1) 膠原病・リウマチ性疾患を分類し、それぞれの病因・病態の概要を説明できる。 2) 代表的な膠原病・リウマチ性疾患の発症様式と症候、診断の要点を説明できる。 3) 代表的な膠原病・リウマチ性疾患の治療と予後について概説できる。 【整形外科疾患】 1) 代表的な骨と関節の外傷について、その診断と治療の概要を説明できる。 2) 代表的な運動器疾患の診断と治療の概要を説明できる。 【救急疾患】 1) 救急疾患の基本的な治療方針について概説できる。 2) 外傷と熱傷の診断と治療について概説できる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	渡邊		
	テーマ	腎・尿路・生殖器1：腎・尿路系疾患の診断と治療		
	授業内容			

1. 腎・尿路系の構造と機能を説明できる。
2. 内分泌器官としての腎臓の働きについて説明できる。
3. 腎臓機能検査について簡単に説明できる。
4. 腎疾患の管理、特に食事療法について説明できる。
(教科書を持参すること。特に指定はしない。)
(予習時間30分、復習時間30分)

2	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	渡邊		
	テーマ	腎・尿路・生殖器2：急性腎障害、ネフローゼ症候群		
	授業内容	1. 急性腎障害の原因と病態について説明できる。 2. ネフローゼ症候群の病態と治療について説明できる。 3. 浮腫について説明できる。 (教科書を持参すること。特に指定はしない。) (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	渡邊		
	テーマ	腎・尿路・生殖器3：慢性腎障害、腎代替療法など		
	授業内容	1. 高血圧症の原因と病態について説明できる。 2. 慢性腎臓病について簡単に説明できる。 3. 腎代替療法(移植、透析)について説明できる。 4. 尿路感染症と尿路結石の基本事項について説明できる。 (教科書を持参すること。特に指定はしない。) (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	朝倉		
	テーマ	腎・尿路・生殖器4：腎・尿路系の腫瘍、前立腺疾患		
	授業内容	1. 腎細胞癌、膀胱癌と前立腺癌の病態を説明できる。 2. 前立腺癌と前立腺肥大症の鑑別を説明できる。 3. 膀胱全摘術後の尿路変更術を列挙できる。 4. 前立腺特異抗原(PSA)について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	矢部		
	テーマ	妊娠・分娩1：女性生殖器		
	授業内容	1. 女性生殖器の構造について説明できる。 2. 女性特有の性周期(月経発生機構)について、視床下部・下垂体・卵巢系のホルモンフィードバック機構をもとに説明できる。 3. 卵胞ホルモンと黄体ホルモンの作用による子宮内膜の周期的変化を説明できる。 4. 基礎体温の温度変化について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	矢部		
	テーマ	妊娠・分娩2：妊娠・分娩1		
	授業内容	1. 排卵、受精、着床について説明できる。 2. 妊娠の徴候を列挙できる。 3. 妊娠の診断法について述べるができる。 4. 妊娠初期の性器出血と下腹部痛の原因を列挙できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	矢部		
	テーマ	妊娠・分娩3：妊娠・分娩2		
	授業内容			

1. 妊娠による母体の変化を列挙できる。
 2. 胎児の特徴を列挙できる。
 3. 胎盤の構造と機能を説明できる。
 4. 羊水について説明できる。
 5. 妊娠中期・後期の性器出血と腹痛の原因を列挙できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

8	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	矢部		
	テーマ	妊娠・分娩4：妊娠・分娩3		
	授業内容	1. 分娩の三要素について説明できる。 2. 正常分娩の経過について説明できる。 3. 分娩監視の方法を説明できる。 4. 分娩時の異常出血の原因を列挙できる。 5. 産褥の変化について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	澤田		
	テーマ	整形外科1：日常よく診る運動器疾患1		
	授業内容	1. 整形外科の診療対象と治療方法について概略を説明できる。 2. 代表的な骨折の診断と治療を説明できる。 3. 骨折の合併症とその対策を説明できる。 4. 代表的な関節の外傷について診断と治療を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	澤田		
	テーマ	整形外科2：日常よく診る運動器疾患2		
	授業内容	1. 代表的な脊椎疾患の診断と治療を説明できる。 2. 代表的な関節疾患の診断と治療を説明できる。 3. 代表的な筋・腱の炎症性疾患の診断と治療を説明できる。 4. 代表的な末梢神経疾患の診断と治療を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	膠原病1：膠原病の診断と治療、SLE		
	授業内容	1. 自己免疫疾患の病態について簡単に説明できる。 2. 膠原病の診断に必要とされる代表的な検査法について概説できる。 3. 全身性エリテマトーデス(SLE)の病態と症候について説明できる。 4. SLEに特徴的な検査所見について簡単に説明できる。 5. SLEの治療について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	膠原病2：SSc、MCTD、多発性筋炎/皮膚筋炎、ベーチェット病、SjS		
	授業内容	1. 全身性強皮症(SSc)の病態と症候について説明できる。 2. SScに特徴的な検査所見について簡単に説明できる。 3. SScの治療について概説できる。 4. 混合性結合組織病について簡単に説明できる。 5. 多発性筋炎/皮膚筋炎(PM/DM)の病態と症候について説明できる。 6. ベーチェット症候群、SjSについて簡単に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	膠原病3：RA・リウマチ熱、PANその他		

授業内容	1. 全身性強皮症（SSc）の病態と症候について説明できる。 2. SScに特徴的な検査所見について説明できる。 3. SScの治療について概説できる。 4. 混合性結合組織病について説明できる。 5. 多発性筋炎/皮膚筋炎（PM/DM）の病態と症候について説明できる。 6. ペーチェット症候群、SjSについて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
14	年月日（曜日）	令和 7年07月14日（月）	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	辻・茅野		
	テーマ	救急1：救急のABC		
	授業内容	1. バイタルサインの確認法について説明できる。 2. 救急のABCについて説明できる。 3. 心肺蘇生法について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日（曜日）	令和 7年07月16日（水）	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	辻		
	テーマ	救急2：外傷、熱傷その他		
	授業内容	1. 多発外傷患者への対応について概説できる。 2. 熱傷の重傷度分類を説明できる。 3. 熱傷の重傷度分類に応じた治療について説明できる。 4. 各種ショックの病態を列挙できる。 5. 各種ショックの初期治療について簡単に説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		

評価方法	1. 疾病の成り立ちⅡの試験は定期試験期間内に行う。（多肢選択問題） 2. 出席不良の場合には受験資格を失い、自動的に科目不合格となるので注意すること。 3. 定期試験不合格者には再試験期間中に再試験を行う。
教科書	なるほどなっとく内科学 浅野嘉延 編 南山堂
参考書	内科学 第10版、朝倉書店
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【茅野秀一】 月曜日の17時から18時 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 メールアドレス：hidekazu@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。

講義名	疾病の成り立ちⅢ		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	火曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
医師	◎ 茅野 秀一	臨床検査学科教員

担当教員	茅野 秀一・加藤木利行・辻 美隆・田邊 一郎・池田 将樹・嶋崎 晴雄・酒井 純・森 幸太郎・伊藤大輔・安田 重光・武者 育麻・味原さや香・本島由紀子・関根 達朗・鍋嶋 泰典
科目の目標	将来、看護師として患者さんや家族のケアにあたるため、消化器疾患、神経疾患、特殊な感染症、中毒、生活習慣と合併症、耳鼻咽喉科、内分泌・代謝、小児科疾患に関する基本的な知識を修得する。
学習の具体的な目標	●疾病の成り立ち Ⅲ－① 【特殊な感染症】 1) 性感染症、新興・再興感染症、輸入感染症、人畜共通感染症の現況および予防と治療について概説できる。 2) 院内感染症の現況および対策について概説できる。 【消化器疾患】 1) 消化器疾患を分類し、それぞれの病因・病態の概要を説明できる。 2) 代表的な消化管疾患の発症様式と症候、診断の要点を説明できる。 3) 代表的な消化管疾患の治療と予後について概説できる。 4) 代表的な肝・胆・膵疾患の発症様式と症候、診断の要点を説明できる。 5) 代表的な肝・胆・膵疾患の治療と予後について概説できる。 【中毒性疾患】 1) 中毒性疾患の分類と症候について概説できる。 2) 食中毒の診断と治療について概説できる。 3) 薬物中毒の診断と治療について概説できる。 【生活習慣と合併症】 1) 生活習慣と、糖尿病や高血圧の関係を概説できる。 【耳鼻咽喉科疾患】 1) 日常よく診る耳鼻咽喉科疾患の診断と治療について概説できる。 ●疾病の成り立ち Ⅲ－② 【内分泌・代謝疾患】 1) 代謝疾患を分類し、それぞれの病因・病態の概要を説明できる。 2) 代表的な代謝疾患の発症様式と症候、診断の要点を説明できる。 3) 代表的な代謝疾患の治療と予後について概説できる。 4) 内分泌疾患を分類し、それぞれの病因・病態の概要を説明できる。 5) 代表的な内分泌疾患の発症様式と症候、診断の要点を説明できる。 6) 代表的な内分泌疾患の治療と予後について概説できる。

【小児科疾患】

- 1) 新生児、未熟児に特有な生理と病態について概説できる。
- 2) 小児の内分泌・代謝異常症の診断と治療について概説できる。
- 3) 小児の脱水や熱性けいれんについて概説できる。
- 4) 小児に特有な感染症や免疫・アレルギー性疾患について概説できる。
- 5) 予防接種の意義と実施方法を概説できる。
- 6) 小児の代表的な先天性心疾患について概説できる。

【神経疾患】

- 1) 神経疾患を分類し、それぞれの病因・病態の概要を説明できる。
- 2) 代表的な神経疾患の発症様式と症候、診断の要点を説明できる。
- 3) 代表的な神経疾患の治療と予後について概説できる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	茅野		
	テーマ	生活習慣と合併症		
	授業内容	1. 生活習慣と高血圧について説明できる。 2. 生活習慣病を放置した場合の合併症について簡単に説明できる。 3. 生活習慣の改善と予防医学について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	田邊		
	テーマ	消化器1: 消化器疾患の診断と治療		
	授業内容	1. 消化器の正常構造と機能について簡単に説明できる。 2. 消化器疾患の症候と、その病態生理について説明できる。 3. 消化器疾患の診断における血液・尿・便の生化学検査の種類と適応について説明できる。 4. 消化器疾患の診断におけるエックス線検査、内視鏡検査、超音波検査などの種類と適応について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	関根		
	テーマ	耳鼻科1: 日常よく診る耳鼻咽喉科疾患1		
	授業内容	1. 耳の構造(外耳、中耳、内耳)について説明できる。 2. 耳の2大機能である聴覚機能、平衡機能について説明できる。 3. 聴覚機能と平衡機能の検査法の概要を説明できる。 4. 主な耳疾患の病態生理を述べ、診断と治療の概要を説明できる。 キーワード: 外耳道、鼓膜、耳管、耳小骨、蝸牛、前庭、半規管、内耳道、蝸牛神経、顔面神経、中耳伝音機構、聴覚伝導路、前庭眼反射、前庭赤髄反射、標準純音聴力検査、ティンパノグラム、聴性脳幹反応、眼振検査、外耳炎、中耳炎、突発性難聴、メニエル病、聴神経腫瘍、薬物による内耳障害、内耳炎、先天性難聴、良性発作性頭位眩暈、末梢性顔面神経麻痺 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	田邊		
	テーマ	消化器2: 食道・胃・十二指腸		
	授業内容	1. 食道炎、アカラシア、食道静脈瘤などの食道疾患について、その病態と症候を簡単に説明できる。 2. 食道疾患の検査所見と治療について概説できる。 3. 胃炎、胃・十二指腸潰瘍、マロリー・ワイス症候群の病態と症候を簡単に説明できる。 4. これらの疾患の検査所見と治療について概説できる。 5. 胃・十二指腸潰瘍と胃・十二指腸の消化管ホルモンとの関連について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	関根		
	テーマ	耳鼻科2: 日常よく診る耳鼻咽喉科疾患2		

授業内容		1. 鼻副鼻腔各部の名称を列挙できる。 2. 鼻腔の機能を説明できる。 3. 鼻副鼻腔の主要疾患の概要を説明できる。 4. 咽喉頭各部の名称を列挙できる。 5. 咽喉頭の機能を説明できる。 6. 咽喉頭の主要疾患の概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月23日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	田邊		
	テーマ	消化器3: 小腸・大腸		
	授業内容	1. 吸収不良症候群、イレウス、ヘルニアなどの小腸疾患について、その病態と症候を簡単に説明できる。 2. 吸収不良症候群、イレウス、ヘルニアなどの検査所見と治療について概説できる。 3. 炎症性腸疾患(腸結核、クローン病、潰瘍性大腸炎)の病態と症候を簡単に説明できる。 4. 炎症性腸疾患の検査所見と治療について概説できる。 5. 急性虫垂炎や大腸ポリープなどポピュラーな大腸疾患の病態と症候を簡単に説明できる。 6. ポピュラーな大腸疾患の検査所見と治療について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年10月28日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	酒井		
	テーマ	特殊な感染症1: 性感染症、新興・再興感染症など		
	授業内容	1. 性感染症について簡単に説明できる。 2. 新興・再興感染症について簡単に説明できる。 3. 輸入感染症について簡単に説明できる。 4. SARS・新型インフルエンザの概要を説明できる。 5. 人獣共通感染症の診断・治療・予防について簡単に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年10月30日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	田邊		
	テーマ	消化器4: 消化管悪性疾患		
	授業内容	1. 食道癌の症候および検査所見と治療について簡単に説明できる。 2. 胃癌のボールマン分類や早期胃癌分類について図示しながら説明できる。 3. 胃癌の症候および検査所見と治療について簡単に説明できる。 4. 大腸癌の症候および検査所見と治療について簡単に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月04日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	森		
	テーマ	特殊な感染症2: 院内感染症その他		
	授業内容	1. 院内感染症について簡単に説明できる。 2. 代表的な院内感染症とその対策について概要を説明できる。 3. 菌交代現象および薬剤耐性菌について簡単に説明できる。 4. 日和見感染の病態とその病因微生物を列挙し、簡単に説明できる。 5. 標準予防策について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	田邊		
	テーマ	消化器5: 肝・胆・膵1		
	授業内容			

1. ウイルス性肝炎（A、B、C、D、E）の症候および検査所見について簡単に説明できる。
 2. ウイルス性肝炎の予防および治療について概説できる。
 3. ウイルス性肝炎患者からの針刺し事故への留意点および対処法について簡単に説明できる。
 4. 慢性肝炎の病態と症候および検査所見について概説できる。
 5. 肝硬変症の病態と症候および検査所見について概説できる。
 6. 肝硬変症の合併症について概説できる。
 7. 慢性肝炎と肝硬変症の治療について概説できる。
 8. 肝臓の検査所見と治療について概説できる。
 9. 慢性肝炎から、肝硬変、肝臓へのプロセスについて概説できる。
 10. その他の肝疾患（アルコール性肝障害、薬剤性肝炎など）について概説できる。
- （予習時間30分、復習時間30分）

11	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	本島		
	テーマ	小児科1：新生児・未熟児、染色体異常		
	授業内容	1. 新生児の生理と特異な病態を理解する。 2. 小児の先天性疾患を理解し、その早期発見と予防の意義を説明できる。 キーワード：新生児仮死、低出生体重児、新生児けいれん、新生児呼吸窮迫症候群、胎便吸引症候群、新生児マススクリーニング、遺伝性疾患、染色体異常、Down症候群、Turner症候群 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日(曜日)	令和 7年11月13日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	中毒による疾患：食中毒・その他		
	授業内容	1. 食中毒の原因を列挙できる。 2. 細菌性食中毒の診断・治療・予防について説明できる。 3. 薬物中毒の原因を列挙できる。 4. 薬物中毒の診断・治療について説明できる。 5. 化学物質による中毒を列挙できる。 6. 化学物質（有機溶剤、金属、有毒ガスなど）による中毒の診断・治療について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日(曜日)	令和 7年11月18日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	武者		
	テーマ	小児科2：代謝・内分泌異常症、脱水症、熱性けいれん		
	授業内容	1. 小児特有の内分泌・代謝疾患を理解、治療を説明できる。 2. 小児の体液組成と特有の急性疾患を理解し、治療法を説明できる。 3. 小児の痙攣性疾患を理解し、対応を説明できる。 キーワード：糖尿病、低身長、肥満、乳児下痢症、脱水症、熱性けいれん、点頭てんかん （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日(曜日)	令和 7年11月20日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	田邊		
	テーマ	消化器6：肝・胆・膵2		
	授業内容	1. 胆嚢・胆道系疾患（胆石、胆道系腫瘍など）の症候および検査所見と治療について簡単に説明できる。 2. 膵臓疾患（急性膵炎、慢性膵炎、膵癌など）の症候および検査所見と治療について簡単に説明できる。 3. 急性腹症の概念、その診断と治療について概説できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日(曜日)	令和 7年11月21日(金)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	鍋嶋		
	テーマ	小児科4：小児の先天性心疾患		
	授業内容			

1. 先天性心疾患の分類が説明できる。
 2. 先天性心疾患の疫学が説明できる。
 3. 先天性心疾患の診察、診断方法を説明できる。
 4. 心不全、チアノーゼについて説明できる。
 5. 先天性心疾患に対する内科的治療について説明できる。
 6. 先天性心疾患の外科的治療について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

16	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	味原		
	テーマ	小児科3：小児の感染症と予防接種・免疫アレルギー		
	授業内容	1. 小児のウイルス性疾患の症状を把握し、対策を立案できる。 2. 予防接種の意義を理解し、実施方法を立案できる。 3. 気管支喘息の病態と治療を理解し、看護と予防を立案できる。 4. 川崎病の診断基準と合併症を理解し、看護を立案できる。 キーワード：ウイルス感染症、細気管支炎、細菌感染症、髄膜炎、溶連菌感染症、肺炎、予防接種、気管支喘息・川崎病 (予習時間30分、復習時間30分)		
17	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	辻		
	テーマ	消化器7：消化器疾患の外科的療法1		
	授業内容	1. 食道癌の手術および集学的治療について簡単に説明できる。 2. 胃癌の手術について簡単に説明できる。 3. 大腸癌・直腸癌の手術について簡単に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年12月02日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	伊藤		
	テーマ	内分泌・代謝1：内分泌・代謝疾患の診断と治療、糖尿病1		
	授業内容	1. 内分泌・代謝疾患に特有の症候と一般的な診断手順について概説できる。 2. 栄養とその代謝について概説できる。 3. グリコーゲン合成系と分解系、解糖系と糖新生系、クエン酸回路について概説できる。 4. 糖尿病の病型分類と病因について概説できる。 5. 糖尿病または耐糖能異常をきたす疾患を分類して概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年12月04日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	辻		
	テーマ	消化器8：消化器疾患の外科的療法2		
	授業内容	1. 胃十二指腸潰瘍穿孔の手術について簡単に説明できる。 2. 急性虫垂炎の手術について簡単に説明できる。 3. 痔疾患の手術について簡単に説明できる。 4. ヘルニア手術について簡単に説明できる。 5. 胆石症の手術について簡単に説明できる。 6. 閉塞性黄疸に対する処置について簡単に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年12月09日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	伊藤		
	テーマ	内分泌・代謝2：糖尿病2		
	授業内容	1. 糖尿病の一般的な症候と診断について説明できる。 2. 糖尿病の治療および治療上の留意点について説明できる。 3. 糖尿病の合併症とその対策について概説できる。 4. メタボリック症候群について簡単に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年12月11日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	嶋崎		

テーマ	神経1：神経疾患の診断と治療、脳炎・髄膜炎、その他			
授業内容	1. 代表的な神経症候とその病巣診断について説明できる。 2. 神経疾患の診断に必要とされる代表的な検査法について概説できる。 3. 脳炎・髄膜炎の一般的な症候を列挙できる。 4. 脳炎・髄膜炎の分類を列挙し、発病様式と検査所見の特徴を説明できる。 5. 脳炎・髄膜炎の治療について概説できる。 6. その他の神経系感染症について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
22	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	伊藤		
	テーマ	内分泌・代謝3：その他の代謝異常		
	授業内容	1. 痛風の病態と症候について簡単に説明できる。 2. 痛風の治療について簡単に説明できる。 3. 脂質異常症の病態と症候について説明できる。 4. 脂質異常症の治療について説明できる。 5. その他の代謝異常症について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年12月18日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	辻		
	テーマ	内分泌・代謝6：内分泌疾患の外科的療法		
	授業内容	1. 甲状腺機能亢進症および甲状腺腫瘍の手術療法について簡単に説明できる。 2. 副甲状腺腫瘍の手術療法について簡単に説明できる。 3. 副腎腫瘍の手術療法について簡単に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	安田		
	テーマ	内分泌・代謝4：下垂体・副腎		
	授業内容	1. 先端巨大症について簡単に説明できる。 2. 尿崩症の病態と症候、検査所見、治療について説明できる。 3. Cushing症候群の病態と症候、検査所見、治療について説明できる。 4. 副腎皮質機能低下症について簡単に説明できる。 5. 原発性アルドステロン症について簡単に説明できる。 6. 褐色細胞腫について簡単に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
25	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	神経2：変性疾患1		
	授業内容	1. アルツハイマー病の病態と症候について説明できる。 2. アルツハイマー病の治療について説明できる。 3. ハンチントン舞踏病について簡単に説明できる。 4. パーキンソン病の病態と症候について説明できる。 5. パーキンソン病の治療について説明できる。 6. 高次脳機能障害の病態と症候について説明できる。 7. 高次脳機能障害の治療について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	池田		
	テーマ	神経5：脳血管障害		
	授業内容			

1. 脳血管障害の分類を挙げ、その病態について説明できる。
 2. 脳血管障害の疫学について概説できる。
 3. 脳出血の一般的な症候と出血部位による特徴的な症候について説明できる。
 4. くも膜下出血の症候を説明できる。
 5. 慢性硬膜下血腫の症候を説明できる。
 6. 頭蓋内出血性疾患の検査所見と治療について説明できる。
 7. 脳血栓症および脳塞栓症の症候を説明できる。
 8. 一過性脳虚血発作の症候を説明できる。
 9. 頭蓋内虚血性疾患の検査所見と治療について説明できる。
 10. 脳血管障害の予防について概説できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

27	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	安田		
	テーマ	内分泌・代謝5：甲状腺・副甲状腺		
	授業内容	1. 甲状腺機能亢進症の病態と症候、検査所見について説明できる。 2. 甲状腺機能亢進症の治療について説明できる。 3. 甲状腺機能低下症について簡単に説明できる。 4. 炎症性甲状腺疾患について簡単に説明できる。 5. 甲状腺腫瘍について簡単に説明できる。 6. 副甲状腺機能亢進症について簡単に説明できる。 7. 副甲状腺機能低下症について簡単に説明できる。 8. 多発性内分泌腺腫症(MEN)について簡単に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
28	年月日(曜日)	令和 8年01月15日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	神経3：変性疾患2		
	授業内容	1. 運動ニューロン疾患の病態と症候について説明できる。 2. 運動ニューロン疾患に特徴的な筋電図所見について説明できる。 3. 運動ニューロン疾患の治療について説明できる。 4. 脊髄小脳変性症を分類し、それぞれの病態と症候について説明できる。 5. 脊髄小脳変性症の治療について説明できる。 6. 自律神経系の解剖、働きについて説明できる。 7. 排尿・排便の神経機構とその障害について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
29	年月日(曜日)	令和 8年01月20日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	池田		
	テーマ	神経6：腫瘍、頭痛、てんかん		
	授業内容	1. 脳・脊髄腫瘍の病理学的分類を挙げ、その病態について概説できる。 2. 脳・脊髄腫瘍の一般的症候を説明できる。 3. 脳・脊髄腫瘍の治療について概説できる。 4. 頭痛をきたす代表的な疾患を挙げ、その病態と特徴的な症候、治療について説明できる。 5. てんかん発作をきたす代表的な疾患を挙げ、その病態と特徴的な症候および脳波所見について簡単に説明できる。 6. てんかんの治療について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	神経4：免疫性疾患・筋疾患		
	授業内容	1. 多発性硬化症の病態と症候、検査所見について説明できる。 2. 多発性硬化症の治療について簡単に説明できる。 3. ギラン・バレー症候群の病態と症候、検査所見について説明できる。 4. ギラン・バレー症候群の治療について簡単に説明できる。 5. 重症筋無力症の病態と症候、検査所見について説明できる。 6. 重症筋無力症の治療について簡単に説明できる。 7. 周期性四肢麻痺について簡単に説明できる。 8. 筋ジストロフィー症を分類し、それぞれの病態と症候について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法

1. 疾病の成り立ちⅢ-①の試験は12月13日(土)3限に、Ⅲ-②の試験は定期試験期間内に行う。(いずれも多肢選択問題)
2. Ⅲ-①とⅢ-②の双方に合格する必要がある、その平均が最終成績となる。

	3. どちらの試験も、出席不良の場合には受験資格を失い、結果的に科目不合格となるので注意すること。 4. Ⅲ-①とⅢ-②とも不合格者には再試験を行なう。
教科書	1. なるほどなっとく内科学 浅野嘉延 編 南山堂 2. 系統看護学講座 病態生理学 疾病の成り立ちと回復の促進〔2〕 医学書院
参考書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ小児看護学〔2〕小児臨床看護各論、奈良間美保他著、医学書院 2. 内科学 第10版、朝倉書店 3. 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 第9版 医学書院 4. 臨床病態学3、北村聖他編、ヌーヴェルヒロカワ
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【茅野秀一】 月曜日の17時から18時 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 メールアドレス : hidekazu@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。

講義名	放射線医学概論		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	月曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
医師	◎ 久慈 一英	医学部教員

担当教員	久慈 一英・川俣 郁馬・井上 快児・岡田 吉隆・松浦紘一郎・中澤 賢・斎藤 哲
科目の目標	放射線医学は、画像診断および放射線治療を担っている。関連装置の発達はめざましく、医療全体における重要性は、益々高まってきている。そのような放射線医学の概要を学び、医療業務を行う上で必要な知識を習得する。
学習の具体的な目標	1) 放射線の種類、作用、単位を列挙し、説明できる。 2) 「放射線」と「放射能」の違いを説明できる。 3) 放射線被曝の種類を列挙し、説明できる。 4) 防護の三原則を説明できる。 5) 各種画像検査を列挙し、その特徴、必要な前・後処置、禁忌事項がある場合にはそれを説明できる。 6) 造影剤の使用意義と有害事象について説明できる。 7) 核医学検査の特徴および注意事項を説明できる。 8) 癌治療における三大治療方法を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。 9) 放射線治療の生物学的背景を説明できる。 10) 放射線治療の方法を列挙し、特徴を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	川俣		
	テーマ	放射線についての基礎知識、放射線防護・健康管理		
	授業内容	1. 放射線の種類、作用、単位を列挙し説明できる。 2. 放射線と放射能の違いを説明できる。 3. 放射線の確率的影響と確定的影響を説明できる。 4. 放射線被曝の種類を列挙し、説明できる。 5. 防護の三原則を説明できる。 6. 放射線管理、健康管理を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	井上		

テーマ	X線画像検査の基礎、一般撮影・消化管造影など			
授業内容	1. X線画像の原理を説明できる。 2. 各種X線検査を列挙し、説明できる。 3. 造影剤の意義と種類を説明できる。 4. 消化管造影検査に必要な前処置を説明できる。 5. コード造影剤を用いる検査を列挙し、説明できる。 6. コード造影剤の副作用と対処、および禁忌を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	岡田		
	テーマ	X線CT		
	授業内容	1. CTの原理と画像の表す意味を説明できる。 2. CT検査に用いる造影剤について説明できる。 3. CT検査実施時に注意すべき点を説明できる。 4. 頭部・胸部・腹部の主要な疾患のCT画像を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年11月14日(金)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	松浦		
	テーマ	MRI		
	授業内容	1. MRI画像の原理を説明できる。 2. 適応、禁忌を説明できる。 3. MRI室への持ち込み禁止品を列挙できる。 4. 造影剤の副作用と対処を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	中澤		
	テーマ	血管造影・IVR		
	授業内容	1. 血管造影の方法を説明できる。 2. IVRの適応と種類および有用性を説明できる。 3. 血管造影およびIVRに伴う合併症を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	斎藤		
	テーマ	放射線治療 1 総論(放射線生物学、治療法、装置、治療計画、有害事象と対応、看護師の対応など)		
	授業内容	1. 癌の三大治療方法を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。 2. 放射線治療の生物学的背景を説明できる。 3. 放射線治療計画、有害事象と対応について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	斎藤		
	テーマ	放射線治療 2 各論(肺癌、乳癌、前立腺癌、子宮頸部癌、緩和治療)		
	授業内容	1. 代表的疾患(肺癌、乳癌、前立腺癌、子宮頸部癌)について放射線治療の方法を列挙し説明できる。 2. 根治的治療と緩和的治療を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	久慈		
	テーマ	核医学診療		
	授業内容			

1. 放射性同位元素について説明できる。
 2. 核医学診療の体系を説明できる。
 3. シンチグラムの原理を説明できる。
 4. 核医学検査の特徴を説明できる。
 5. 核医学治療の要点を説明できる。
 6. 法的規制について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

評価方法	定期試験：多肢選択式の成績で評価する。正解率60%以上で合格、不合格の場合は再試験を実施する。
教科書	講義資料配付
参考書	臨床放射線医学第10版、医学書院
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 ・質問は、原則として授業中に受け付ける。 ・メールでの質問・相談先は以下のとおり。 E-mail : kuji@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	シラバスをもとに講義内容を予測して、参考書などで予習をしてから講義に臨むこと。 講義ノートをしっかりとのこと。配布資料だけでなく、図書館などで参考図書等を利用し、復習すること。

講義名	社会福祉論		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（健康支援と社会保障制度）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 小林 明弘	指定なし

担当教員	小林 明弘
科目の目標	社会福祉とは何か、社会福祉の発達史を含めて、社会福祉学の基礎知識を身につけ、社会福祉制度の変遷と将来を考察し、医療と福祉に関わる専門職としての役割を考察できるようにする。
学習の具体的な目標	1) 社会福祉の理念について説明できる。 2) 社会福祉の歴史の変遷を説明できる。 3) 社会福祉の概念について説明できる。 4) 社会福祉の専門的方法について説明できる。 5) 社会福祉法・制度について説明できる。 6) 社会保障の意義と社会保険について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月09日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	小林		
	テーマ	社会福祉とは何か		
	授業内容	1. 社会福祉の理念について考察する。 2. 社会的努力、方策を説明できる。 3. 生活と社会福祉について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	小林		
	テーマ	社会福祉の歴史的視点外国編 社会福祉の歴史的視点日本編		
	授業内容	1. 外国の社会福祉発達過程を考察する。 2. 我が国の社会福祉の歴史的過程を考察する。 3. ケースワークの発展過程を考察する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	1限

講義室	C401			
担当者	小林			
テーマ	ソーシャルワーク専門技術			
授業内容	1. ソーシャルワークと実践の専門技術について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	小林		
	テーマ	公的扶助、生活保護制度		
	授業内容	1. 公的扶助、生活保護制度について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	小林		
	テーマ	児童福祉、障害者福祉①		
	授業内容	1. 児童福祉法、障害者福祉法について説明できる。 2. ノーマライゼーションについて説明できる。 3. ユニバーサルデザインについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	小林		
	テーマ	障害者福祉②		
	授業内容	1. 障害者総合支援法、身体障害者福祉法について説明できる。 2. 知的障害者福祉法、精神障害者の福祉について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	小林		
	テーマ	高齢者福祉		
	授業内容	1. 高齢者福祉について説明できる。 2. 介護保険制度について説明できる。 3. 成年後見制度について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	小林		
	テーマ	社会保障と社会保険		
	授業内容	1. 社会保障について説明できる。 2. 社会保険の種類と内容について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 前期定期試験期間に筆記試験(全範囲)を行う。 2. 再試験は実施する。
教科書	1. 新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度③社会福祉 第8版、山崎泰彦他編著、メヂカルフレンド社
参考書	なし
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 メールにて、いつでも相談に応じます。 E-mail: honbu@marukikinen-wmc.or.jp
履修上の注意、履修要件	余暇を利用して学習内容の理解を深めることに心掛けること。

講義名	保健医療行政論Ⅰ		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（健康支援と社会保障制度）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	木曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 加藤 巳佐子	非常勤教員（大学外部）

担当教員	加藤巳佐子
科目の目標	我が国の保健医療行政の理念、しくみ、財政の基礎的知識を修得する。また、社会保障制度、医療制度と医療提供体制を学び、看護専門職者として課題を見極め解決に必要な知識と能力を養う。
学習の具体的な目標	1) 我が国の保健医療福祉制度の内容とその変遷について説明できる。 2) 保健医療福祉行政の理念について説明できる。 3) 地域保健行政の体系としくみを説明できる。 4) 社会保障制度の理念と医療制度を説明できる。 5) 医療提供体制と医療の課題を説明できる。 6) 健康危機管理の概要を説明できる。 7) 保健医療政策決定への住民参加について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	我が国の保健医療福祉制度の変遷及び動向		
	授業内容	1. 保健医療福祉制度創設の背景と理念について説明できる。 2. 公衆衛生と保健行政の歴史を説明できる。 3. 保健医療行政の動向を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	保健医療福祉行政の財政の理念としくみ		
	授業内容	1. 国、都道府県、市町村行政のしくみと役割について説明できる。 2. 保健医療福祉の財政と社会保障の財源を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	3限

講義室	C301			
担当者	加藤			
テーマ	社会保障制度と政策			
授業内容	1. 社会保障制度の理念としくみを説明できる。 2. 社会保障政策の概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	医療制度と政策		
	授業内容	1. 医療制度と医療保険のしくみを説明できる。 2. 医療保険の構造と財源を説明できる。 3. 保健医療計画および地域医療構想の意義と目的を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	介護保険制度と地域包括ケアシステム		
	授業内容	1. 介護保険制度の理念と目的を説明できる。 2. 介護保険サービスの内容と利用方法について説明できる。 3. 地域包括システムを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	地域保健行政の体系と政策		
	授業内容	1. 地域保健に関する公的機関について説明できる。 2. 地域保健政策について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	地域健康危機管理		
	授業内容	1. 健康危機管理の変遷を説明できる。 2. 健康危機管理の原則を説明できる。 3. 健康危機管理と医療者の役割を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	保健医療政策決定への住民参加		
	授業内容	1. 保健医療福祉関係の行政計画策定の概要を説明できる。 2. 保健医療福祉関係の行政計画への住民参加について説明できる。 3. 保健医療福祉行政に携わる医療者の説明責任について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 定期試験時に筆記試験を行う(60%) 2. 授業内の課題レポートを評価の対象とする(30%) 3. 遅刻・欠席等、授業への参加態度を評価に含む(10%) 4. 再試験の有無：定期試験で合格基準に到達しない場合は、1回再試験を実施する。
教科書	1. 標準保健師講座 別巻1 保健医療福祉行政論、藤内修二他著、医学書院 2. 国民衛生の動向(1年次に使用したもの)、厚生労働統計協会
参考書	1. これからの保健医療福祉行政論 第2版、星旦二、麻原きよみ編集、日本看護協会出版会 2. 公衆衛生が見える(1年次に使用したもの)、医療情報科学研究所編、メディックメディア
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問、フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 木曜日12:10~13:10

	授業終了後、またはメールにてアポイントメントを取ること。 E-mail : 5656melissa@gmail.com
履修上の注意、履修要件	授業前日には、授業内容について該当ページの予習を行うこと。 授業終了後には、学習内容の確認を行うこと。 余暇を利用し、図書館等で関連文献等を確認し、学習内容の把握に努めること。 授業開始時にプリント資料を配布するので、毎回持参すること。

講義名	保健医療行政論Ⅱ		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（健康支援と社会保障制度）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	看：選／保：必		
配当年次	2年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 加藤 巳佐子	非常勤教員（大学外部）

担当教員	加藤巳佐子
科目の目標	地域住民の健康課題を解決するために公衆衛生学、公衆衛生看護学概論および保健医療行政論Ⅰの学びを活かし、保健事業の企画・立案に必要な情報の収集・分析、優先順位の検討などの方法、事業の実施評価、結果評価について修得する。保健事業の企画・立案のプロセスを学ぶことにより、保健師に求められる施策化能力、政策形成能力を養う。
学習の具体的な目標	1) 地域住民の健康課題を明らかにする方法を説明できる。 2) 保健師が根拠を持ち保健事業を企画・立案する意義を説明できる。 3) 保健事業の対象となる住民の参加を促進する方法を説明できる。 4) 地域住民の健康づくりを促進する住民主体の活動を説明できる。 5) 地域の社会資源の活用とその醸成について説明できる。 6) 企画立案した保健事業の結果・効果の評価について考察できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	行政機関で活動する保健師の役割		
	授業内容	1. 行政機関に所属する保健師の活動を説明できる。 2. 行政機関の保健師の活動から役割を理解し説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	保健師が地域を捉える視点		
	授業内容	1. 保健師が地域を基盤として活動する際の地域のとらえ方を説明できる。 2. 既存データからの情報収集の方法と必要性を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	4限

講義室	C301			
担当者	加藤			
テーマ	地域の健康課題の発見			
授業内容	1. 地域で生活する住民の健康課題がどのように発見されるか説明できる。 (グループによるディスカッション) (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年10月23日(木)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	地域の健康課題の整理		
	授業内容	1. 発見された健康課題をどのように整理するか説明できる。 (グループによるディスカッション) (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月23日(木)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	地域の社会資源		
	授業内容	1. 健康課題の解決に活用できる地域の社会資源とは何か説明できる。 2. ソーシャル・キャピタルの概念を説明できる。 3. ソーシャル・キャピタルが地域住民の健康に及ぼす影響を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月30日(木)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	健康生成論の視点		
	授業内容	1. 健康生成論の概要を説明できる。 2. 健康生成志向が地域住民の生活や生き方へどのように関連するか考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年10月30日(木)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	地域住民の健康づくり		
	授業内容	1. 地域住民の健康づくりおよび地域づくりの関連を説明できる。 2. 地域住民の健康づくりおよび地域づくりを促進する要因を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	住民主体の活動の意義		
	授業内容	1. 地域の活動への住民参加について説明できる。 2. 課題解決に向けた地域住民主体の活動の意義を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	保健事業の企画・立案1(地域のアセスメント)		
	授業内容	1. グループごとに提示されたテーマについての地域住民の状況をアセスメントできる。 (アクティブラーニング) (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年11月13日(木)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		

テーマ	保健事業の企画・立案2（地域の健康課題解決の目標設定）			
授業内容	1. グループごとに選択したテーマの地域の課題を解決するための目標設定ができる。 （アクティブラーニング） （予習時間30分、復習時間30分）			
11	年月日（曜日）	令和 7年11月13日（木）	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	保健事業の結果・効果の評価		
	授業内容	1. 保健事業の結果の評価を説明できる。 2. 保健事業の効果の評価を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日（曜日）	令和 7年11月20日（木）	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	保健事業の企画・立案3（実施方法・内容と期待される結果）		
	授業内容	1. グループごとにテーマの目標を達成するための保健事業の具体的な内容と期待される結果および効果を説明できる。 （アクティブラーニング） （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日（曜日）	令和 7年11月20日（木）	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	企画・立案した保健事業のプレゼンテーション1		
	授業内容	1. グループごとに企画・立案した保健事業の企画の意図、着眼点などの意見交換を行い相互に評価できる。 （アクティブラーニング） （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日（曜日）	令和 7年11月27日（木）	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	企画・立案した保健事業のプレゼンテーション2		
	授業内容	1. 企画・立案した保健事業について、企画の意図、着眼点などの意見交換を行い相互に評価し、理解を深めることができる。 （アクティブラーニング） （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日（曜日）	令和 7年11月27日（木）	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 行政機関で活動する保健師の施策化能力、政策形成能力について考察できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
評価方法	1. 授業内のグループワークへの参加状況（主体性・積極性）（40%） 2. プレゼンテーションの状況（10%） 3. 課題レポート（40%） 4. 遅刻・欠席等、授業への参加態度（10%）			
教科書	1. 標準保健師講座 別巻1 保健医療福祉行政論、藤内修二他著、医学書院（2年次前期に使用したもの） 2. 国民衛生の動向（2年次前期に使用したもの）、厚生労働統計協会			
参考書	1. これからの保健医療福祉行政論 第3版、星旦二、麻原きよみ編集、日本看護協会出版会 2. 公衆衛生が見える（1年次に使用したもの）、医療情報科学研究所編、メディックメディア 3. 健康格差対策の進め方 効果をもたらす5つの視点 近藤尚己 医学書院			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問、フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 面接希望者は各日の授業終了後に申し出ること。即時対応する。 授業日以外は、メールでアポイントメントを取ること。 加藤巳佐子：5656melissa@gmail.com			
履修上の注意、履修要件	授業前日には、授業内容について該当ページの予習を行うこと。 授業終了後には、学習内容の確認を行うこと。			

講義名	医療情報学		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（健康現象の疫学と統計）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	看：選択／保：必修		
配当年次	2年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 鈴木 康文	指定なし

担当教員	鈴木 康文
科目の目標	医療の情報化、医療情報システムの役割、コンピュータとネットワーク、データベースの概要を学ぶ。
学習の具体的な目標	1) 医療情報の必要性を説明できる。 2) 情報とシステムについて概要、定義、性質を説明できる。 3) コンピュータの仕組みとソフトウェアの機能と分類について説明できる。 4) コンピュータ・ネットワークおよびインターネットの概要を説明できる。 5) 医療の情報化の目的を説明できる。 6) 医療情報システムの特性と地域医療情報ネットワークシステムの概略について説明できる。 7) 医療情報の標準化と意思決定の支援について説明できる。 8) 医療情報システムのセキュリティおよび個人情報保護の概要が説明できる。 9) データベースの概要を説明できる。 10) レコードリンケージの概要を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月10日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	鈴木		
	テーマ	医療情報学の概要		
	授業内容	1. 医療・医学に医療情報学が必要になった背景・要因を説明できる。 2. 情報化がもたらす事柄の概要を説明でき、具体例を示すことができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	鈴木		
	テーマ	医療情報システムの概要		
	授業内容	1. 保健医療分野の情報化の目的を説明できる。 2. 代表的な医療情報システムを列挙し、その概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月24日(金)	時限	1限

	講義室	C401		
	担当者	鈴木		
	テーマ	情報の概念と性質		
	授業内容	1. 情報の定義や特性を説明できる。 2. 情報と意思決定の関係を説明できる。 3. 情報処理の過程を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	鈴木		
	テーマ	情報セキュリティ		
	授業内容	1. 情報セキュリティの概念を説明できる。 2. 物の保護と情報の保護の違いを説明できる。 3. 情報の保護と使いやすさの関係を説明できる。 4. 個人認証について説明できる。 5. 暗号化について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月07日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	鈴木		
	テーマ	コンピュータの概要		
	授業内容	1. コンピュータの歴史や種類について説明できる。 2. ハードウェアの構成を説明でき、その構成要素を列挙できる。 3. ソフトウェアの種類とその役割を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	鈴木		
	テーマ	コンピュータの仕組み1		
	授業内容	1. デジタルの概念を説明できる。 2. 簡単な2進数の計算ができる。 3. 文字、音、画像、動画などを2進数で表現する方法を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	鈴木		
	テーマ	コンピュータの仕組み2		
	授業内容	1. 論理演算の概要を説明できる。 2. 簡単な論理演算式を作成することができる。 3. コンピュータが論理演算回路で構成されていることを説明できる。 4. 簡単なフローチャートを作成できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月21日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	鈴木		
	テーマ	コンピュータ・ネットワーク		
	授業内容	1. コンピュータ・ネットワークの概念を説明できる。 2. LANとWANの違いを説明できる。 3. 通信回線とプロトコルについて具体例をあげて説明できる。 4. クライアントコンピュータとサーバコンピュータの役割を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	鈴木		
	テーマ	インターネット		
	授業内容			

1. インターネットの概念を説明できる。
 2. ドメイン名やDNSについて説明できる。
 3. 電子メールの仕組みを説明できる。
 4. wwwの仕組みを説明できる。
 5. コンピュータ・ネットワークのセキュリティについて説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

10	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	鈴木		
	テーマ	データベースと文献情報		
	授業内容	1. データベースの概要を説明できる。 2. 代表的な文献データベースを列挙できる。 3. 簡単な文献検索ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	鈴木		
	テーマ	レコードリンケージ		
	授業内容	1. データベースのフィールドとレコードを説明できる。 2. レコードリンケージの方法を説明できる。 3. レコードリンケージの有用性を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	鈴木		
	テーマ	医療情報システム 1		
	授業内容	1. 医療の情報化に期待される事柄を具体的に示すことができる。 2. 医療の情報化に必要な要件を説明できる。 3. 医療の情報化を支える医療情報システムの具体例を示すことができる。 4. オーダリングシステムの概要と役割を説明できる。 5. オーダリングシステムの長所と短所を説明できる。 6. オーダリングシステムの医療安全への寄与を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	鈴木		
	テーマ	医療情報システム 2		
	授業内容	1. 電子カルテシステムの概要と役割を説明できる。 2. 電子カルテシステムの長所と短所を説明できる。 3. 電子カルテシステムによってもたらされる患者さんの利点を説明できる。 4. 電子カルテシステムによってもたらされる医療機関の利点を説明できる。 5. 電子カルテシステムの地域医療への寄与を説明できる。 6. 電子カルテシステムの改善点と将来像を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月16日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	鈴木		
	テーマ	POSとPOMR		
	授業内容	1. POSの概念を説明できる。 2. POMRの概要を説明できる。 3. SOAPの概要と必要性を説明できる。 4. 簡単な症例をSOAPで記述できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月23日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	鈴木		
	テーマ	患者個人情報保護		
	授業内容			

1. 個人情報保護法の概要を説明できる。
 2. OECDの8原則の概念を説明できる。
 3. 患者個人情報の定義と保護の指針を説明できる。
 4. 看護師として患者個人情報を保護するために必要な事柄を説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

評価方法	1. 定期試験（記述式）の成績、レポートで評価する。 2. 不合格者については、定期試験終了後に再試験を行う。
教科書	新訂版 看護・医療系のための情報科学入門 第2版、椎橋実智男・鈴木康文、サイオ出版
参考書	1. 新版 医療情報 第2版 情報処理技術編、一般社団法人日本医療情報学会医療情報技師育成部会、篠原出版新社 2. 新版 医療情報 第2版 医療情報システム編、一般社団法人日本医療情報学会医療情報技師育成部会、篠原出版新社
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業後に教室にて相談を受け付ける。 随時、メールにて質問を受け付ける。 Email : suzuyasu@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業当日までに教科書の該当箇所を予習しておくこと。 当日の講義内容をノートにまとめ、理解が十分でない部分については参考図書やインターネットなどで調査を行い、クラスメイトと議論すること。さらに理解が不十分である点については、次回以降の講義の際に質問すること。

講義名	疫学		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（健康現象の疫学と統計）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	看：選択／保：必修		
配当年次	2年前期		

担当教員

職種	氏名	所属
医師	◎ 高橋 美保子	医学部教員

担当教員	高橋美保子
科目の目標	地域集団の健康の保持増進を目指す活動（公衆衛生看護）を行っていくための方法論、「疫学」について、基本的な概念と方法を理解する。保健統計情報を正しく理解し、活用して地域集団の健康状態を明らかにし、様々な保健福祉計画の立案や病気の原因を明らかにするための疫学研究を計画できるような知識、技術を習得する。
学習の具体的な目標	1) 疫学の基本用語を理解し説明できる。 2) 疾病頻度とリスク、及び曝露効果の指標について説明できる。 3) 誤差が研究結果に及ぼす影響について説明できる。 4) 疫学研究のデザインを説明できる。 5) 集団検診の原理と方法を説明できる。 6) エビデンスの質のレベルについて説明できる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年04月10日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	高橋		
	テーマ	疫学とは		
	授業内容	1. 疫学の定義を説明できる。 2. 疫学の目的、対象を説明できる。 3. 原因の考え方を説明できる。 4. 疫学の歴史的業績について説明できる。 5. 疫学における原因の判断（疫学的因果関係）について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	高橋		
	テーマ	疾病頻度の指標（1）		
	授業内容			

1. 割合、率、比を説明できる。
2. 疾病頻度の指標を列挙できる。
3. 各指標の定義、意味、計算方法、使い方を理解し、説明できる。
(予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	高橋		
	テーマ	疾病頻度の指標 (2)		
	授業内容	〃		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	高橋		
	テーマ	曝露効果の指標		
	授業内容	1. 曝露効果の指標 (相対危険、寄与危険) について説明できる。 2. 寄与危険度割合、人口寄与危険割合について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	高橋		
	テーマ	曝露効果の測定 (1) 分析疫学 1. コホート研究		
	授業内容	1. コホート研究を行う目的、方法、得られる指標について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	高橋		
	テーマ	曝露効果の測定 (2) 分析疫学 2. 症例対照研究		
	授業内容	1. 症例対照研究を行う目的、方法、得られる指標について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	高橋		
	テーマ	疫学演習 I		
	授業内容	1. 罹患(死亡)率、累積罹患(死亡)率、致命率、有病率を算出できる。 2. 率差、リスク差、率比、リスク比、及びオッズ比を算出できる。 3. コホート研究、症例対照研究における相対危険を算出できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	高橋		
	テーマ	疫学調査方法(研究デザイン)		
	授業内容	1. 観察研究(記述的研究、横断研究、生態学的研究、症例対照研究、コホート研究)について説明できる。 2. 介入研究について説明できる。 3. それぞれの研究デザインの利点、欠点について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	高橋		
	テーマ	曝露効果の測定における誤差、偏りとその制御		
	授業内容	1. 母集団と標本について説明できる。 2. 偶然誤差と精度、系統誤差と妥当性について説明できる。 3. 選択バイアス、情報バイアス、及び交絡について説明できる。 4. コホート研究、症例対照研究において交絡因子の影響を制御する方法を列挙できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

10	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	高橋		
	テーマ	率の標準化、年齢調整死亡率(直接法)		
	授業内容	1. 年齢調整死亡率(直接法)の求め方を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	高橋		
	テーマ	1 率の標準化、年齢調整死亡率(間接法) 2 根拠に基づく公衆衛生看護		
	授業内容	1. 標準化死亡比(SMR)の求め方を説明できる。 2. エビデンスの質のレベルについて説明できる。 3. 系統的レビューとメタアナリシスについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	高橋		
	テーマ	疫学演習Ⅱ		
	授業内容	1. 疫学研究の様々なデザインについて説明できる。 2. 交絡バイアスを取り除くための解析を行うことができる。 3. 疫学における原因の判断(疫学的因果関係)について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	高橋		
	テーマ	疾病の予防とスクリーニング(1)		
	授業内容	1. スクリーニング検査の目的、実施の原則について説明できる。 2. スクリーニング検査の妥当性と信頼性について説明できる。 3. 敏感度・特異度・陽性反応的中度・ROC曲線について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	高橋		
	テーマ	1. 疾病の予防とスクリーニング(2) 2. 疾病登録		
	授業内容	1. 集団健診におけるスクリーニングの意義について説明できる。 2. がん検診の精度管理について説明できる。 3. 疾病登録の意義について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	高橋		
	テーマ	1. 疫学演習Ⅲ 2. 生活習慣の疫学 3. 主な疾病の疫学		
	授業内容	1. スクリーニング検査の感度、特異度、陽性反応的中度の意味が分かり、計算できる。 2. がん検診の精度管理について説明できる。 3. 総合問題を解説できる。 4. 生活習慣に起因する健康課題の頻度と分布について説明できる。 5. 主な疾病の頻度と分布、危険因子、年次推移について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		出席点と疫学演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲのレポート、前期定期試験期間に行う筆記試験の点数を総合的に評価する。レポート提出に対しては、コメントを返す。 再試験は1回行う。		
教科書		はじめて学ぶやさしい疫学、日本疫学会、南江堂		

参考書	1. 保健統計・疫学、福富和夫、橋本修二著、南山堂 2. 楽しい疫学、中村好一、医学書院 3. 国民衛生の動向 2024/2025、厚生労働統計協会 4. 公衆衛生がみえる 2024/2025、医療情報科学研究所 編、メディックメディア
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 講義終了後、教室において、また随時メールにて質問を受け付ける。 E-mail : p_miho@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には、シラバスにそって教科書の該当ページを予習し、放課後には講義で扱った練習問題の解答をもう一度作成してみるなど、その都度、講義内容の理解に努めることを心掛けること。わからない部分を後まわしにすると、次の講義が理解できなくなる可能性が高いため、教員に質問して、解決しながら勉強を進めるとよい。 毎回、計算問題があるため、簡単な四則演算のできる電卓を持参すること。 分からないことは、曖昧なままにせず、必ず質問すること。

講義名	基礎看護技術Ⅳ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 山崎 美智子	看護学科教員

担当教員	山崎美智子・横山ひろみ・関根由紀子・塩見 直子・鳥海美穂子・加古 幸子・宍戸 裕子
科目の目標	食事や排泄が人間の健康にどのように関わるのか、身体的・心理的・社会的な意義について学習を深める。また、看護技術の中心となる食事と排泄の援助技術の原理・原則を学ぶ。援助技術を行うことを通して、講義、デモンストレーションおよびグループによる演習を組み合わせ、食事と排泄の基本的看護の方法を学ぶ。 常に看護の対象を意識して演習することができるように、対象と看護者の関係を考えつつ、それぞれの役割を体験する中で対象の立場に立つて行動することを学ぶ。
学習の具体的な目標	1) 看護における食事、排泄への援助の意義と看護師の役割を説明できる。 2) 生活行動援助技術である食事と排泄への援助に関する原理・原則を説明できる。 3) 安全、安楽、自立を考慮して、食事、排泄への援助方法について説明できる。 4) 健康に関わる生活行動のそれぞれが相互に関連していることを説明できる。 5) 対象の反応を確認しながら、安全、安楽、自立に配慮して援助を実施できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	看護における食事と排泄への援助の意味 食事の援助：栄養の意義、食行動を助ける方法、口腔ケア		
	授業内容	1. 看護における食事と排泄の援助について説明できる。 2. 食事と排泄の関連を説明できる。 3. 栄養と食生活の意義が説明できる。 4. 病院食について説明できる。 5. 食事の援助の基本について説明できる。 6. 食事における摂食・嚥下のメカニズムを説明できる。(グループワーク) 7. 対象者の条件・状態に応じた食事援助の方法の選択について説明できる。 8. 食事の援助の留意点を説明できる。 9. 口腔ケアの必要性を説明できる。 10. 口腔ケアの基本的方法の留意点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		

担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・穴戸			
テーマ	食事の援助：食事援助			
授業内容	1. 対象者の状態に応じた食事援助を実施できる。 2. 食事援助の留意点を考慮しながら実施できる。（グループワーク） 3. 食事援助を、安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 4. 患者を尊重した態度で援助できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
3	年月日（曜日）	令和 7年05月28日（水）	時限	5限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
4	年月日（曜日）	令和 7年06月05日（木）	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・穴戸		
	テーマ	食事の援助：非経口的栄養摂取「経鼻経管栄養法」		
	授業内容	1. 経管栄養法の目的を説明できる。 2. 経管栄養法の適応される対象者の特徴について説明できる。 3. 経鼻経管栄養法（胃管）の方法について説明できる。 4. 経鼻経管栄養法（胃管）挿入中の管理方法について説明できる。 5. 胃管からの経管栄養剤の注入方法について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日（曜日）	令和 7年06月05日（木）	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・穴戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
6	年月日（曜日）	令和 7年06月09日（月）	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	排泄の援助とその意義		
	授業内容	1. 排泄の意義を説明できる。 2. 排泄に関する基礎知識について説明できる。 3. 健康的な排泄習慣について説明できる。 4. 排泄行動を助ける方法とその選択について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日（曜日）	令和 7年06月11日（水）	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	排泄の援助：尿器・便器による床上排泄の援助		
	授業内容	1. 尿器・便器の種類と特徴について説明できる。 2. 尿器による床上排泄の方法、留意点を説明できる。 3. 便器による床上排泄の方法、留意点を説明できる。 4. 床上排泄を安全・安楽・自立に配慮して実施できる。（グループワーク） 5. 患者を尊重した態度で援助できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年06月11日（水）	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
9	年月日（曜日）	令和 7年06月12日（木）	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	加古・横山・関根・山崎・塩見・鳥海・穴戸		

テーマ	排泄の援助：陰部洗浄			
授業内容	1. 陰部洗浄の目的、方法、留意点を説明できる。 2. 陰部洗浄を安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 3. 患者を尊重した態度で援助できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	加古・横山・関根・山崎・塩見・鳥海・穴戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	加古・横山・関根・山崎・塩見・鳥海・穴戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	吸引：口腔・鼻腔吸引		
	授業内容	1. 口腔・鼻腔吸引の目的、方法、留意点を説明することができる。 2. 口腔・鼻腔吸引を安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 3. 患者を尊重した態度で援助できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
14	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	排泄の援助：浣腸		
	授業内容	1. 排泄の自立に向けての援助の必要性を説明できる。 2. 自然な排尿・排便を促す方法を説明できる。 3. 浣腸の目的、方法、実施時の留意点を説明できる。 4. 浣腸を安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 5. 患者を尊重した態度で援助できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		

評価方法	1. 定期試験期間に筆記試験を行う。 2. 筆記試験(90%)、演習課題、演習態度(10%)を総合的に評価する。 3. 基準に満たなかった場合は1回再試験を行う。
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ、任和子他著、医学書院、2024
参考書	講義資料に示す。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【山崎】 木曜日16：30～17：30 上記の時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 E-mail：miyama93@saitama-med.ac.jp

履修上の注意、履修要件	授業前日には演習資料の該当部分を予習し、教科書で演習内容の意味を理解しておくこと。また、演習後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らないこと。 1) 講義・演習が並行して進行するので、遅刻、早退、欠席をしないように注意する。 2) 授業時に、演習内容、グループ編成、進め方を記した演習計画を配布する。 3) 演習時、時間不足等で体験できなかった内容は、必ず自己学習で補足しておく。教員の指導を必要とする場合は申し出る。 4) 看護技術の習熟には、反復練習が必要であるため、積極的に自己学習を行う。 5) 演習中は、対象の安全と安楽に配慮し、危険を防ぎ、あわせて対象が不快感をもたないよう、言葉遣いや態度に十分注意する。 6) 演習課題が提示されている場合は、指定された期日を厳守する。演習課題の内容は評価対象とする。また、各課題のレポート提出に対し、コメントを返す。 7) グループ毎に演習前の準備や終了時の片付けあるいは、ベッド周囲の整頓は責任を持って行う。
-------------	---

講義名	基礎看護技術 V		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 横山 ひろみ	看護学科教員

担当教員	横山ひろみ・関根由紀子・山崎美智子・塩見 直子・鳥海美穂子・加古 幸子・宍戸 裕子
科目の目標	診断・治療に関わる看護技術の基本となる原理と実際を学ぶ。診断・治療の内容により対象者への身体的・精神的侵襲度が高くなることを知り、対象者の思いの変化を把握しつつ技術を用いる必要性を理解する。さらに、対象者に起こりうる効果・危険を予測することを含めて実施することの重要性を学ぶ。講義、デモンストレーションおよびグループによる演習を組み合わせて学習を深める。
学習の具体的な目標	1) 診療場面・検査における看護の意義と看護師の役割について説明できる。 2) 診断・治療の内容によって、対象者への身体的・精神的侵襲度が高まることについて説明できる。 3) 診断・治療を受ける患者の心理について説明できる。 4) 治療により対象者に起こりうる効果・危険度を予測した援助の必要性を説明できる。 5) 検査における看護師の役割と検体の取り扱い方について説明できる。 6) 感染予防のための無菌操作、ガウンテクニックを原則に基づき実施できる。 7) 薬物適用方法の種類とその特徴について説明できる。 8) 静脈血採血、皮下注射を、モデル人形を用いて安全、安楽に実施できる。 9) 包帯法における共通する実施上の原則を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月09日(水)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	診療場面・検査における看護の意義と看護師の役割、検体（尿、便、痰）の取り扱いと採取方法、包帯法の原則		
	授業内容	1. 診療場面・検査における看護の意義と看護師の役割について説明できる。 2. 診断・治療の内容により対象者への身体的・精神的侵襲度が高くなることを説明できる。 3. 診断・治療を受ける対象者の心理を説明できる。（グループワーク） 4. 検体（尿、便、喀痰）の取り扱いについて説明できる。 5. 検体の採取方法（尿・便・痰）について説明できる。 6. 包帯法の目的・種類・方法・留意点について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	加古・横山・関根・山崎・塩見・鳥海・宍戸		

テーマ	感染予防の意義と原則1：ガウンテクニック、感染予防のための防護用具			
授業内容	1. 感染予防の意義と原則について説明できる。 2. 感染予防のための基本的知識と技術について説明できる。 3. 滅菌と消毒の意義と方法について説明できる。 4. 院内感染の要因と対策について説明できる。 5. CDCの感染予防のためのガイドライン（特にスタンダードプリコーション）について説明できる。 6. CDCの感染予防のためのガイドラインに沿った衛生的手洗いの種類と方法について説明できる。 7. ガウンテクニックの方法について説明できる。 8. ガウンテクニックを原則に基づき実施できる。 9. 感染予防のための防護用具（手袋・ガウン・マスク・帽子）の装着とはずし方を実施できる。 10. 感染予防に対する看護師の倫理的態度を説明できる。 11. 感染源隔離、予防的隔離を必要とする患者の心理に配慮した行動ができる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
3	年月日（曜日）	令和 7年04月16日（水）	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	加古・横山・関根・山崎・塩見・鳥海・矢戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
4	年月日（曜日）	令和 7年04月23日（水）	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	感染予防の意義と原則2：無菌操作		
	授業内容	1. 無菌操作の原則を説明できる。 2. 滅菌物の取り扱いについて原則に基づき実施できる。 （鑑子の取り扱い方、滅菌包みの開き方、消毒綿球の作成、滅菌・消毒物品の渡し方） 3. 滅菌手袋の装着とはずし方について原則に基づき実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日（曜日）	令和 7年04月23日（水）	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
6	年月日（曜日）	令和 7年04月24日（木）	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	検体の採取方法：静脈血採血の留意点と方法 注射器・針の種類と取り扱い上の留意点		
	授業内容	1. 検体としての静脈血採血の目的や取り扱い上の注意事項を説明できる。 2. 静脈血採血を実施する上で必要な皮膚の構造と機能を解剖学的視点から説明できる。 3. 静脈血採血に用いる血管について説明できる。 4. 注射器、注射針の種類と取り扱い上の留意点について説明できる。 5. 静脈血採血の方法・留意点を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日（曜日）	令和 7年04月30日（水）	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	検体の採取方法（静脈血） 静脈血採血（モデル人形）		
	授業内容	1. 検体としての静脈血採血の目的や取り扱い上の注意事項について説明できる。 2. 静脈血採血を実施する上で必要な皮膚の構造と機能について、解剖学的視点から説明できる。 3. 静脈血採血に用いる血管について説明できる。 4. 注射器、注射針の種類と取り扱い上の留意点について説明できる。 5. 静脈血採血の方法・留意点を説明できる。 6. モデル人形を用いて静脈血採血を実施できる。 7. 静脈血採血を受ける患者へ安全・安楽に配慮して援助を実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年04月30日（水）	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・矢戸		

テーマ	〃			
授業内容	〃			
9	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	薬物療法における看護の意義と方法 薬物適用（内用薬適用、外用薬の適用、直腸内与薬） 薬物適用（注射薬適用「皮内・皮下・筋肉」）		
	授業内容	1. 薬物療法における看護の意義について説明できる。 2. 薬物の適用別種類と吸収・排泄の機序について説明できる。 3. 薬物の管理（劇薬・毒薬・麻薬）について説明できる。 4. 誤薬防止のための6Rについて説明できる。 5. 薬物適用の方法（内用服、口腔内与薬、吸入、坐薬、点眼、皮膚適用）について説明できる。 6. 注射法の種類（皮内、皮下、筋肉）と適応について説明できる。 7. 各注射法における注射部位と選定方法について解剖学視点から説明できる。 8. 各注射法の違いによる注射器、注射針の種類について説明できる。 9. バイアル瓶とアンプルについてその違いを説明できる。 10. 薬物使用量の計算式について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	注射薬の準備 皮下注射の実施		
	授業内容	1. 皮下注射の目的が説明できる。 2. 皮下注射の部位の選択と部位の選択方法が説明できる。 3. 皮下注射の方法・留意点について説明できる。 4. 誤薬防止のための6Rを実施できる。 5. 注射薬の準備が実施できる。（注射器への注射薬の吸い上げなど） 6. モデル人形を用いて皮下注射を実施できる。 7. 注射を受ける患者へ安全・安楽に配慮して援助を実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	看護技術の確認		
	授業内容	1. 既習の看護技術を「安全・安楽・自立」に配慮して実施することができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	5限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
15	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	2限
	講義室	C401		

担当者	横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古・穴戸
テーマ	導尿による検体の採取方法 診療の補助における看護の専門性
授業内容	1. 導尿の目的・種類・方法について説明できる。 2. 導尿を安全・安楽に実施するための留意点について説明できる。 3. 採取した尿の取り扱いについて説明できる。 4. 診療の補助における看護の専門性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)
評価方法	1. 前期定期試験期間に筆記試験を行う。 2. 定期試験(80%)、実技試験(10%)、演習課題、演習態度(10%)を総合的に評価する。 3. 基準に満たなかった場合は再試験を1回行う。
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ、茂野香おる他著、医学書院、2024. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ、任和子他著、医学書院、2024.
参考書	講義資料に示す
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【横山】月曜日16:30～17:30 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 E-mail: yoko_h@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には演習資料の該当部分を予習し、教科書で演習内容の意味を理解しておくこと。また、演習後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らないこと。 1) 講義・演習が並行して進行するので、遅刻、早退、欠席をしないように注意する。 2) 授業時に、演習内容、グループ編成、進め方を記した演習計画を配布する。 3) 演習時、時間不足で体験できなかった内容は、必ず自己学習で補足しておくこと。教員の指導を必要とする場合は申し出る。 4) 看護技術の習熟には、反復練習が必要である。積極的に自己学習を行う。 5) 演習中は、対象の安全と安楽に配慮し、危険を防ぎ、あわせて対象が不快感をもたないよう、言葉遣いや態度に十分注意する。 6) 演習記録・演習課題の提出が提示されている場合は、指定された期日を厳守する。演習記録・演習課題の内容は評価対象とする。また、各課題のレポートに対し、コメントを返す。 7) グループ毎に演習前の準備や終了時の片付けあるいは、ベッド周囲の整頓は責任を持って行う。

講義名	看護方法演習Ⅱ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員

職種	氏名	所属
看護師	◎ 関根 由紀子	看護学科教員

担当教員	関根由紀子・横山ひろみ・山崎美智子・塩見 直子・鳥海美穂子・加古 幸子・宍戸 裕子
科目の目標	看護の対象と看護者との人間関係形成プロセスを基本に、対象の健康状態を理解し、その人にとって必要なケアは何かを考え、適切な援助方法を学ぶ。 看護学概論Ⅰ、看護技術論、基礎看護技術Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、看護方法演習Ⅰの科目で学習した知識や看護技術を事例において統合する。
学習の具体的な目標	1) 対象の健康状態から、基本的ニーズに基づく生活行動がどのように変化しているのかを説明できる。 2) 対象にとって必要な援助とは何かを考え、具体的に看護援助を計画できる。 3) 対象に必要な生活援助を安全・安楽・自立を考慮しながら実施できる。 4) 行った看護援助が対象にとって、どのような意味があるのか説明できる。 5) 看護の実践において、対象と看護者との人間関係形成プロセスを基本に援助的関係を築くことが、看護する上で大切であることを説明できる。 6) 看護者としての基本的姿勢（受容・共感・傾聴）の必要性について説明できる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	授業ガイダンスおよび事例の理解 対象の基本的ニーズについての把握(1)		
	授業内容	1. 看護方法演習Ⅱの科目の目標および学習方法を説明できる。 2. 事例を通して、対象の入院前と入院後の生活行動の違いを説明できる。(グループワーク) 3. 看護における環境整備の必要性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
3	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	3限

	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	対象の基本的ニーズについての把握（2）		
	授業内容	1. 人間の基本的ニーズについて説明できる。 2. 事例を通して、対象の基本的ニーズに基づく生活行動が、入院することにより、どのように変化しているかを説明できる。（グループワーク） 3. 事例を通して、対象を全人的にとらえること、生活者の視点でとらえることの意味について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日（曜日）	令和 7年07月02日（水）	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
5	年月日（曜日）	令和 7年07月03日（木）	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	対象にとっての援助の必要性和援助計画の立案（1）		
	授業内容	1. 事例をとおして、対象の個性に合せて、安全・安楽・自立をふまえた看護援助を計画することの大切さを説明できる。 2. 事例を通して、援助の必要性和もとに、対象の個性に合せて、安全・安楽・自立をふまえた具体的な援助計画を立案できる。（グループワーク） （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日（曜日）	令和 7年07月03日（木）	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
7	年月日（曜日）	令和 7年07月09日（水）	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	対象にとっての援助の必要性和援助計画の立案（2）		
	授業内容	1. 事例を通して、対象の個性に合せて、安全・安楽・自立をふまえた看護援助を計画することの大切さを説明できる。 2. 事例をとおして、援助の必要性和もとに、対象の個性に合せて、安全・安楽・自立をふまえた看護援助を計画できる。 （グループワーク） （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年07月09日（水）	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
9	年月日（曜日）	令和 7年07月10日（木）	時限	2限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	対象に必要な看護援助の実施		
	授業内容			

1. 事例をととして、行った看護援助が対象にとって、どのような意味があるのかを考えることが、よりよい看護を行っていく上で必要なプロセスであることを説明できる。
 2. 事例を通して、行った看護援助が対象にとって、どのような意味があるのかを考えることが、よりよい看護を行っていく上で必要なプロセスであることを説明できる。
 3. 事例をととして、対象の個別性に合わせて計画した看護援助を、安全・安楽・自立を考慮し、対象の表情や反応を観察しながら実施できる。(グループワーク)
 4. 事例をととして、行った看護援助を振り返り、対象の個別性に合わせて修正した看護援助を、安全・安楽・自立を考慮し、対象の表情や反応を観察しながら実施できる。(グループワーク)
- (予習時間30分、復習時間30分)

10	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	人間関係プロセスを基本に援助的関係を築くための援助		
	授業内容	1. ロールプレイング、プロセスレコードについて、それらを行うことの意義について説明できる。 2. プロセスレコードをととして、自分自身の傾向を述べるができる。 3. 対象と看護者との人間関係プロセスにおいて、対象の身になってかわかることの大切さがわかり、看護者のその姿勢が、看護する上で基本になることを説明できる。 (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	対象との人間関係プロセスを基本とした、その人にとって必要なケアと適切な援助方法の導き方		
	授業内容	1. グループワークをととして、行った看護援助が、対象にとってどのような意味があるのか、その思考過程を説明できる。 2. 対象にとって必要なケアは何かを考え、適切な援助を行うことが、看護において大切であることを説明できる。 3. 看護の実践において、対象と看護者との人間関係プロセスが基本になることが説明できる。 4. 対象と看護者との人間関係プロセスを基本に、援助的関係を築いていくことの大切さを説明できる。 5. 上記2. 3. 4の基盤になるものは、患者にとってより良い看護を行おうとする姿勢すなわち、倫理的態度であることを説明できる。(グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	"		
	授業内容	"		

評価方法

レポート(90%)、演習課題、演習態度(10%)を総合的に判断して評価する。
 評価が合格点を満たさなかった場合は、追加課題を提示し再評価する。なお、再評価は1回のみとする。

教科書	看護学概論Ⅰ、基礎看護技術Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴで使用した教科書
参考書	講義資料に示す。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【関根】 月曜日16:30～17:30 上記の時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 E-mail: sekiney@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には演習資料の該当部分を予習し、教科書で演習内容の意味を理解しておくこと。また、演習後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らない。 1) 講義・演習の内容が関連して進行するので、遅刻、早退、欠席をしないように注意する。 2) 演習時、時間不足で体験できなかった内容は、必ず自己学習で補足しておく。 3) 演習中は、患者役（学生）の安全と安楽に配慮し、あわせて対象に不快感を与えないよう、言葉使いや態度に十分注意する。 4) 演習記録・課題レポートの提出が提示されている場合は、指定された期日を厳守する。演習記録・課題レポートの内容は評価対象とする。また、各課題のレポート提出に対し、コメントを返す。

講義名	成人看護学概論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 粟生田 友子	看護学科教員

担当教員	粟生田友子
科目の目標	現代社会に生きる成人の特徴と成人期特有の健康問題を理解し、成人期の人への効果的な看護アプローチに関し、理論（セルフケア、危機、病みの軌跡、ケアリング等）を援用し、成人の健康生活に対応した看護について考察する。
学習の具体的な目標	1. 人の一生における成人期の位置と成長発達から見た成人期の特徴について理解する。 2. 成人を取り巻く社会環境と成人の「生活」について理解する。 3. 成人各期における特徴的な健康問題について理解する。 4. 成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策について理解する。 5. 健康障害を持つ成人に関わる際の基本的な視点を理解し、成人看護学で用いる代表的な対象理解の方法を理解する。：セルフケア、危機、病みの軌跡 病氣行動等 6. 成人の病期や健康状態に応じた支援方法を理解する。：疾病の予防とヘルスプロモーション、病期（急性期～終末期）、健康行動理論、自己効力、成人学習理論等 7. 成人期にある人々の療養の場を理解し、充実した療養生活を送るための医療機関と在宅や施設をつなぐ支援について検討する。 8. これらをもとに、成人期の発達課題、健康問題の特徴を踏まえた看護を提供する意義を考察することができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	コースガイダンス ライフサイクルからみた「成人期」とは		
	授業内容	成人看護学の学習目的および成人看護学概論の学習方法を説明できる。 1. ライフサイクルから見た成人期の位置づけと成人期の区分、成人各期の発達課題について説明できる。 2. 成長・発達過程から見た成人の各期の特徴を述べられる。 3. 成人各期の健康状態について、身体的、精神的、社会的側面から説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	1限
	講義室	C401		

担当者	粟生田			
テーマ	成人を取り巻く社会環境：労働と成人の「生活」			
授業内容	1. 社会の中で生活を営むということの意味を説明できる。 2. 成人における働くことの意味を、個人と社会の側面から説明できる。 3. 社会の中で働く形に影響する社会の経済の変遷と、労働者の雇用と労働力について現況を説明できる。 4. 成人期の人々と、そこにかかわりあう家族の機能について説明できる。 5. 職業生活が健康に及ぼす影響について説明できる。 【レポート課題】以降の講義の事前学習として、健康動向に関する配布資料を各自で分析し、動向を簡潔に述べる。提出5月9日。 （予習時間10分、復習時間50分）			
3	年月日（曜日）	令和 7年04月25日（金）	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	成人の多様なライフスタイルと健康：生活習慣と健康		
	授業内容	1. 生活習慣が健康に及ぼす影響について説明できる。 2. 生活習慣から生じる健康障害について説明できる。 3. 個人のライフスタイルを家族、地域社会とのつながりの中で概観し、より健康的な生活に改善するための動機となるものを探索することができる。 【レポート課題】自分自身のライフスタイルを省察し、何が不健康な状態かを列挙し改善点を探る。提出5月2日。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日（曜日）	令和 7年05月02日（金）	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	日本の健康動向と健康障害		
	授業内容	1. 日本における健康動向（人口、平均寿命、死亡率、受療率等）を表す指標を分析し、日本人の健康上の課題を説明できる。 2. 諸外国の動向を比較し、日本人の健康動向の特徴を説明できる。 3. 成人期にある人々の健康上の課題とその主要因が説明できる。 4. 成人期の人々の健康障害が生活や人生にもたらす影響が説明できる。 （予習時間20分、復習時間40分）		
5	年月日（曜日）	令和 7年05月09日（金）	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	成人を対象とした保健・医療・福祉政策		
	授業内容	1. 成人を対象とした保健・医療・福祉政策について説明できる。 （生活習慣病対策・健康づくり対策・疾患対策・労働者の健康対策、性感染症対策、ドメスティック・バイオレンス対策、自殺対策、障害者を支える支援・制度） （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日（曜日）	令和 7年05月16日（金）	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	成人の病いの体験：悲嘆、喪失、折り合い、受容		
	授業内容	1. 病いを持つ当事者の体験について説明できる。 2. 病いの体験における悲嘆、喪失、折り合い、受容等について説明できる。 3. 病いの経過に沿って、病いが成人期の人にもたらす意味を検討することができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日（曜日）	令和 7年05月23日（金）	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	病いのある成人期の人の対象理解：「危機と適応」「病みの軌跡と移行」		
	授業内容			

1. 健康の危機状況におかれた人の状態について広く理解する。
 2. 危機状況に置かれた人の健康状態への適応について説明できる。
 3. 様々な成人期の健康破綻と回復あるいは死へのプロセスについて、発症・治癒・緩解・悪化・治癒等の用語を用いて説明できる。
 4. 病みの軌跡理論を理解し、多様な病いによる軌跡の特徴について説明できる。
 5. 疾患の病期としての急性期・回復期・生活期・終末期の区分と移行、およびその特徴を述べることができる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

8	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	病いの急性状態における患者・家族への看護：急性期		
	授業内容	1. 急性期および急性発症・急性増悪とはどのような状態かを説明できる。 2. 急激な健康破綻をきたす原因を述べられる。 3. 急激な健康破綻をきたした人の心身の状態について説明できる。 4. 健康破綻をきたしたことによる生活や家族への影響を説明できる。 5. 事例を通して、急性期にある人の状態を理解し、援助の視点が説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	病いの慢性状態にある患者・家族への看護：回復期・生活期・リハビリテーション		
	授業内容	1. 回復期・生活期およびリハビリテーションが必要な成人期の人々の心身の状態について述べられる。 2. 漸進性に進行する疾患の特徴について説明できる。 3. 病いの回復期・生活期にある人と家族の生活の再構築への支援が述べられる(リカバリー、エンパワメント等)。 4. 事例を通して、慢性期のさまざまな特徴から、回復期・生活期、リハビリテーション期の支援が、急性期と終末期との間でどのように継続するかを述べられる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	がん治療を必要とする人の看護 終末期にある患者・家族への看護		
	授業内容	1. 今日のがん治療の特徴やがんに罹患する人の動向を説明することができる。 2. がんの発症した成人期の人とその家族における療養生活について説明することができる。 3. 成人期に死を迎える人の動向を述べることができる。 4. 成人期において死を迎えることの意味、人生の課題、取り巻く家族への影響について考察することができる。 5. 事例を通して、成人期に死を迎える人や家族への支援について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	成人期の人へのヘルスプロモーションの支援		
	授業内容	1. ヘルスプロモーションの定義と歴史と現況について説明できる。 2. 成人期にある人の健康行動の特徴とその影響要因について説明できる。 3. 健康行動理論を活用し、成人の健康維持、増進を方法について議論し、理論活用を試行することができる。 【レポート課題】 自分自身の健康を改善するための支援計画を立案し、2週間実施してみてどのような変化が生じるかを記録し、評価する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	成人期にある人の療養の場と退院支援		
	授業内容			

1. 地域における包括的なケアシステムについて説明することができる 2. 成人期の人の療養の場をめぐる意思決定のための支援についてどのような課題を解決していく必要があるかを列挙することができる。 3. 患者、家族の意思決定を支える支援について述べるすることができる。 4. 意思決定支援における倫理的な課題について説明できる。 5. 成人期にある人の患者、家族の意向を活かす入退院支援と、支援に必要な資源の活用について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
13	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	健康行動への行動変容：成人に対する健康学習支援		
	授業内容	1. 自己効力および効力予測と結果予測がもたらす情動と行動について述べられる。 2. アンドラゴジーとは何かを説明し、学習者の特性を生かした学習支援について述べられる。 3. エンパワメントとは何かを説明し、エンパワメントアプローチの方略を検討することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	成人期の人へのセルフケア、セルフマネジメント支援①		
	授業内容	1. 慢性疾患のある人が健康的な生活を送るために必要なセルフケア・セルフマネジメント支援について説明できる。 2. 事例を通して、これまで学習した理論を援用し、健康上の課題の捉え方、アセスメントの方法について検討できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	成人期の人へのセルフケア、セルフマネジメント支援②		
	授業内容	1. 慢性疾患のある人が健康的な生活を送るために必要なセルフケア・セルフマネジメント支援について説明できる。 2. 事例を通して、これまで学習した理論を援用し、具体的な看護方法を述べられる。 3. グループで討議した内容を共有し、成人の人への健康上の課題を探索し、セルフマネジメントの必要性和看護方法が説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 定期試験70%、レポート課題30%、授業への出席等を総合して評価します。 2. 定期試験終了後の再試験は1回のみ行います。			
教科書	1. 新体系看護学全書 成人看護学①成人看護学概論／成人保健、黒江ゆり子編、メディカルフレンド社 2. ナーシング・グラフィカ 成人看護学①成人看護学概論、安酸史子ら著、メディカ出版 3. その他、授業ごとに、内容に沿った授業資料を配布する			
参考書	1. 看護学テキストNICE 成人看護学 成人看護学概論 改訂第4版、林直子ら編集、南江堂 2. ナーシング・グラフィカ 成人看護学②健康危機状況/セルフケアの再獲得、吉田澄恵ら編著、メディカ出版 3. ナーシング・グラフィカ 成人看護学③セルフマネジメント、安酸史子ら編著、メディカ出版 4. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1] 成人看護学総論、小松浩子ら著、医学書院			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用してください。 【粟生田】原則として、C621研究室で12:10～13:00、および16:30以降で受け付けます。 その他、事前にアポイントを取った場合は随時受け付けます。 連絡先メールアドレス：aohda@saitama-med.ac.jp へ、できれば事前にお知らせください。			
履修上の注意、履修要件	・該当部分を予習し、教科書で内容の意味を理解しておいてください。 ・授業後には教科書や参考文献などでの復習をしてください。 ・個人ワークとして課題が指定されています。ワークがある場合は授業の前か後に提示します。提出期限を守って各自が学習しまとめてください。レポートについてはフィードバックします。			

講義名	成人看護学方法論Ⅰ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 本谷 久美子	看護学科教員

担当教員	本谷久美子・村田 美穂
科目の目標	慢性的な健康状態の揺らぎ(慢性疾患)のある人を対象にした、セルフマネジメント支援に必要な看護の基礎的知識・技術を修得する。
学習の具体的な目標	慢性期看護に有用な理論・概念を用いて、慢性病をもつ人を全人的に理解し、その人が病いと共に生きその人らしく療養生活を送るための看護について学ぶ。特に、セルフマネジメントの支援に焦点をあてて学習する。 1) 慢性期にある人の病いと生活の特性について理解する。 2) 慢性病をもつ人のセルフマネジメントを支援する方法について理解する。 3) 慢性病をもつ人のセルフマネジメント支援に必要な技術を修得する。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	本谷		
	テーマ	総論 (1) 慢性期の対象理解		
	授業内容	1. 慢性期、慢性病の経過の特徴について説明できる。 (疾患と病い、生活者、病みの軌跡) 2. 慢性期にある人の身体的、心理的、社会的な特徴が説明できる。 3. 慢性期にある人の家族の特徴について説明できる。 4. 慢性病が生活に及ぼす影響について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	本谷		
	テーマ	総論 (2) 慢性期看護の理解		
	授業内容			

1. 慢性期にある人のセルフマネジメントについて説明できる。 (セルフマネジメントモデル、セルフモニタリング) 2. 慢性病をもつ人のセルフマネジメントを判断する方法が説明できる。 (病気との位置関係、健康信念モデル) 3. 慢性期看護で用いられる諸理論を概説できる。 (成人教育学、エンパワーメント、自己効力感、トランスセオレティカルモデル) 4. 慢性病をもつ人の社会資源の活用について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
3	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	本谷		
	テーマ	経過の緩やかな慢性病の看護 (1) 糖尿病①		
	授業内容	1. 糖尿病をもつ人の生活の特性が説明できる。 2. 糖尿病をもつ人の看護アセスメントの視点が説明できる。 3. 糖尿病をもつ人のセルフマネジメントを支援する方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	2限
	講義室	C301・C305		
	担当者	本谷		
	テーマ	経過の緩やかな慢性病の看護 (1) 糖尿病②		
	授業内容	1. 糖尿病をもつ人の生活の特性が説明できる。 2. 糖尿病をもつ人の看護アセスメントの視点が説明できる。 3. 糖尿病をもつ人のセルフマネジメントを支援する方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	2限
	講義室	C301・C305		
	担当者	本谷・村田		
	テーマ	経過の緩やかな慢性病の看護 (1) 糖尿病③【グループワーク】		
	授業内容	1. 糖尿病をもつ人の事例をもとに、諸理論を活用し、その人に必要な教育指導の内容と方法についてグループで検討できる。 2. グループで教育指導案が作成できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月12日(水)	時限	2限
	講義室	C301・C305		
	担当者	本谷・村田		
	テーマ	経過の緩やかな慢性病の看護 (1) 糖尿病④【グループワーク、発表】		
	授業内容	1. グループで検討した教育指導の内容と方法に基づき、教育指導案が作成できる。 2. 発表を通して、作成した教育指導案を評価、修正できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	本谷		
	テーマ	増悪と緩和を繰り返す慢性病の看護 (1) 慢性閉塞性肺疾患		
	授業内容	1. 慢性閉塞性肺疾患をもつ人の生活の特性が説明できる。 2. 慢性閉塞性肺疾患をもつ人の看護アセスメントの視点が説明できる。 3. 慢性閉塞性肺疾患をもつ人のセルフマネジメントを支援する方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	本谷		
	テーマ	増悪と緩和を繰り返す慢性病の看護 (2) 慢性心不全		
	授業内容	1. 慢性心不全をもつ人の生活の特性が説明できる。 2. 慢性心不全をもつ人の看護アセスメントの視点が説明できる。 3. 慢性心不全をもつ人のセルフマネジメントを支援する方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月03日(水)	時限	2限

講義室	C301・C305			
担当者	本谷・村田			
テーマ	慢性期にある対象のアセスメント①			
授業内容	1. 慢性心不全とともに生きる人の事例をグループで検討し、対象を理解するために必要な情報が収集できる。 2. 収集した情報を3側面に分類整理し、それぞれ分析できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	本谷		
	テーマ	進行性の慢性病の看護(1)慢性腎臓病		
	授業内容	1. 慢性腎臓病をもつ人の生活の特性が説明できる。 2. 末期腎不全で透析療法をうける人の看護アセスメントの視点が説明できる。 3. 末期腎不全で透析療法をうける人のセルフマネジメントを支援する方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	本谷		
	テーマ	進行性の慢性病の看護(2)肝硬変		
	授業内容	1. 肝硬変をもつ人の生活の特性が説明できる。 2. 肝硬変をもつ人の看護アセスメントの視点が説明できる。 3. 肝硬変をもつ人のセルフマネジメントを支援する方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	2限
	講義室	C301・C305		
	担当者	本谷		
	テーマ	進行性の慢性病の看護(3)筋萎縮性側索硬化症		
	授業内容	1. 筋萎縮性側索硬化症をもつ人の生活の特性が説明できる。 2. 筋萎縮性側索硬化症をもつ人の看護アセスメントの視点が説明できる。 3. 筋萎縮性側索硬化症をもつ人のセルフマネジメントを支援する方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	2限
	講義室	C301・C305		
	担当者	本谷・村田		
	テーマ	慢性期にある対象のアセスメント②		
	授業内容	1. 慢性心不全とともに生きる人の事例をグループで検討し、3側面に分類整理した情報に基づき、分析できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	本谷・村田		
	テーマ	慢性期にある対象のアセスメント③		
	授業内容	1. 慢性心不全とともに生きる人の事例をグループで検討し、3側面に分類整理した情報に基づき、分析できる。 2. 発表を通して、情報の分類整理、分析が修正できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月21日(水)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	本谷		
	テーマ	慢性病の下降期にある人の看護		
	授業内容	1. 慢性病の下降期にある人の特徴について説明できる。 2. 慢性病の下降期にある人の苦痛緩和について説明できる。 3. 慢性病の下降期にある人のセルフマネジメントの支援について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 定期試験70%、課題レポート30%で総合的に評価します。 2. 試験終了後の再試験は1回のみ行います。 3. 遅刻限度を30分とし、それ以降は欠席扱いとします。 4. 提出課題については評価後、フィードバックを行います。
教科書	1. 経過別成人看護学③慢性期看護：黒江ゆり子編，メヂカルフレンド社，2023. 2. ナーシング・グラフィカ成人看護学③セルフマネジメント：安酸史子編，メディカ出版，2022.
参考書	・系統看護学講座 成人看護学(2)～(8)，医学書院.
連絡先/オフィスアワー	オフィスアワー：随時対応しますが、事前にアポイントをとることをお勧めします。 メールアドレス：【本谷】kmotoya@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	・授業の該当部分は、教科書で予習し、内容を理解しておくこと。 ・人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ、疾病の成り立ちⅠ～Ⅲの既習内容を復習しておくこと。 ・授業後は、配布資料を再確認しておくこと。

講義名	老年看護学概論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 丸井 明美	看護学科教員

担当教員	丸井 明美・鳥谷めぐみ・高橋裕里子
科目の目標	高齢期を生きる人々の置かれている状況を踏まえ「老いを生きる」ことを理解し、よりよい日常生活を送ることができるよう加齢や健康問題に伴う生活の変化、個別的な援助、家族を含めた援助の必要性を学ぶ。高齢期の健康問題に関わる保健医療福祉政策の概要と看護の役割について学ぶ。
学習の具体的な目標	1) 老年看護学の定義・理念について説明できる。 2) ライフサイクルにおける高齢期の特徴と発達課題について説明できる。 3) 人口の高齢化と高齢者の現状について説明できる。 4) 高齢者と家族の状況・高齢者の暮らし・地域とのつながりについて説明できる。 5) 高齢者をとりまく社会制度について説明できる。 6) 高齢期に多い健康問題と看護・予防について説明できる。 7) 高齢者の援助に活用できる理論と方法の概要について説明できる。 8) 高齢者の療養する場所の特徴と看護について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	ガイダンス 老年看護学を理解するための基礎①		
	授業内容	1. 老年看護の定義と変遷について説明できる。 2. 老年看護の理念と目標について説明できる。 3. 「老い」の意味と特徴について、老年看護学実習Ⅰの体験を踏まえて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	老年看護学を理解するための基礎②		
	授業内容	「老い」の意味と特徴についてグループで話し合い、他者と共有できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	老年看護学を理解するための基礎③		
	授業内容	人口学的指標、高齢者の生活や健康に関わる様々な統計データから、高齢社会の現状と課題について考えることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	老年看護学を理解するための基礎④高齢者を取り巻く社会		
	授業内容	1. 高齢者のヘルスプロモーションについて説明できる。 2. 高齢者を取り巻く社会資源について説明できる。 3. 地域包括ケアについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者の発達課題		
	授業内容	ライフサイクルと高齢者の発達課題について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月12日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者の看護に活用できる理論		
	授業内容	変化に適応しながらしなやかに老いていく、高齢者の心理と老いの生き方を理論を用いながら説明できる。 ・サクセスフル・エイジング ・プロダクティブ・エイジング ・オプティマル・エイジング ・選択最適化補償理論(SOC 理論) (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	鳥谷・丸井・高橋		
	テーマ	加齢に伴う変化①		
	授業内容	1. 加齢と老化について説明できる。 2. 加齢に伴う心身の変化について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	鳥谷・丸井・高橋		
	テーマ	加齢に伴う変化②		
	授業内容	1. 加齢と老化について説明できる。 2. 加齢に伴う心身の変化について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月03日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者に多い健康問題と看護①: 感染症		
	授業内容	高齢者に多い感染症について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	1限
	講義室	C301		

担当者	丸井・鳥谷・高橋			
テーマ	高齢者に多い健康問題と看護②；うつ・閉じこもり			
授業内容	1. 高齢者のうつ・閉じこもりの要因について説明できる。 2. 高齢者のうつ・閉じこもりのへの予防と看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者に多い健康問題と看護③；脱水		
	授業内容	1. 高齢者の脱水の特徴について説明できる。 2. 高齢者に多い熱中症や脱水に対する予防と看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者の薬物療法		
	授業内容	1. 加齢による薬物動態の変化について説明できる。 2. 高齢者の薬物管理について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	認知症のある高齢者の理解①		
	授業内容	1. 認知症の種類と特徴について説明できる。 2. 認知症の行動・心理症状について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	認知症のある高齢者の理解②		
	授業内容	1. 認知症のある高齢者とその家族に対する支援について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月21日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. これまでの学修を老年看護学学修セルフチェックリストを活用し、見直すことができる。 2. これまでの学修を見直し、老年看護の対象者である高齢者への理解と、老年看護学の概観を説明できる。 3. これまでの学修を自己学修ノートなどで整理し、まとめることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 定期試験(60%)。 2. 授業内の小テスト・レポート(30%)。 3. 授業への参加度(10%)。 4. 不合格者は定期試験終了後に1回再試験を行う。			
教科書	1. 老年看護学①高齢者の健康と障害、メディカ出版 2. 老年看護学②高齢者看護の実践、メディカ出版			
参考書	1. 生活機能からみた老年看護過程、医学書院 2. 高齢者ケアの質を高めるICFを生かしたケアプロセス、学文社			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問は授業時間内にして下さい。 オフィスアワー；水曜日12:10～13:00 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にメール等でアポイントメントを取って下さい。 mail；marui@saitama-med.ac.jp toriya@saitama-med.ac.jp			

履修上の注意、履修要件

事前学習として教科書の該当ページを予習し、授業後は学習内容の見直しを行って下さい。
老年看護学学修セルフチェックリストをチェックし、自己学修を計画的に進めて下さい。

講義名	小児看護学概論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 土師 しのぶ	看護学科教員

担当教員	土師しのぶ
科目の目標	子どもと家族の成長発達の特徴、取り巻く社会環境を理解し、子どもと家族への看護を検討する基礎的な能力を養う。
学習の具体的な目標	1. 小児看護の特徴と理念について述べることができる。 2. 子どもと家族を取り巻く社会背景を理解し、その特徴を述べることができる。 3. 子どもの各期（新生児から思春期）の成長発達を理解し特徴を述べることができる。 4. 小児医療の現状と課題を理解し、考察することができる。 5. 病気や障害により影響をうける子どもと家族を理解し、考察することができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月10日(木)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	ガイダンス、小児看護の特徴と理念①		
	授業内容	ガイダンス 1. 小児看護の目標と目的について説明できる。 2. 諸統計から国内外の子どもとその家族の社会的背景について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	小児看護の特徴と理念②		
	授業内容	1. 子どもの保健医療福祉をめぐる法律の変遷を理解できる。 2. 子どもの権利と小児看護における倫理について、概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	4限
	講義室	C301		

担当者	土師			
テーマ	小児看護に必要な諸理論			
授業内容	1. 既習の看護学で応用される諸理論（Erikson漸成的発達理論、Maslowの欲求階層説、Freudの心理学的発達理論等）を想起し、子どもの成長発達及び看護を考える際に応用できる。 2. 小児看護理論（J. Bowlbyの愛着理論、J. Piagetの認知発達理論、M. Mahlerの分離個体化理論等）について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
4	年月日（曜日）	令和 7年04月24日（木）	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	子どもの成長・発達		
	授業内容	1. 子どもの成長・発達の一般的な進み方について、説明できる。 2. 子どもの成長・発達に影響する因子について説明できる。 3. 子どもの成長・発達の代表的な評価指標について説明することができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日（曜日）	令和 7年04月24日（木）	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	子どもの各期の成長・発達①：新生児・乳児（グループワーク）		
	授業内容	1. 新生児・乳児期の形態的・機能的・心理社会的発達の特徴について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日（曜日）	令和 7年05月21日（水）	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	土師		
	テーマ	子どもの各期の成長・発達②：幼児（グループワーク）		
	授業内容	1. 幼児期の形態的・機能的・心理社会的発達の特徴について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日（曜日）	令和 7年06月03日（火）	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	土師		
	テーマ	子どもの各期の成長・発達③：学童（グループワーク）		
	授業内容	1. 学童期の形態的・機能的・心理社会的発達の特徴について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年06月05日（木）	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	土師		
	テーマ	子どもの各期の成長・発達④：思春期（グループワーク）		
	授業内容	1. 思春期の形態的・機能的・心理社会的発達の特徴について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
9	年月日（曜日）	令和 7年06月10日（火）	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	子どもの各期の成長・発達（グループワークのプレゼンテーション）		
	授業内容	1. グループワークの学習内容をプレゼンテーションできる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日（曜日）	令和 7年06月16日（月）	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	子どもと家族の特徴		
	授業内容			

1. 現代の日本の子どもと家族について、概説できる。 2. 子どもと家族を取り巻く社会の変化を説明することができる。 3. 看護につながる家族アセスメントについて、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
11	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	病気・障害をもつ子どもと家族の看護		
	授業内容	1. 病気・障害が子どもと家族に与える影響について、考察することができる。 2. 子どもの健康問題と家族への看護について、簡単に説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	土師		
	テーマ	子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護①		
	授業内容	1. 入院中の子どもと家族の看護について説明することができる。 2. 外来における子どものと家族の看護について説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護②		
	授業内容	1. 在宅療養中の子どもの看護について説明することができる。 2. 災害時の子どもと家族の看護について説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	子どもにおける疾病の経過と看護		
	授業内容	1. 各期(慢性期、急性期、周手術期、終末期)にある子どもと家族の看護について説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	学習のまとめ		
	授業内容	講義内容の振り返りとまとめ (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 定期試験の成績(100%) 2. 定期試験は筆記試験とし、内容は全範囲とする。 3. 不合格者については定期試験終了後に再試験を1回のみ行う。
教科書	1. 系統看護学講座 専門分野 小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論、奈良間美保他、医学書院、2024 2. ナーシング・グラフィカ小児看護学②小児看護学②、中野綾美編、メディカ出版、2024
参考書	1. 日本子ども資料年鑑2024、母子愛育会愛育研究所編、KTC中央出版、2024 2. 医療を受ける子どもへの上手な関わり方 第2版、原田香奈他、日本看護協会出版会、2020 3. 標準小児科学、内山聖監修、医学書院、2020 4. フィジカルアセスメントと救急対応、及川郁子監修、中山書店、2014
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。(オフィスアワー：水曜日13：00-17：00) 上記以外は、E-mailにてご連絡下さい。 E-mail：hashi_s@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	1. 教科書は必ず一度は読みましょう。 2. 携帯端末による情報収集だけでなく、図書館の文献などを読み、学習内容の理解を深めて下さい。 3. 課題には科学的視点を持って、分析的に検討して下さい。 4. グループワークは、チーム医療における看護師役割の自覚とコミュニケーション能力の育成になります。

積極的に参加して下さい。

5. 子どもたちの良いお手本となるよう、社会のマナーを守り誠実な行動が取れるよう注意して下さい。

講義名	小児看護学活動論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	金曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 土師 しのぶ	看護学科教員

担当教員	土師しのぶ・川合 美奈・齋藤美奈子・高橋 梢・佐藤 祐美・大塚 砂織
科目の目標	小児看護学概論や関連科目で学修した新生児から思春期までの子どもの成長発達の知識を基に、病気や障害をもつ子どもとその家族への看護に必要な知識と技術を習得する。
学習の具体的な目標	1. 健康障害により心身の状態が変化する子どもとその家族の状況を理解し、看護支援や方法について述べることができる。 2. 子どもの健康状態の観察の意義を理解し、必要な技術を実践できる。 3. 観察したことを統合的にアセスメントし、子どもと家族への適切な看護ケアについて説明できる。 4. 各期にある病気をもつ子どもの事例を用いて看護過程を展開し、援助へとつなげる思考過程を理解することができる。 5. 様々な社会背景や健康問題を持ちながら地域で暮らす子どもとその家族の状況を理解し、場に応じた看護支援や方法について説明できる。 6. 子どもの看護に携わる様々な職種とその専門性を学び、子ども医療を実践するためのチーム医療について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	ガイダンス（本講義の展開）、子どもの安全		
	授業内容	子どもの育つ環境、病院の物理的環境、事故防止、感染予防 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	高橋・土師		
	テーマ	子どもとのコミュニケーション		
	授業内容	1. 子どもとの援助関係を形成する技術(コミュニケーション)の要点について説明できる。 2. 子どもを理解するために必要な理論を想起し、概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年10月24日(金)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	症状を示す子どもの看護①		
	授業内容	1. 子どもが示す症状(不機嫌、啼泣、痛み)を概説することができる。 2. 子どもが示す症状を観察することができる。 3. 子どもが体験する苦痛、不快を理解し、軽減するための看護を説明することができる。 4. 症状を示す子どもとその家族の心理的苦痛を理解し、看護方略について考察することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月24日(金)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	症状を示す子どもの看護②		
	授業内容	1. 子どもが示す症状(呼吸困難、チアノーゼ)を概説することができる。 2. 子どもが示す症状を観察することができる。 3. 子どもが体験する苦痛、不快を理解し、軽減するための看護を説明することができる。 4. 症状を示す子どもとその家族の心理的苦痛を理解し、看護方略について考察することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	症状を示す子どもの看護③		
	授業内容	1. 子どもが示す症状(発熱、発疹、嘔吐)を概説することができる。 2. 子どもが示す症状を観察することができる。 3. 子どもが体験する苦痛、不快を理解し、軽減するための看護を説明することができる。 4. 症状を示す子どもとその家族の心理的苦痛を理解し、看護方略について考察することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	症状を示す子どもの看護④		
	授業内容	1. 子どもが示す症状(下痢、便秘、脱水、浮腫)を概説することができる。 2. 子どもが示す症状を観察することができる。 3. 子どもが体験する苦痛、不快を理解し、軽減するための看護を説明することができる。 4. 症状を示す子どもとその家族の心理的苦痛を理解し、看護方略について考察することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月07日(金)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	症状を示す子どもの看護⑤		
	授業内容	1. 子どもが示す症状(けいれん、出血)を概説することができる。 2. 子どもが示す症状を観察することができる。 3. 子どもが体験する苦痛、不快を理解し、軽減するための看護を説明することができる。 4. 症状を示す子どもとその家族の心理的苦痛を理解し、看護方略について考察することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月07日(金)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	症状を示す子どもの看護⑥		
	授業内容	1. 子どもが示す症状(意識障害、ショック)を概説することができる。 2. 子どもが示す症状を観察することができる。 3. 子どもが体験する苦痛、不快を理解し、軽減するための看護を説明することができる。 4. 症状を示す子どもとその家族の心理的苦痛を理解し、看護方略について考察することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月14日(金)	時限	3限
	講義室	C301		

担当者	土師			
テーマ	子どものフィジカルアセスメント			
授業内容	1. 子どもにとっての検査処置の体験は、どのようなものであるか説明できる。 2. 子どもや家族の協力を得ながら、検査処置が安全に行うことの意義を説明できる。 3. 検査処置時の子どもの心理的準備、対処行動を促す関わりについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年11月14日(金)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	子どものフィジカルアセスメント		
	授業内容	1. 検査処置時の子どもの心理的準備、苦痛緩和の必要性について説明することができる。 2. ロールプレイを行い、子どもへの看護について考察することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年11月21日(金)	時限	3限
	講義室	B101		
	担当者	土師・川合・齋藤・高橋		
	テーマ	子どものベッドサイドの環境整備・バイタルサインズ測定・乳児の身体測定		
	授業内容	・ベッドサイドの環境整備 1) 子どもの入院生活の安全を確保することができる。 2) 入院中の子どもの健全な成長発達につながる環境を考察することができる。 ・バイタルサインズ測定 1) 子どもの身体成長に適した機器を用いて、バイタルサインズを正確に測定できる。 2) 測定に際し子どもの発達段階に適したコミュニケーションをとることができる。 3) 測定されたバイタルサインズ・症状から、アセスメントすることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年11月21日(金)	時限	4限
	講義室	B101		
	担当者	土師・川合・齋藤・高橋		
	テーマ	子どものベッドサイドの環境整備・バイタルサインズ測定・乳児の身体測定		
	授業内容	・ベッドサイドの環境整備 1) 子どもの入院生活の安全を確保することができる。 2) 入院中の子どもの健全な成長発達につながる環境を考察することができる。 ・バイタルサインズ測定 1) 子どもの身体成長に適した機器を用いて、バイタルサインズを正確に測定できる。 2) 測定に際し子どもの発達段階に適したコミュニケーションをとることができる。 3) 測定されたバイタルサインズ・症状から、アセスメントすることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	3限
	講義室	B101		
	担当者	土師・川合・齋藤・高橋		
	テーマ	子どものベッドサイドの環境整備・バイタルサインズ測定・乳児の身体測定		
	授業内容	・ベッドサイドの環境整備 1) 子どもの入院生活の安全を確保することができる。 2) 入院中の子どもの健全な成長発達につながる環境を考察することができる。 ・バイタルサインズ測定 1) 子どもの身体成長に適した機器を用いて、バイタルサインズを正確に測定できる。 2) 測定に際し子どもの発達段階に適したコミュニケーションをとることができる。 3) 測定されたバイタルサインズ・症状から、アセスメントすることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	4限
	講義室	B101		
	担当者	土師・川合・齋藤・高橋		
	テーマ	子どものベッドサイドの環境整備・バイタルサインズ測定・乳児の身体測定		
	授業内容			

・ベッドサイドの環境整備

- 1) 子どもの入院生活の安全を確保することができる。
 - 2) 入院中の子どもの健全な成長発達につながる環境を考察することができる。
- ・バイタルサインズ測定
- 1) 子どもの身体成長に適した機器を用いて、バイタルサインズを正確に測定できる。
 - 2) 測定に際し子どもの発達段階に適したコミュニケーションをとることができる。
 - 3) 測定されたバイタルサインズ・症状から、アセスメントすることができる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

15	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	齋藤		
	テーマ	検査・処置を受ける子どもの看護①		
	授業内容	1. 子どもにとって検査や処置の体験が、どのようなものであるかを説明できる 2. 検査処置時の子どもの心理的準備、対処行動を促すかかわりについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	検査・処置を受ける子どもの看護②		
	授業内容	1. 子どもにとって検査や処置の体験が、どのようなものであるかを説明できる 2. 検査処置時の子どもの心理的準備、対処行動を促すかかわりについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
17	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	検査・処置を受ける子どもの看護③		
	授業内容	1. 子どもにとって検査や処置の体験が、どのようなものであるかを説明できる 2. 検査処置時の子どもの心理的準備、対処行動を促すかかわりについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	検査・処置を受ける子どもの看護④		
	授業内容	1. 子どもにとって検査や処置の体験が、どのようなものであるかを説明できる 2. 検査処置時の子どもの心理的準備、対処行動を促すかかわりについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	検査・処置を受ける子どもの看護⑤		
	授業内容	1. 子どもにとって検査や処置の体験が、どのようなものであるかを説明できる 2. 検査処置時の子どもの心理的準備、対処行動を促すかかわりについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	佐藤・土師		
	テーマ	Meet the Expert II : Hospital Plays Specialist 佐藤 祐美さん		
	授業内容	1. 小児医療の専門家(HPS)の活動と役割について説明できる。 2. 小児医療における他職種連携について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	川合・齋藤・高橋・土師		
	テーマ	子どもの事例展開から学ぶ①【急性期】		

授業内容		1. 急性期にある子どもの事例を用いて看護過程を展開し、援助へとつなげる思考過程を理解することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	川合・齋藤・高橋・土師		
	テーマ	子どもの事例展開から学ぶ②【急性期】		
	授業内容	1. 急性期にある子どもの事例を用いて看護過程を展開し、援助へとつなげる思考過程を理解することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	川合・齋藤・高橋・土師		
	テーマ	子どもの事例展開から学ぶ③【急性期】		
	授業内容	1. 急性期にある子どもの事例を用いて看護過程を展開し、援助へとつなげる思考過程を理解することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	土師・川合・齋藤・高橋		
	テーマ	子どもの事例展開から学ぶ①【慢性期】		
	授業内容	1. 慢性期にある子どもの事例を用いて看護過程を展開し、援助へとつなげる思考過程を理解することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
25	年月日(曜日)	令和 8年01月16日(金)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	土師・川合・齋藤・高橋		
	テーマ	子どもの事例展開から学ぶ②【慢性期】		
	授業内容	1. 慢性期にある子どもの事例を用いて看護過程を展開し、援助へとつなげる思考過程を理解することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 8年01月16日(金)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	土師・川合・齋藤・高橋		
	テーマ	子どもの事例展開から学ぶ③【慢性期】		
	授業内容	1. 慢性期にある子どもの事例を用いて看護過程を展開し、援助へとつなげる思考過程を理解することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
27	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	子どもの事例から学ぶ①【終末期】		
	授業内容	1. 終末期にある子どもについて知識を深め、終末期にある子どもへの看護について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
28	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	土師		
	テーマ	子どもの事例から学ぶ⑦【児童虐待】		
	授業内容	1. 児童虐待予防について知識を深め、虐待予防について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
29	年月日(曜日)	令和 8年01月23日(金)	時限	3限
	講義室	C301		

担当者		川合		
テーマ		子どもの事例から学ぶ⑧【医療的ケア児】		
授業内容		1. 医療的ケア児への支援について、概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 8年01月23日(金)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	大塚・土師		
	テーマ	Meet the Expert II : Pediatric Allergy Educator 大塚 沙織さん		
	授業内容	1. 小児医療の専門家 (PAE)の活動と役割について概説することができる。 2. 小児医療における多職種連携について、説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 定期試験の成績(80%)、課題の提出(20%)、その他出席状況等で総合的に評価する。 2. 定期試験は筆記試験とし、内容は全範囲とする。 3. 不合格者については定期試験終了後に再試験を1回のみ行う。
教科書	1. 系統看護学講座 専門分野 小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論、奈良間美保他、医学書院、2024 2. ナーシング・グラフィカ小児看護学②小児看護学②、中野綾美編、メディカ出版、2024
参考書	1. 日本子ども資料年鑑2024、母子愛育会愛育研究所編、KTC中央出版、2024 2. 医療を受ける子どもへの上手な関わり方 第2版、原田香奈他、日本看護協会出版会、2020 3. 標準小児科学、内山聖監修、医学書院、2020 4. フィジカルアセスメントと救急対応、及川郁子監修、中山書店、2014 他は適宜、講義内で紹介します。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 土師しのぶE-mail : hashi_s@saitama-med.ac.jp 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントを取ること。
履修上の注意、履修要件	1. 教科書は必ず一度は読みましょう。 2. 携帯端末による情報収集だけでなく、図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めて下さい。 3. 課題には科学的視点を持って、分析的に検討して下さい。 4. グループワークは、チーム医療における看護師役割の自覚とコミュニケーション能力の育成になります。積極的に参加して下さい。 5. 子どもたちの良いお手本となるよう、社会のマナーを守り誠実な行動が取れるよう注意して下さい。

講義名	母性看護学概論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
助産師	◎ 大森 智美	看護学科教員

担当教員	大森 智美・高橋 幸子・小澤 千恵
科目の目標	母性看護学概論においては、性と生殖（種族保存）の意義を理解し、女性の健康についてライフサイクル全体の中で考え、女性としての生き方を心身両面で支えていけるために、女性の一生を通しての健康の保持・増進と母性機能を円滑に遂行していくための母性看護の役割・機能について総合的に学修する。具体的には、母性の身体的・心理社会的側面から、ライフサイクルにおける各期の特徴と健康課題、母性看護の現状と動向等について学んでいく。
学習の具体的な目標	1) 母性の概念、父性の概念を学修し、それぞれの特性と、人として生きる上での両性の価値を述べることができる。 2) 性看護の対象である女性の身体的・心理的・社会的特性について説明できる。 3) 生殖の意義と生殖と性との関連、人間にとっての性の意義について学び、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点で人間にとっての性の健康について意見を述べるができる。 4) 女性のライフサイクルとライフスタイルについて学び、各ライフサイクルの時期における女性の特性と健康問題及び問題解決のための看護について説明できる。 5) 母性保護のための法律について理解し、説明できる。 6) 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状について学び、今後に向けての母性看護の方向性について述べるができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大森		
	テーマ	母性看護学概論の科目目標と進め方 母性の概念、父性の概念		
	授業内容	1. 母性看護学の目的－母性看護学概論、母性看護学活動論、母性看護学実習の科目の目標と各科目の関連及び母性看護学概論の進め方を説明できる。 2. 母性の概念、父性の概念を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大森		

テーマ	女性生殖器の形態と機能 生殖に関する生理			
授業内容	1. 女性生殖器の形態と機能について説明できる。 2. 生殖のメカニズムを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	大森		
	テーマ	母性の発達と女性のライフサイクル		
	授業内容	1. 女性のライフサイクルを説明できる。 2. 母性の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	大森		
	テーマ	思春期・成熟期の女性の特徴		
	授業内容	1. 思春期・成熟期の女性の身体的・心理社会的特徴、健康問題を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	高橋		
	テーマ	思春期の女性の特徴		
	授業内容	1. 思春期の女性の身体的・心理社会的特徴、健康問題を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大森		
	テーマ	成熟期の女性の特徴		
	授業内容	1. 成熟期の女性の身体的・心理社会的特徴、健康問題を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大森		
	テーマ	更年期・老年期の女性の特徴 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ		
	授業内容	1. 更年期・老年期の女性の身体的・心理社会的特徴、健康問題を説明できる。 2. リプロダクティブ・ヘルス/ライツのめざすものを説明できる。 3. リプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる課題を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大森		
	テーマ	母子関係と家族の発達 リプロダクティブ・ヘルスケア		
	授業内容	1. 家族機能と家族の発達課題を説明できる。 2. リプロダクティブ・ヘルスケアを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大森		
	テーマ	セクシュアリティの発達と課題 性の多様性 性分化のメカニズム		

授業内容		1. セクシュアリティの概念を説明できる。 2. セクシュアリティの発達と課題を説明できる。 3. LGBTについて説明できる。 4. 性分化のメカニズムを説明できる。 5. 性分化疾患の人のケアを述べることができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大森		
	テーマ	災害時の妊産婦と家族への支援 外国人妊産婦と家族への支援		
	授業内容	1. 災害時の母子と家族に必要な援助ができる。 2. 外国人妊産婦と家族への支援について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大森・小澤		
	テーマ	周産期医療のシステム 母性看護の担い手：助産師		
	授業内容	1. 周産期の医療システムについて説明できる。 2. 助産師の役割を説明できる （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大森		
	テーマ	母性看護と関係法規		
	授業内容	1. 母性保護のための法律を説明できる。 2. 母子保健法に関する施策の活用について説明できる。 3. 女性の就労に關しての法律を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大森		
	テーマ	母子保健統計 子育て支援施策		
	授業内容	1. 母子保健統計に見る母性保健の動向と現状の課題を説明できる。 （出生の状況、妊産婦死亡、新生児死亡、周産期死亡、人工妊娠中絶など） 2. 子育て支援施策（母子保健施策）について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	大森		
	テーマ	母性看護における倫理的問題 意思決定プロセスでの支援		
	授業内容	1. 母性看護における倫理的問題を説明できる。 2. 母性看護において対象者の意思決定に対しての支援について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	大森		
	テーマ	母性看護を取り巻く社会の変遷と現状の課題		
	授業内容	1. 母性看護の課題と展望について説明できる。 2. 母性看護学活動論との関連を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
評価方法		1. 前期定期試験期間中に筆記試験を行う。（95%） 2. 授業参加姿勢も評価に加味する。（5%）		

	3. 再試験の有無：有（1回のみ）
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論、森恵美他著、医学書院
参考書	新体系看護学全書 母性看護学① 母性看護学概論／ウイメンズヘルスと看護、新道幸恵他編、メヂカルフレンド社
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【大森】 月曜日の3・4限 上記時間帯以外での面接を希望する者は、メールにてアポイントメントをとること。 E-mail：t_oomr@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館で参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。

講義名	母性看護学活動論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	水曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
助産師	◎ 大森 智美	看護学科教員

担当教員	大森 智美・藤村 博恵・松坂 充子・上西 由美
科目の目標	妊娠・分娩・産褥期における女性と新生児の身体的・心理的・社会的特性、家族の特性について学び、看護が実践できる能力を身につける。特に妊娠・分娩・産褥期が健康で安全に経過するための支援および妊産褥婦が母親役割を獲得する過程における支援について体験的に学ぶ。
学習の具体的な目標	1) 妊産褥婦の身体的・心理的・社会的変化を説明できる。 2) 妊産褥婦の健康の維持のための援助方法を説明できる。 3) 正常からの逸脱を予防するための援助方法を説明できる。 4) 新生児の胎外生活への適応過程を理解し、健康で安全に進行するための援助方法を説明できる。 5) 母親役割を獲得する過程とそのための援助方法について説明できる。 6) 出産によって生じる家族の役割変化と新たな家族関係の確立に対する援助方法を説明できる。 7) 妊産褥婦および新生児が正常な経過から逸脱した際の具体的な援助方法を説明できる。 8) 母性看護における看護過程の特徴を理解し、事例を通して各プロセスを展開できる。

授業計画表

A班				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	藤村・上西		
	テーマ	妊娠期の看護①：妊娠期の身体的・心理的・社会的特性		
	授業内容	1. この講義の進め方 2. 妊娠における母体の変化と胎児の発育について説明できる。 3. 妊娠による生理的ニーズの変化について説明できる。 4. 妊娠期の心理的特性（妊娠の受容・親役割の獲得の過程）について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	上西		
	テーマ	妊娠期の看護②：妊娠期の身体的・心理的・社会的特性		
	授業内容	"		

3	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	藤村		
	テーマ	妊娠期の看護③：妊婦と胎児のアセスメントと健康管理		
	授業内容	1. 妊婦健康診査の内容と妊婦への保健指導について説明できる。 2. 妊婦の健康状態のアセスメント（妊娠初期・中期・後期）について説明できる。 3. 妊娠期における不快症状と援助について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	藤村		
	テーマ	妊娠期の看護④：妊娠中に予測される問題と援助、妊婦と家族の看護		
	授業内容	1. 妊娠中に予測される問題（正常からの逸脱）と援助について説明できる。 2. 妊婦と家族の看護について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	藤村		
	テーマ	妊娠期の看護⑤：妊娠中に予測される問題と援助、妊婦と家族の看護		
	授業内容	"		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	大森		
	テーマ	分娩期の看護①：分娩の3要素と正常分娩の経過		
	授業内容	1. 分娩の3要素について説明できる。 2. 正常分娩の経過について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	大森		
	テーマ	分娩期の看護②：分娩の3要素と正常分娩の経過		
	授業内容	"		
8	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	大森		
	テーマ	分娩期の看護③：分娩時の援助		
	授業内容	1. 産痛の緩和、安全安楽な分娩への看護について説明できる。 2. 産婦が主体的に出産に望めるための看護について説明できる。 3. 産婦の心理・社会的変化について説明できる。 4. 産婦の家族への看護が説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
9	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	大森		
	テーマ	分娩期の看護④：分娩時の援助		
	授業内容	"		
10	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	大森		
	テーマ	分娩期の看護⑤：分娩経過が正常から逸脱した産婦の看護		
	授業内容			

1. 娩出力・胎児の姿勢・胎盤の異常と看護について説明できる。
 2. 産科処置・産科手術と看護について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

11	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	4限
	講義室	C301・B101		
	担当者	大森・藤村・松坂・上西		
	テーマ	演習1：妊娠期・分娩期の看護の実際		
	授業内容	1. 事例妊婦の健康診査結果を、アセスメントすることができる。 2. 事例産婦にとって望ましい分娩に向けた援助をグループで行うことができる。 3. 妊産婦の家族にとって看護師が与える影響について説明できる (予習時間90分、復習時間60分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	5限
	講義室	C301・B101		
	担当者	大森・藤村・松坂・上西		
	テーマ	演習1：妊娠期・分娩期の看護の実際		
	授業内容	"		
13	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	藤村		
	テーマ	産褥期の看護①：褥婦の身体的・心理的・社会的変化		
	授業内容	1. 褥婦の身体的変化について説明できる。 2. 褥婦の心理・社会的変化について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	藤村		
	テーマ	産褥期の看護②：褥婦の身体的・心理的・社会的変化		
	授業内容	"		
15	年月日(曜日)	令和 7年11月12日(水)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	松坂		
	テーマ	新生児期の看護①		
	授業内容	1. 新生児の身体的、生理的特徴が説明できる。 2. 母体胎外生活適応過程について説明できる。 3. 新生児のアセスメントに必要な情報が説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年11月12日(水)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	松坂		
	テーマ	新生児期の看護②		
	授業内容	"		
17	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	松坂		
	テーマ	新生児期の看護③		
	授業内容	1. 新生児の看護の特徴から看護師の役割が説明できる。 2. 新生児期のケアについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	松坂		

テーマ	新生児期の看護④：新生児の異常と看護			
授業内容	1. 早期新生児にみられる健康問題の特徴と看護の意義が説明できる。 2. 早期新生児の異常に対する児とその家族への看護が説明できる。 3. 早産児・低出生体重児とその家族の看護ケアについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
19	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	大森・藤村・松坂・上西		
	テーマ	演習2：母性における看護過程①		
	授業内容	1. 母性看護の対象における、看護過程展開の特徴を述べることができる。 2. ウエルネスな捉え方による看護過程の展開方法について説明できる。 3. 事例褥婦の情報を整理し、分析・解釈することができる。 4. 事例新生児の情報を整理し、分析・解釈することができる。 (予習時間90分、復習時間60分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年12月04日(木)	時限	4限
	講義室	C401・B101		
	担当者	大森・藤村・松坂・上西		
	テーマ	演習3：新生児期の看護の実際		
	授業内容	1. 事例新生児の観察をすることができる。 2. 事例新生児の母胎外生活適応のための援助を行うことができる。 (予習時間90分、復習時間60分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年12月04日(木)	時限	5限
	講義室	C401・B101		
	担当者	大森・藤村・松坂・上西		
	テーマ	演習3：新生児期の看護の実際		
	授業内容	"		
22	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	藤村		
	テーマ	産褥期の看護③：母子の健康を促す看護(1)		
	授業内容	1. 産褥経過のアセスメントについて説明できる。 2. 母親役割獲得状態のアセスメントについて説明できる。 3. セルフケア能力の獲得に向けた看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	藤村		
	テーマ	産褥期の看護④：母子の健康を促す援助(1)		
	授業内容	"		
24	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	藤村		
	テーマ	産褥期の看護⑤：母子の健康を促す援助(2)産褥期に予測される問題と援助		
	授業内容	1. 親役割の獲得と児との関係性を促す援助について説明できる。 2. 育児技術に関わる看護について説明できる。 3. 施設退院後の褥婦への支援について説明できる。 4. 産褥期に予測される問題(正常からの逸脱)と援助について説明できる。 5. 産褥期の特別な支援を要する褥婦・家族について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
25	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	藤村		
	テーマ	産褥期の看護⑥：母子の健康を促す援助(2)産褥期に予測される問題と援助		

授業内容		〃		
26	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	大森・藤村・松坂・上西		
	テーマ	演習4：母性における看護過程②		
	授業内容	1. 事例褥婦の全体像を捉え、看護上の問題あるいは課題を表現することができる。 2. 事例新生児の全体像を捉え、看護上の問題あるいは課題を表現することができる。 3. 事例褥婦の看護計画が立案できる。 4. 事例新生児の看護計画が立案できる。 (予習時間90分、復習時間60分)		
27	年月日(曜日)	令和 7年12月23日(火)	時限	3限
	講義室	C401・B101		
	担当者	大森・藤村・松坂・上西		
	テーマ	演習5：産褥期および母子の看護の実際		
	授業内容	1. 事例褥婦の回復過程をアセスメントをすることができる 2. シナリオに沿って、授乳を行う母子の援助を行うことができる。 3. 帝王切開後にある事例褥婦を観察することができる (予習時間90分、復習時間60分)		
28	年月日(曜日)	令和 7年12月23日(火)	時限	4限
	講義室	C401・B101		
	担当者	大森・藤村・松坂・上西		
	テーマ	演習5：産褥期および母子の看護の実際		
	授業内容	〃		
29	年月日(曜日)	令和 8年01月21日(水)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	大森・藤村・松坂・上西		
	テーマ	演習6：母性における看護過程③		
	授業内容	1. 事例褥婦の全体像を捉え、看護上の問題あるいは課題を表現することができる。 2. 事例新生児の全体像を捉え、看護上の問題あるいは課題を表現することができる。 3. 事例褥婦の看護計画が立案できる。 4. 事例新生児の看護計画が立案できる。 (予習時間90分、復習時間60分)		
30	年月日(曜日)	令和 8年01月21日(水)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	大森・藤村・松坂・上西		
	テーマ	演習7：母性における看護過程④		
	授業内容	1. 事例褥婦および新生児に行った看護を評価することができる。 2. 事例褥婦および新生児に行った看護の目標や計画を修正することができる。 (予習時間90分、復習時間60分)		

B班 演習日程でA班と異なっている日程のみ示す

11	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	3限
	講義室	C401・B101		
	担当者	大森・藤村・松坂・上西		
	テーマ	演習1：妊娠期・分娩期の看護の実際		
	授業内容	1. 事例妊婦の健康診査の結果を、アセスメントすることができる。 2. 事例妊婦にとって望ましい分娩に向けた援助をグループで行うことができる。 3. 妊産婦や家族にとって看護師が与える観察について説明できる。 (予習時間90分、復習時間60分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	4限
	講義室	C401・B101		
	担当者	大森・藤村・松坂・上西		
	テーマ	演習1：妊娠期・分娩期の看護の実際		
	授業内容			

授業内容		〃		
20	年月日(曜日)	令和 7年12月03日(水)	時限	3限
	講義室	C401・B101		
	担当者	大森・藤村・松坂・上西		
	テーマ	演習3：新生児期の看護の実際		
	授業内容	1. 事例新生児の観察をすることができる。 2. 事例早期新生児の母胎外生活適応のための援助を行うことができる。 (予習時間90分、復習時間60分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年12月03日(水)	時限	4限
	講義室	C401・B101		
	担当者	大森 藤村 松坂 上西		
	テーマ	演習3：新生児期の看護の実際		
	授業内容	〃		
27	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	3限
	講義室	C401・B101		
	担当者	大森 藤村 松坂 上西		
	テーマ	演習5:産褥期および母子の看護の実際		
	授業内容	1. 事例褥婦の回復過程をアセスメントをすることができる 2. シナリオに沿って、授乳を行う母子の援助を行うことができる。 3. 帝王切開後にある事例褥婦を観察することができる (予習時間90分、復習時間60分)		
28	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	4限
	講義室	C401・B101		
	担当者	大森 藤村 松坂 上西		
	テーマ	演習5:産褥期および母子の看護の実際		
	授業内容	〃		
評価方法		1. 後期定期試験期間に筆記試験を行う。 2. 評価は、筆記試験と提出物(演習ノート、看護過程等)や講義への参加・取り組みも評価対象とする(試験と提出物の配分は講義中に説明する)。 3. 不合格者については、定期試験終了後に再試験を行う。(再試は1回のみ)		
教科書		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論、森恵美他著、医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[2] 母性看護学各論、森恵美他著、医学書院 ナーシング・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術、荒木菜緒他編、メディカ出版、第5版		
参考書		新体系看護学全書 母性看護学② マタニティサイクルにおける母子の健康と看護、新道幸恵他編、メヂカルフレンド社		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【大森】 月曜日・金曜日の3・4限 上記の時間帯以外で面接を希望する者は、メールにてアポイントメントをとること。 E-mail : t_oomr@saitama-med.ac.jp		
履修上の注意、履修要件		この科目は受講者の性別を問わず自分の健康、家族の健康に関わっています。そういった視点も持ちながら楽しんで受講してください。 授業前日には教科書の該当部分を予習し、内容の意味を理解しておくこと。また、範囲が広いので復習をすることが大切です。 演習は反転授業(動画の視聴、演習課題などの事前学習をもとに演習を行う方法)で行います。そのため事前課題の提出が演習参加の必須条件となります。 演習の中で使用した事例の患者情報の取り扱いには十分注意すること。		

講義名	精神看護学概論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/養護教諭	◎ 大賀 淳子	看護学科教員

担当教員	大賀 淳子・大澤 優子・大崎 成美
科目の目標	こころの健康やその発達についての理解をもとに、人々のメンタルヘルス、および看護職のメンタルヘルス向上の必要性やその方法について具体的に学ぶ。また、精神医療の歴史の学習をとおして、精神障害者の権利擁護についての考えを深め、倫理観を高める。
学習の具体的な目標	1) こころの健康、精神障害のとらえ方を説明できる（グループ討議）。 2) 人生各期における発達課題とメンタルヘルスの特徴について説明できる（グループ討議、発表）。 3) ストレスに対する身体的反応について説明できる。 4) 家族をみる視点について説明でき、現在の家族がもつ課題について自分の考えを述べるができる。 5) 精神科医療における人権擁護の特徴について説明できる。 6) 精神医療の歴史を理解し、その特色を説明できる（グループ討議、発表）。 7) 精神保健医療福祉をめぐる法制度の変遷と精神保健福祉法の基本的考え方を説明できる。 8) ストレスマネジメントの重要性を理解し、その方法について説明できる。 上記1)～8)について、適宜、グループ討議を行って、理解を深めるとともに、自らの考えを発表する。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	大賀		
	テーマ	精神障害についての基本的な考え方 (1)		
	授業内容	1. こころのバリアフリー宣言の背景を踏まえ、8つの柱の意味を理解する。 2. 集団の治療的因子について、自分たちの経験をもとに意見交流を行い、自分の考えをレポートにまとめることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	大賀		
	テーマ	精神障害についての基本的な考え方 (2)		
	授業内容			

1. ICFモデルにそって事例の健康状態をアセスメントできる。
 2. 2つのスティグマとその関係について理解し、意見交流を行って、自分の考えを述べるができる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年10月23日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	大澤		
	テーマ	人間のこころと行動(1)		
	授業内容	1. 人間のこころを見る3つの視点を理解する。 2. 人間のこころをみる看護の視点について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月30日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	大澤		
	テーマ	人間のこころと行動(2)		
	授業内容	1. 人間のこころへのストレスの影響、こころの防衛機制、危機とリカバリーについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	大澤		
	テーマ	人格の発達と情緒体験		
	授業内容	1. 重要他者との出会いと関係性が人格に与える影響を説明することができる。 2. 自分の成長過程を振り返り、自分の成長に影響を与えた他者との関係についてレポートにまとめることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月13日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	大賀		
	テーマ	人生各期の発達課題：ライフサイクルとメンタルヘルス(1)		
	授業内容	1. 乳幼児期から思春期におけるメンタルヘルスの特徴を説明できる。 2. 自分の成長発達過程を振り返り、経験した成熟的危機とそれへの対応について述べるができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月20日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	大賀		
	テーマ	人生各期の発達課題：ライフサイクルとメンタルヘルス(2)		
	授業内容	1. 青年期から老年期におけるメンタルヘルスの特徴を説明できる。 2. 身近な人(中年期・老年期)を例に挙げ、メンタルヘルスの特徴がどのように現れているか、具体的に述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	大賀		
	テーマ	現代社会とこころ		
	授業内容	1. 現代社会の特徴を踏まえたうえで、自殺、児童虐待などの問題について現状や課題を説明できる。 2. 課題を解決するために自分たちが取り組めることについて意見交流を行い、自分の考えを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月04日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	大賀		
	テーマ	ストレスに対する身体反応-心身症		
	授業内容			

1. こころと身体つながり（心身相関）について説明できる。
 2. 代表的な心身症の症状と看護について説明できる。
- （予習時間30分、復習時間30分）

10	年月日(曜日)	令和 7年12月11日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	大澤		
	テーマ	家族とその支援		
	授業内容	1. 現代社会における家族のあり方や精神障害者の家族がおかれている現状を理解する。 2. 家族への支援の重要性と具体的手法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月18日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	大澤		
	テーマ	嗜癖と依存		
	授業内容	1. 嗜癖、依存と反社会的行動との関連を理解する。 2. アルコール・薬物使用障害の看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	大澤		
	テーマ	看護の倫理と人権擁護		
	授業内容	1. 医療における患者の権利や精神障害者の処遇をめぐる問題を理解する。 2. 障害者の権利擁護について自分の考えを述べるができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月15日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	大賀		
	テーマ	精神医療の歴史と看護		
	授業内容	1. 欧米・日本の精神医療の変遷と、それぞれの時代における特色を理解する。 2. 日本の精神医療の現状と問題点について意見交流を行い、自らの考えを深めることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月20日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	大賀		
	テーマ	精神保健医療福祉をめぐる法律		
	授業内容	1. 精神保健医療福祉をめぐる法律の変遷を理解する。 2. 法の改正に伴う患者の処遇の変化について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	大賀・大崎		
	テーマ	ストレスマネジメントと精神科における看護師の役割		
	授業内容	1. 看護師の仕事とストレスの関連性について理解する。 2. ストレスマネジメントの必要性和方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 出席状況、定期試験成績およびレポートによる総合評価とする。 2. 定期試験不合格者には、再試験を1回のみ行う。
教科書	ナーシング・グラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本、メディカ出版
参考書	1. 精神看護学ノート第2版、武井麻子、医学書院、2005 2. ライフサイクル精神医学、西園昌久、医学書院、1988 3. 家族臨床の社会学、畠中宗一、世界思想社、2000 4. 日本精神科治療史、八木剛平ほか、金原出版、2002 5. DSM-5精神疾患の分類と診断の手引、高橋三郎ほか監訳、医学書院、2014 6. 看護学生のための心理学、長田久雄編、医学書院、2002 7. いやな気分よさようなら：自分で学ぶ「抑うつ」克服法、野村総一郎ほか訳、星和書店、2004

	8. 集団精神療法ハンドブック、近藤喬一ほか編、金剛出版、2000 9. 嗜癮行動と家族：過食症・アルコール依存症からの回復、斎藤学、有斐閣、1984
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【大賀】 月・水曜日の3・4限 上記時間帯に訪問できない場合は、事前にメールでアポイントメントをとること。 E-mail : ogaju@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前には教科書の該当ページを予習し、授業後には学習内容の見直しを行ってください。各レポートへの教員のコメントを確認し、さらに考えを広げてください。また、余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けてください。 特に、看護師のメンタルヘルスを扱った図書や雑誌記事に広く触れることにより、将来にわたって、自分を含む周囲の人々のメンタルヘルス向上に貢献するための基盤を培ってくださることを期待します。

講義名	在宅看護学概論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員

職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 千田 みゆき	看護学科教員

担当教員	千田みゆき・村田 美穂
科目の目標	社会の変化に応じて変遷してきた在宅看護の歴史を踏まえ、その理念と意義、地域ケアシステムにおいて他職種と連携・協働する中での看護職の役割および倫理的配慮を学ぶとともに、在宅看護の対象の特徴、訪問看護の実践について学習する。
学習の具体的な目標	1) 在宅看護の歴史と理念・意義について述べることができる。 2) 地域包括ケアシステムにおける他職種との連携の重要性、および看護職の役割と職業倫理について述べる ことができる。 3) 訪問看護ステーションの法的枠組み、しくみについて説明できる。 4) 訪問看護の対象と看護活動の特徴について説明できる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年04月09日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	在宅看護の歴史と理念		
	授業内容	1. 在宅看護の歴史を社会的背景と関連づけて説明できる。 2. 在宅ケア、在宅医療、在宅看護の定義を学び在宅看護の対象者について説明できる。 3. 高齢者の福祉施策の変遷を説明できる。 4. 在宅看護の理念と目的を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	在宅療養者をめぐる我が国の現状と在宅看護の意義		
	授業内容	1. 人口構成、国民の価値観、療養の場、社会保障費の変化に関連づけて、在宅看護の意義を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	2限

	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	在宅療養者の権利保障と看護職の職業倫理		
	授業内容	1. 各権利宣言と結びつけて、在宅療養者の人権の尊重の重要性と在宅療養者への社会的責務について説明できる。 2. 成年後見制度とアドボカシー、意思決定支援について説明できる。 3. 在宅看護における倫理的課題について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	地域包括ケアシステム		
	授業内容	1. 地域包括ケアシステムの必要性と機能を説明できる。 2. 自助・互助・共助・公助を説明できる。 3. 地域包括支援センターの機能と地域支援事業について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	地域包括ケアシステムにおける連携		
	授業内容	1. 社会資源の定義を述べるができる。 2. 在宅看護に関連する社会システムを説明することができる。 3. 在宅ケアの関連機関と職種を述べるができる。 4. 在宅ケアにおける資源開発の必要性を述べるができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	訪問看護ステーションのしくみ		
	授業内容	1. 訪問看護制度に関連する法的枠組みについて説明できる。 2. 訪問看護ステーションの仕組み(実践のプロセス、訪問看護サービスの主な内容、訪問看護業務の流れ、訪問看護ステーションの一日の流れ)を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	訪問看護ステーションの管理と訪問看護の成立条件		
	授業内容	1. 訪問看護の開設基準を述べるができる。 2. 訪問看護ステーションの管理について説明できる。 3. 在宅看護の質の評価について説明できる。 4. 施設看護と在宅看護の違いを述べるができる。 5. 退院支援・退院調整の重要性と退院支援看護師の役割を述べるができる。 6. 訪問看護の成立条件を述べるができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	療養者の日常生活の援助		
	授業内容	1. 在宅療養者の特徴と在宅における療養生活の特徴を説明できる。 2. 自立支援の意義を国際生活機能分類ICFの視点から説明できる。 3. 閉じこもり、寝たきり化を予防する支援の要点を説明できる。 4. 転倒、誤嚥、熱傷、熱中症の予防方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	千田		

テーマ	療養者の疾病管理			
授業内容	1. 健康状態の観察とアセスメントの重要性について説明できる。 2. 病状と病態の変化及び合併症を予測した予防的看護の重要性について説明できる。 3. 在宅での感染予防対策について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	介護家族に対する支援		
	授業内容	1. 家族看護学の理論を用いた介護家族の介護力のアセスメントの要点を説明できる。 2. 介護方法の指導、家族関係の調整、介護者の健康維持、レスパイトケアなどの介護家族への支援について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	在宅看護におけるケアマネジメントと在宅看護過程		
	授業内容	1. ケアマネジメントの定義とプロセスを述べるができる。 2. 在宅看護における看護過程の概要と特徴、展開上の留意点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	村田・千田		
	テーマ	災害時の看護活動と予防活動		
	授業内容	1. 被災予防と事前対策について説明できる。 2. 災害時の健康問題と災害時の在宅看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	介護支援専門員と介護サービス計画		
	授業内容	1. ケアマネジメントの必要性と目的を説明できる。 2. 介護支援専門員(ケアマネジャー)の役割、資格について説明できる。 3. 事例演習をとおして在宅療養生活におけるケアマネジメント(サービス調整)の方法を理解し、介護サービス計画(ケアプラン)を立案できる。(課題) (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	虐待への対応		
	授業内容	1. 虐待の定義を説明できる。 2. 高齢者虐待と児童虐待の特徴を説明できる。 3. 虐待のリスク評価と支援方法を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	介護保険と医療保険		
	授業内容	1. 介護保険のしくみを説明できる。 2. 医療保険のしくみを説明できる。 3. 生活保護制度と公費医療制度における医療費・介護費の受給について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 課題5% 2. 定期試験85% 3. 出席状況、授業参加態度10% 4. 上記の1～3の総合評価が不合格の場合、再試験を1回行う。
教科書	1. ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア、臺有桂他編、メディカ出版 2. 国民衛生の動向、厚生労働統計協会
参考書	1. 在宅看護論 実践をことばに 第6版、杉本正子・眞船拓子編、ヌーベルヒロカワ
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 平日12:10～12:30 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、アポイントメントをとること。 Email: chida@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。 授業開始45分以降の遅刻は欠席とする。 この科目は在宅看護学活動論Ⅰ・Ⅱの基礎となる教科である。また、単位が取れない場合は在宅看護学実習を履修することができない。授業への積極的な参加を期待する。

講義名	在宅看護学活動論Ⅰ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 西岡 ひとみ	看護学科教員

担当教員	西岡ひとみ・千田みゆき・川端 泰子・伊藤真知子
科目の目標	住み慣れた地域や在宅で生活を営む人々と家族に対し提供される地域における様々な場での看護について学ぶ。また、疾病や障害を抱えながら療養している地域で生活する人々とその家族の生活（暮らし）や地域のもつ力、社会資源など地域の特性を学ぶ。生活者の視点で地域に内在する力や活性化を理解し、地域で生活する人々とその家族の多様性・複雑性に対応できる看護や在宅ケアを考察・創造する力を養う。
学習の具体的な目標	1. 特定の地域を地区踏査することにより、地域（コミュニティ）を捉えるための視点および生活環境と健康について考えることができる。 2. 特定の地域を地区踏査することにより、住み慣れた地域で疾病や障害、加齢に伴う変化などを有する人々と家族の生活（暮らし）を理解できる。 3. 特定の地域を地区踏査することにより、地域特性や地域に内在する力、社会資源について理解できる。 4. 地域に住み、在宅で療養する人々とその家族に対する看護援助の特性と方法を考えることができる。 5. 地域包括ケアシステム構築のプロセスを学ぶことにより、看護職の機能や役割について自分の考えを述べるることができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	西岡・千田・川端		
	テーマ	・ガイダンス（概要説明） ・地域（コミュニティ）を捉える視点とその方法		
	授業内容	・科目目標と学習目標を説明できる。 ・地域（コミュニティ）を捉える視点とその方法を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	4限
	講義室	C406・C407		
	担当者	西岡・千田・川端		
	テーマ	アクティブラーニング（グループワーク） テーマについてディスカッションを行い、グループ毎に発表する。 テーマ：「地域で暮らす高齢者の生活と支援」		
	授業内容			

1. テーマについて意見交換ができる。
2. 地域で生活している高齢者の生活と支援を考えることができる。
(予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	西岡・千田・川端		
	テーマ	アクティブラーニング 地区踏査対象地域の情報収集と整理① (SNSを活用した量的データ収集)		
	授業内容	1. 対象地域の特性について調べることができる。 2. 地区踏査方法について調べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	西岡・千田・川端		
	テーマ	アクティブラーニング 地区踏査対象地域の情報収集と整理② (SNSを活用した量的データの調査)		
	授業内容	1. 地区踏査に必要な情報が整理できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	西岡・千田・川端		
	テーマ	アクティブラーニング 地区踏査演習の準備③ (SNSを活用した量的データ収集)		
	授業内容	1. 地区踏査に必要な情報について述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月28日(火)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	伊藤・西岡・千田・川端		
	テーマ	特別講義 1 テーマ「地域の包括的な支援・サービス提供体制について」		
	授業内容	1. 地域で生活する人々の暮らしを支える支援について説明できる。 2. 地域特性や地域に内在する力、社会資源の活用について考えることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月04日(火)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	西岡・千田・川端		
	テーマ	地区踏査ガイダンス		
	授業内容	1. 地区踏査の目的が理解できる。 2. 地区踏査のグループ目標が立案できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	西岡・千田・川端		
	テーマ	地区踏査計画書の立案①		
	授業内容	1. グループ毎に地区踏査に関する具体的な計画書が作成できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	西岡・千田・川端		
	テーマ	地区踏査計画書の立案②		
	授業内容	1. グループ毎に地区踏査に関する実現可能な計画書を完成することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年11月18日(火)	時限	3限

講義室	C401			
担当者	西岡・千田・川端			
テーマ	アクティブラーニング・地域演習＜地区踏査①＞ ※日没時刻や天候により変更有り			
授業内容	1. 地区踏査計画書を基に地域演習（地区踏査）ができる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
11	年月日（曜日）	令和 7年11月18日（火）	時限	4限
	講義室	学外演習		
	担当者	西岡・千田・川端		
	テーマ	アクティブラーニング・地域演習＜地区踏査②＞ ※帰校せず流れ解散 ※日没時刻や天候により変更有り		
	授業内容	1. グループ毎に分かれて地区踏査計画書を基に地域演習（地区踏査）ができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日（曜日）	令和 7年12月02日（火）	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	西岡・千田・川端		
	テーマ	アクティブラーニング 地区踏査のまとめ① 発表用PPT作成		
	授業内容	1. 地区踏査で体験した事、見学したことの学びについて意見交換できる。 2. 地区踏査計画書の評価ができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日（曜日）	令和 7年12月02日（火）	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	西岡・千田・川端		
	テーマ	アクティブラーニング 地区踏査のまとめ② 発表用PPTの提出		
	授業内容	1. 地区踏査で体験した事、見学したことの学びについて課題や展望などが抽出できる。 2. 地区踏査計画書の評価ができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日（曜日）	令和 7年12月09日（火）	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	西岡・千田・川端		
	テーマ	アクティブラーニング 地区踏査に関する発表会		
	授業内容	1. グループ毎に地区踏査にかかわる発表を行うことができる。 2. 地域演習（地区踏査）での学びを考察できる。 3. 授業全体の学びと学習目標の達成について述べることができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日（曜日）	令和 7年12月09日（火）	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	西岡・千田・川端		
	テーマ	アクティブラーニング 地区踏査に関する発表会		
	授業内容	1. グループ毎に地区踏査にかかわる発表を行うことができる。 2. 地域演習（地区踏査）での学びを考察できる。 3. 授業全体の学びと学習目標の達成について述べることができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
評価方法		1. 講義、地域演習（学外）、グループワークへの取り組み（主体性・積極性・勤勉性）50% ・授業開始から29分までは遅刻とする。 ・授業開始30分以降は欠席とする。 ・遅刻および早退が3回の場合は、欠席1回とする。 2. 個人レポート30% <内訳> ・外部講師の聴講レポート10% ・地区踏査ワークシート5%、地区踏査計画書5% ・まとめの学びレポート10% 3. 欠席、遅刻、態度10%		

	4. 発表10% 不合格者については、レポートの再提出を1回認める。
教科書	1. ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア：石田千絵、臺有佳、山下留理子、2025年 第8版第1刷、メディカ出版.
参考書	1. 家族看護を基盤とした地域・在宅看護論 第5版 渡辺裕子、日本看護協会出版会. 2. 地域・在宅看護実習ハンドブック、尾崎章子、中央法規. 3. コミュニティアズパートナー地域看護学の理論と実際 第2版、金井勝子、早川和生、医学書院.
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【西岡】 ・オフィスアワー 平日12：10～13：00 ・上記時間帯が難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 <連絡先> E-mail：n_hitomi@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	・グループワークが主となる演習科目のため、主体的に取り組むこと。 ・グループワークでは、協調性を大切にチームで目標達成に向けて取り組むこと。 ・復習、予習により理解を深めること。 ・レポート作成は、引用・参考文献を用いること。 ・指示された提出物は期日を厳守すること。

講義名	公衆衛生看護学概論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 千田 みゆき	看護学科教員

担当教員	千田みゆき
科目の目標	国際保健および公衆衛生との関連を踏まえて、公衆衛生看護の理念と目的を学び、行政・教育・産業分野における保健活動の展開方法を理解する。また、個人・家族・集団・組織の健康と社会環境・暮らし・生活習慣との関連、人々の健康課題への対処行動を学び、疾病予防を含む健康な地域づくりについて理解を深める。
学習の具体的な目標	1) 公衆衛生看護の定義・理念・目的、保健師の役割・倫理を述べることができる。 2) 社会の変化と共に柔軟に健康課題に対応してきた公衆衛生看護の変遷を説明できる。 3) 健康が暮らしの中で培われていくことを理解し、生活を基盤として公衆衛生看護活動を行うことの重要性を説明できる。 4) 公衆衛生看護活動の活動領域・対象の特徴、活動方法を説明できる。 5) 健康課題への対処行動を理解し、公衆衛生看護活動に関連づけて説明できる。 6) 健康を志向する地域づくりのための公衆衛生看護活動を計画できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	公衆衛生看護の定義と位置づけ		
	授業内容	1. 公衆衛生看護の定義を説明できる。 2. 公衆衛生看護の位置づけと地域看護の構成領域を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	公衆衛生看護の基本理念		
	授業内容			

1. 総合看護、継続看護の重要性を説明できる。
2. プライマリケアとヘルスプロモーションの歴史、活動戦略（唱道、能力の付与、調停）、理念（パートナーシップ、ノーマライゼーション、住民参加、エンパワメント）を説明できる。
3. Well-being、社会的公正について説明できる。
4. グローバルヘルスの視点の重要性について説明できる。（課題1）
（予習時間30分、復習時間30分）

3	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	公衆衛生看護の目的と保健師の役割		
	授業内容	1. 公衆衛生看護の目的を説明できる。 2. 公衆衛生看護活動の目標を説明できる。 3. 保健師の役割と機能（リスクマネジメント、事業化・施策化を含む）を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	保健師の倫理		
	授業内容	1. 基本的人権の尊重、権利擁護、自立支援・自己決定支援の重要性を説明できる。 2. 公的責任、社会的信用、守秘義務、個人情報の保護の重要性を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	公衆衛生看護と保健行政の変遷		
	授業内容	1. 我が国の公衆衛生看護活動と公衆衛生・保健行政の変遷を説明できる。特に、我が国の国民の健康づくり事業と健康日本21について説明できる。 2. 我が国の保健師教育の変遷を説明できる。 3. イギリス、アメリカの地域看護の変遷を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	暮らしと健康（1）		
	授業内容	1. 暮らしに関わる環境の変化（温暖化、環境汚染、災害等）、文化・社会構造の変化（家族形態、人間関係、生活様式、価値観等）が健康に影響を及ぼしていることを説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	暮らしと健康（2）		
	授業内容	1. 政治・経済・産業構造の変化（労働形態、社会格差、社会保障制度、地方分権等）や人口構成・疾病構造・科学技術の変化が健康と密接に関わっていることを説明できる。 2. WHOがあげているグローバルな視点で見た健康問題を列挙できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	公衆衛生看護活動の対象		
	授業内容	1. 公衆衛生看護活動の対象（個人、家族、近隣、集団、組織・機関、コミュニティ・地域社会、ポピュレーション）の特徴を説明できる。 2. コミュニティへの保健師活動におけるコミュニティ・エンパワメントの重要性を説明できる。また、その実現のための理論であり方法でもあるコミュニティ・アズ・パートナーモデルにおけるコアと8つの領域について説明できる。 3. 対象の特性に応じた発達段階別、健康レベル別の保健サービス（1次予防から3次予防）について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		

9	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	公衆衛生看護の活動領域		
	授業内容	1. 国内外の地域看護活動の場（行政、学校、職域、医療施設、福祉施設、国、海外）とその特性を説明できる。 2. 行政における保健師の活動内容を保健師活動指針に沿って説明できる（ソーシャルキャピタルの醸成、社会的ネットワークの構築、公助共助互助自助、ソーシャルサポートの育成を含む）。 （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	海外における地域看護活動—国際協力—		
	授業内容	1. 自然環境や文化的環境、社会情勢が健康現象やそこで展開される公衆衛生看護活動に影響を及ぼしていることを説明できる。 2. 国際保健・国際協力（二国間交流・多国間交流、二国間協力・多国間協力）として、公衆衛生看護活動が組織的に行われていることを説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	公衆衛生看護活動の方法（1）		
	授業内容	1. 情報収集、地域診断、計画策定、実施、評価、調査・研究に至る公衆衛生看護のプロセス（PDCAサイクル）を説明できる。 2. 保健師の活動に活用できる理論（コミュニティ・アズ・パートナーモデル、プリシード・プロシード・モデル等）を説明できる。 3. 保健師の活動方法（ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ、健康相談、健康教育、家庭訪問、健康診査、セルフヘルプグループの育成等）について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	公衆衛生看護活動の方法（2）		
	授業内容	1. 地区活動の必要性和アウトリーチの有効性を説明できる。 2. 地域ケアシステムにおけるコーディネーション、多職種多機関連携、および効果的効率的ケアを公平・継続的に提供することの重要性を説明できる。 3. ドナベディアンの評価モデルを説明できる。 4. 既習の公衆衛生看護活動の知識と関連づけて保健師の保健活動指針を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	健康課題に対する対処行動の支援（1）		
	授業内容	1. 健康増進行動、予防的保健行動、病気回避行動、病気対処行動について例を挙げて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	千田		
	テーマ	健康課題に対する対処行動の支援（2）		
	授業内容	1. セルフケア行動、ウェルネス行動、コンプライアンス行動について例を挙げて説明できる。 2. 既習の保健行動と公衆衛生看護活動の方法を関連づけて説明できる。 3. 組織における健康課題への対処方法を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	千田		

テーマ	健康危機に対する保健活動と健康を志向する地域づくり
授業内容	1. 地域における主な健康危機をあげることができる。 2. ヘルスプロモーションの理念に基づき、住民のエンパワメントを考えた健康な地域づくりの計画を立案し、具体的な公衆衛生看護活動の方法を述べられる。(課題2) (予習時間30分、復習時間30分)
評価方法	1. レポート課題 20% 2. 定期試験 70% 3. 出席状況、授業参加態度 10% 4. 1～3の総合評価が不合格の場合、再試験を1回行う。
教科書	保健学講座1 公衆衛生看護学概論、村畠幸代・岸恵美子編、メヂカルフレンド社
参考書	1. 国民衛生の動向、厚生労働統計協会 2. 標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論、標美奈子他著、医学書院 3. 公衆衛生看護学テキスト1 公衆衛生看護学原論 第2版、麻原きよみ他編、医歯薬出版 4. 最新 行動科学からみた健康と病気、宗像恒次著、メヂカルフレンド社
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 平日12:10～12:30 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 Email: chida@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。 レポートおよび課題はコメントをつけて返却し、授業内で解説する。 授業開始45分以降の遅刻は欠席とする。 保健師活動の基本となる知識と技術であり、3年次開講の公衆衛生看護学対象別活動論、公衆衛生看護学活動展開論、健康教育論、4年次開講の地域診断論、公衆衛生看護管理論、学校看護論、産業看護論を学ぶ上での基礎教科である。また、公衆衛生看護学実習の履修要件となる科目のため、単位が取れない場合は公衆衛生看護学実習を履修することができない。

講義名	看護管理学		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	月曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 横山 ひろみ	看護学科教員

担当教員	横山ひろみ・須田 裕子・原嶋 弥生・奥泉 孝広・横田 成子
科目の目標	質の高い看護サービスを提供するための看護管理者の役割を理解する。看護管理の理論に沿って、看護管理の考え方、看護の業務管理、人材管理、リスクマネジメントなど具体的な看護マネジメントの考え方について学ぶ。チーム医療における多職種との連携と協働や看護チームにおけるリーダーシップとメンバーシップのあり方について学習する。
学習の具体的な目標	1. 看護マネジメントとは何かを説明できる。 2. 保健医療制度の変遷と看護マネジメントとの関連について説明できる。 3. 看護管理者の役割について説明できる。 4. 多様な保健医療提供の場における他部門との連携について説明できる。 5. 安全で安心な保健医療を提供するチーム医療のメンバーとしての要件について説明できる。 6. 看護人材マネジメントについて説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	横山		
	テーマ	ガイダンス 保健医療制度の変遷と看護マネジメント		
	授業内容	1. 看護管理の歴史を保健医療制度の変遷と関連づけて説明できる。 2. 看護マネジメントについて説明できる。 3. 看護管理プロセスについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	横山		
	テーマ	組織とリーダーシップメンバーシップ		
	授業内容			

1. 組織の構造と機能について、説明できる。
 2. 医療を提供する組織の特徴について説明できる。
 3. 病院の医療安全体制と組織の取り組みについて説明できる。
 4. 看護提供体制について説明できる。
 5. 看護チームにおけるリーダーシップとメンバーシップのあり方について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	須田		
	テーマ	看護管理者の役割と病院における看護管理の実際		
	授業内容	1. 看護管理者の役割について説明できる。 2. 看護管理者の能力について説明できる。 3. 看護人材の採用、配置、育成等看護職員に関する管理について説明できる。 4. 看護サービス提供の環境作り、業務管理、院内業務の調整の実際等について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	須田		
	テーマ	チーム医療の動向と実際 多様な看護活動の場におけるマネジメント		
	授業内容	1. チーム医療における多職種との連携と協働について説明できる。 2. チーム医療における看護の役割を説明できる。 3. 訪問看護ステーションにおける看護管理について説明できる。 4. 病院から看護師が行う退院支援について説明できる。 5. 外来における看護活動と地域との連携について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	原嶋		
	テーマ	看護の経済的評価		
	授業内容	1. 診療報酬点数にみられる看護の経済的評価について説明できる。 2. 看護必要度の評価について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	横田		
	テーマ	看護における医療安全管理(感染・情報管理)		
	授業内容	1. 医療安全における感染対策の必要性について説明できる。 2. 院内感染の予防と感染発生時の対応について説明できる。 3. 看護に必要な情報の種類と特徴について説明できる。 4. 看護に必要な病棟内情報管理について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	奥泉		
	テーマ	看護の質保証		
	授業内容	1. 看護の質保証のための看護対象者(患者等)へのケア管理について説明できる。 2. 看護ケアの質保証に必要なマネジメントを説明できる。 3. 看護の質保証とJCIとの位置づけについて説明できる。 4. 病院機能評価における看護の質評価について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	横山		
	テーマ	看護人材開発の動向		
	授業内容			

1. 新人看護師研修支援について説明できる。
 2. クリニカルラダーの活用について説明できる。
 3. 看護職における継続教育について説明できる。
 4. 看護専門職としてのキャリア形成について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

評価方法	1. 出席状況、授業態度、レポートを総合的に判断して評価する。 2. 評価が合格点に満たなかった場合は、追加課題を指示し再評価する。なお、再評価は1回のみとする。
教科書	系統看護学講座、専門分野 看護の統合と実践〔1〕看護管理、上泉和子他、医学書院、2025.
参考書	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔1〕看護学概論、茂野香おる他、医学書院、2024. 2. 看護管理学 自律し協働する専門職の看護のマネジメントスキル 改訂第3版、手島恵編、南江堂、2023. 3. 看護管理学習テキスト第3版 第4巻 組織管理論 2025年版、井部俊子監、日本看護協会出版会.
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問などはオフィスアワーを利用すること。 【横山】 金曜日の16時30分から17時30分 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 E-mail : yoko_h@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	1. 授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行う。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛ける。 2. 課題の提出が指示されている場合は、指定された期日を厳守する。課題の内容は評価対象とする。また、各課題のレポートに対し、コメントを返す。

講義名	家族看護学		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 山路 真佐子	看護学科教員

担当教員	山路真佐子・土師しのぶ
科目の目標	我が国の家族看護の課題を人口動態、社会文化的視点から検討する。さらに、家族看護に関する諸理論、アセスメント法、支援方法を学び、看護の対象および場の特性に応じたより良い家族看護の方法を考えることができる。
学習の具体的な目標	1) 家族とは何かを説明できる。 2) 社会における家族の現況を人口動態、社会文化的側面から述べることができる。 3) 現代における家族の健康課題を説明できる。 4) 家族看護の対象と場の特性を説明できる。 5) 機能的側面から家族の健康を説明できる。 6) 家族のセルフケア機能とそれを高めるための家族への健康支援について説明できる。 7) 家族看護の実践を家族発達理論、家族ストレス対処理論、家族システム理論から説明できる。 8) 家族看護アセスメントと看護過程の要点を述べることができる。 9) 家族看護の看護方法の要点を述べることができる。 10) 家族看護における看護職の役割を述べることができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	山路		
	テーマ	家族とは		
	授業内容	1. 家族の定義や形態など、家族とは何かについて説明できる。 2. 社会における家族の現況を人口動態、社会文化的側面から説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	山路		
	テーマ	家族の健康課題と家族看護の特性		
	授業内容	1. 現代における家族の健康課題を挙げることができる。 2. 家族の健康課題の特徴から、家族看護の対象や場の特性を挙げることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	山路		
	テーマ	家族の機能		
	授業内容	1. 家族の機能を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	山路		
	テーマ	家族の健康、健康問題への家族の対応能力		
	授業内容	1. 一単位としての家族の健康を説明できる。 2. 健康問題への家族の対応能力について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	土師		
	テーマ	家族看護に関する理論1(個人の発達課題、家族の発達課題)		
	授業内容	1. 個人の発達課題が説明できる。 2. 家族の発達課題が説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	土師		
	テーマ	家族看護に関する理論2(家族システム理論)		
	授業内容	1. 家族システム理論を説明できる。 2. 上述の理論に基づいて家族看護の実践を考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	土師		
	テーマ	家族看護に関する理論3(家族ストレス対処理論)		
	授業内容	1. 家族ストレス対処理論を説明できる。 2. 家族ストレス対処理論に基づいて家族看護の実践を考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	土師		
	テーマ	家族のアセスメント、看護過程		
	授業内容	1. 家族アセスメント、家族看護の看護過程について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	土師		
	テーマ	家族看護の方法		
	授業内容	1. 家族への支援方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	土師・山路		
	テーマ	事例に即した家族のアセスメント(1)		
	授業内容			

1. 具体的な事例（①）を用いて、家族のアセスメントについて考えることができる。 2. グループワークを行い、意見交換することで家族のアセスメントについて考察できる。 （予習時間30分、復習時間30分）				
11	年月日（曜日）	令和 7年06月20日（金）	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	土師・山路		
	テーマ	事例に即した家族のアセスメント（2）		
	授業内容	1. 具体的な事例（①）を用いて、家族のアセスメントについて考えることができる。 2. グループワークを行い、意見交換することで家族のアセスメントについて考察できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日（曜日）	令和 7年06月27日（金）	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	土師・山路		
	テーマ	事例に即した家族看護の方法		
	授業内容	1. 具体的な事例（①）を用いて、家族看護の方法について考えることができる。 2. グループワークを行い、意見交換することで家族看護の方法について考察できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日（曜日）	令和 7年07月04日（金）	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	土師・山路		
	テーマ	事例に即した家族のアセスメント（3）		
	授業内容	1. 具体的な事例（②）を用いて、家族のアセスメントについて考えることができる。 2. グループワークを行い、意見交換することで家族のアセスメントについて考察できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日（曜日）	令和 7年07月11日（金）	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	土師・山路		
	テーマ	事例に即した家族のアセスメント（4）		
	授業内容	1. 具体的な事例（②）を用いて、家族のアセスメントについて考えることができる。 2. グループワークを行い、意見交換することで家族のアセスメントについて考察できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日（曜日）	令和 7年07月18日（金）	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	山路・土師		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 家族のアセスメントについて考えることができる。 2. 家族看護における看護職の役割について述べるることができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
評価方法		出席状況・授業態度・課題・レポート等（30%）、定期試験（70%）を総合的に判断して評価する。 授業開始45分以降の遅刻は欠席とする。 遅刻3回は欠席1回とみなす。 レポートの内容及び書式等の詳細は、授業で指示する。また、レポートに対し、コメントを返す。 評価が不合格の場合、再試験を1回行う。		
教科書		1. 家族看護学 ―理論と実践― 第5版、鈴木和子・渡辺裕子著、日本看護協会出版会。		
参考書		系統看護学講座 家族看護学第2版、上別府圭子他著、医学書院。 家族看護学 改定第3版、山崎あけみ・原礼子編、南江堂。 家族看護学 家族のエンパワーメントを支えるケア、中野彩美・瓜生浩子編、メディカ出版。 ○その他の参考書；授業で紹介する。		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【山路】 月・火曜日16時30分～17時30分 E-mail：yamaji@saitama-med.ac.jp 【土師】 月・火曜日16時30分～17時30分		

	E-mail : hashi_s@saitama-med.ac.jp 【山路】 【土師】 ; 上記以外は事前にメールにてアポイントメントをとること。
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当部分を予習しておくこと。 また、演習後にはレポート作成のための教科書での確認を怠らないこと。 課題及びレポートは提出期限を厳守してください。 グループワークには主体的に参加してください。

講義名	災害看護学		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	火曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員

職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 村田 美穂	看護学科教員

担当教員	村田 美穂
科目の目標	災害が社会や環境の変化、地域の人々の暮らしと密接に関係しながら、人々の生命や生活に影響を及ぼすことを理解し、災害サイクルや被災者のニーズに合わせた看護、看護の役割について理解する。
学習の具体的な目標	1) 災害や災害看護に関する基礎的知識を説明できる。 2) 災害に関連する社会の仕組みや対策について説明できる。 3) 自主防災や地域防災について検討し、防災・減災対策について説明できる。 4) 災害が及ぼす人々への健康や生活への影響について説明できる。 5) 災害サイクルや災害看護活動の場、対象に応じた看護について説明できる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年04月08日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	村田		
	テーマ	オリエンテーション 災害および災害看護に関する基礎知識		
	授業内容	1. 災害の定義や分類、災害サイクルについて説明できる。 2. 災害看護の定義や基本、災害看護倫理について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	村田		
	テーマ	災害の種類や健康被害 災害に関連する法制度 災害時の支援体制		
	授業内容	1. 災害の種類と被害、特徴的な疾病について説明できる。 2. 災害に関連する法制度や被災者支援体制について説明できる。 3. 災害時の医療体制や支援体制について説明できる。 4. 災害時の情報システムや情報の活用について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	村田		
	テーマ	自主防災 防災・減災マネジメント		
	授業内容	1. 防災・減災の概念とその意義を説明できる。 2. 危機管理や事業継続計画(BCP)について説明できる。 3. 地域や組織の防災・減災対策の実際を説明できる。 4. 各自治体によるハザードマップを検索し自主防災について検討できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	村田		
	テーマ	災害医療活動の特徴 災害サイクルにおける看護(急性期)		
	授業内容	1. 災害時の体系的対応の原則、概念について説明できる。 2. 災害急性期における看護について説明できる。 3. トリアージの意味や区分、方法について説明できる。 4. 事例を基に、START法を用いてトリアージが行える。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	村田		
	テーマ	災害サイクルに応じた看護 (中長期、復興期)		
	授業内容	1. 避難所における被災者のニーズや特有の健康障害とその看護について説明できる。 2. 応急仮設住宅等における被災者のニーズや特有の健康障害とその看護について説明できる。 3. 避難所または応急仮設住宅での事例を基に、必要な看護について検討できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	村田		
	テーマ	配慮を必要とする人への支援		
	授業内容	1. 災害時要配慮者や避難行動要支援者について説明できる。 2. 災害時要配慮者や避難行動要支援者への制度や対策の実際について説明できる。 3. 災害が災害時要配慮者へ及ぼす影響やそのための看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	村田		
	テーマ	被災者と支援者の心理、心のケア		
	授業内容	1. 災害時における被災者や遺族の心理について説明できる。 2. 災害時における心のケアとその看護について説明できる。 3. 災害時における支援者の心理やストレスマネジメントについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	村田		
	テーマ	特殊災害への対応と課題 災害時の国際援助		
	授業内容	1. 放射線災害や感染症の影響や対応、課題について説明できる。 2. 国際救援活動や看護活動の実際について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		1. 定期試験の成績(80%)、課題や机上演習など授業への参加度(20%)などを総合的に評価します。 2. 定期試験終了後の再試験は1回のみ行います。		
教科書		・看護の統合と実践③ 災害看護：酒井明子他編，メディカ出版，2022.		

参考書	・看護の統合と実践② 災害看護：小井土雄一他編，メヂカルフレンド社，2020.
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 オフィスアワー：授業後30分、またはメールでアポイントをとってください。 メールアドレス：村田 murata_m@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページや授業資料等で予習し、授業後には学習内容の見直しを行ってください。 ニュースや自治体のホームページなどを参考にし、学習内容の理解を深めてください。

講義名	感染看護学		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	金曜日	代表時限	5限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員

職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 櫻井 繭子	看護学科教員

担当教員	櫻井 繭子・吉原みき子・鴨下 文貴・小野 誠
科目の目標	医療施設における感染・感染症のリスクを学び、看護ケアにおける感染防止のための知識と技術について学ぶ。 感染のリスクがある患者や侵襲的処置に対する感染リスク低減のための方法および看護について学ぶ。
学習の具体的な目標	授業形態：講義 1. 医療施設における感染・感染症のリスクおよび感染制御の重要性が説明できる。 2. 感染症の診断に係わる看護師の役割が説明できる。 3. 看護職に必要な基本的となる感染防止の知識と技術が説明できる。 4. 職業感染として問題となる主な感染症と予防策が説明できる。 5. 易感染状態のある患者や侵襲的処置をうける患者の感染リスク低減のための予防策が説明できる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	吉原		
	テーマ	医療施設における感染・感染症のリスク		
	授業内容	1. 医療施設における医療関連感染、多剤耐性菌の問題について説明できる。 2. 「感染」と「感染症」の定義、違いが説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	吉原		
	テーマ	感染症の検査・診断		
	授業内容	1. 感染症の診断に係わる看護師の役割が説明できる。 2. 感染症の診断に必要な検査、検体の採取方法について説明できる。 3. 感染症の診断に必要な検査時の看護が説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	5限

講義室		C401		
担当者		小野		
テーマ		患者の看護（1）		
授業内容		1. 標準予防策とは何かを説明できる。 2. 標準予防策の項目と内容が説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日（曜日）	令和 7年06月20日（金）	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	鴨下		
	テーマ	患者の看護（2）		
	授業内容	1. 感染経路別予防策とは何かを説明できる。 2. 感染経路別予防策の具体的な内容が説明できる。 3. 「洗浄」・「消毒」・「滅菌」の定義と方法が説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日（曜日）	令和 7年06月27日（金）	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	鴨下		
	テーマ	患者の看護（3）		
	授業内容	1. 職業感染として問題となる主な感染症が説明できる。 2. 血液由来感染症を予防するための具体的な方法が説明できる。 3. 結核患者に対する具体的な予防策が説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日（曜日）	令和 7年07月04日（金）	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	小野		
	テーマ	患者の看護（4）		
	授業内容	1. 「予防接種」、「ワクチン」の定義と目的、分類が説明できる。 2. ワクチンで予防できる感染症が説明できる。 3. 感染症症状を呈する患者への看護が説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日（曜日）	令和 7年07月11日（金）	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	櫻井		
	テーマ	患者の看護（5）		
	授業内容	1. 易感染状態にある患者の感染のリスクが説明できる。 2. 易感染状態にある患者の感染予防のための具体的な方法が説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年07月18日（金）	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	櫻井		
	テーマ	患者の看護（6）		
	授業内容	1. 医療器具関連感染とは何かを説明できる。 2. 侵襲的処置に伴う感染のリスクと感染予防のための具体的な方法が説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
評価方法		1. 後期定期試験（多肢選択式）の成績、出席状況、授業態度を総合して評価する。 2. 本試験不合格者については、再試験（1回）を行う。 3. 授業開始45分以降の入室は欠席となる。 4. 定期試験の受験資格は授業時間数2/3以上の出席とする（学生便覧参照）。		
教科書		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[11] アレルギー 膠原病 感染症、岩田健太郎他、医学書院		
参考書		なし		
連絡先/オフィスアワー		授業等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 平日12時10分～12時30分 ・メールアドレス m_sakurai@saitama-med.ac.jp ・事前にメールでアポイントメントをとること。		

履修上の注意、履修要件

- 各自で授業のテーマ・内容を確認し、事前に教科書の該当ページを予習する。
- 授業後は復習し理解度の確認を行う。
- 授業内容や関連する分野に興味関心をもち、図書館等で調べ理解を深める。

講義名	看護過程論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年後期		

担当教員

職種	氏名	所属
看護師	◎ 大澤 優子	看護学科教員

担当教員	大澤 優子・関根 由紀子・鳥海美穂子
科目の目標	看護過程の意義と構成する要素を理解し、ステップに沿って看護過程の展開を学習する。 加えて、看護理論を踏まえた看護過程の展開の特徴を学習する。
学習の具体的な目標	1. 看護過程が対象の問題解決過程であることを説明できる。 2. 看護過程を用いることの意義を説明できる。 3. 看護過程を構成する要素を説明できる。 4. アセスメント、問題の明確化、看護計画、実施、評価のステップに沿って看護過程が展開できる。 5. 事例を通して、ヴァージニア・ヘンダーソンの看護論に基づく看護過程の展開の視点が述べられる。 4. 5では、グループワーク、ディスカッション及び発表を通じて理解を深める。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	関根・大澤・鳥海		
	テーマ	看護過程とは		
	授業内容	1. 看護過程を用いることの意義を説明できる。 2. 看護過程の構成要素とその意味を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	4限
	講義室	C301・C305・C306		
	担当者	大澤・関根・鳥海		
	テーマ	ヴァージニア・ヘンダーソンの看護論		
	授業内容	1. ヴァージニア・ヘンダーソンの看護論について、その概要を述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	5限
	講義室	C301・C305・C306		

担当者	大澤・関根・鳥海			
テーマ	ヴァージニア・ヘンダーソンの看護論と看護過程			
授業内容	1. 講義後にアクティブラーニングを通じて、ヴァージニア・ヘンダーソンの看護論に基づいた看護過程についての概要を述べるができる。 2. ヴァージニア・ヘンダーソンの看護論に基づいて情報の整理が行える。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年10月28日(火)	時限	4限
	講義室	C301・C305・C306		
	担当者	大澤・関根・鳥海		
	テーマ	看護過程の展開1ー① 情報の整理		
	授業内容	講義を受けた後、事例を使用して個人ワークを行う。 1. 必要な情報を収集しそれを整理して記載できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月04日(火)	時限	4限
	講義室	C301・C305・C306		
	担当者	大澤・関根・鳥海		
	テーマ	看護過程の展開1ー② 情報の整理		
	授業内容	事例を使用してアクティブラーニング(個人ワークを基にグループディスカッション)を行う。 1. 必要な情報を収集しそれを整理して記載できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	4限
	講義室	C301・C305・C306		
	担当者	大澤・関根・鳥海		
	テーマ	看護過程の展開1ー③ 情報の整理		
	授業内容	事例を使用してアクティブラーニング(グループディスカッション)を行う。 1. 必要な情報を収集しそれを整理して記載できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	5限
	講義室	C301・C305・C306		
	担当者	大澤・関根・鳥海		
	テーマ	看護過程の展開2ー① 情報の分析		
	授業内容	講義を受けた後、事例を使用して個人ワークを行う。 1. 情報を分析した内容を記載できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	4限
	講義室	C301・C305・C306		
	担当者	大澤・関根・鳥海		
	テーマ	看護過程の展開2ー② 情報の分析		
	授業内容	事例を使用して個人ワーク・グループワークを行う。 1. 情報を分析した内容を記載できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	3限
	講義室	C301・C305・C306		
	担当者	大澤・関根・鳥海		
	テーマ	看護過程の展開2ー③ 情報の分析		
	授業内容	アクティブラーニング(グループディスカッション)を通じて自己の分析内容を検討する 1. 情報を分析した内容について、グループでディスカッションを行い、その結果を踏まえて自己のワークを修正できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	4限

講義室	C301・C305・C306			
担当者	関根・大澤・鳥海			
テーマ	看護過程の展開3-① 問題の明確化(関連図)			
授業内容	講義を受けた後、事例を使用して情報を関連付け関連図に記載する個人ワークを行う。 1. 誘因・原因を踏まえ、関連付けた情報を記載できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	4限
	講義室	C301・C305・C306		
	担当者	関根・大澤・鳥海		
	テーマ	看護過程の展開3-② 問題の明確化		
	授業内容	講義を受けた後、事例を使用して情報を関連付け関連図に記載する個人ワークを行う。 1. 誘因・原因を踏まえ、関連付けた情報を記載できる。 2. 関連付けた情報から看護問題を明確化し記載できる。 3. 看護問題に優先順位をつけ記載できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	4限
	講義室	C301・C305・C306		
	担当者	関根・大澤・鳥海		
	テーマ	看護過程の展開3-③ 問題の明確化		
	授業内容	事例を使用して作成した関連図についてアクティブラーニング(個人ワーク・グループディスカッション)を行う。 1. 誘因・原因を踏まえ、情報を関連付けた情報を記載できる。 2. 対象の個性性をふまえて看護問題を明確化し記載できる。 3. 看護問題に優先順位をつけ記載できる。 ディスカッションを通じて、自己の関連図を検討しブラッシュアップした内容を記載できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	5限
	講義室	C301・C305・C306		
	担当者	関根・大澤・鳥海		
	テーマ	看護過程の展開4-① 看護計画の立案		
	授業内容	講義を受けた後、事例を使用して個人ワークを行う。 1. 看護問題に優先順位をつけ記載することができる。 2. 個性性に応じた期待される結果を記載できる。 3. 対象の個性性をふまえて看護問題を明確化し記載できる。 4. 個性性に応じた看護計画を記載できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	4限
	講義室	C301・C305・C306		
	担当者	関根・大澤・鳥海		
	テーマ	看護過程の展開4-② 看護計画の立案		
	授業内容	事例を使用して立案した看護計画についてアクティブラーニング(個人ワーク・グループディスカッション)を行う。 グループ毎に作成した看護計画を発表し意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	関根・大澤・鳥海		
	テーマ	看護過程の展開5-① まとめ 実施・評価		
	授業内容	1. 実施・評価の方法を述べられる。 2. 看護過程の考え方と方法を述べられる。 3. 看護過程を活用することの意義を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	出席状況、課題レポート、グループワークへの参加状況、授業態度などを総合的に判断して評価する。 合格基準に達していない場合は、課題の再提出を課す。
教科書	1. 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 [第4版]、秋葉公子他著、NOUVELLE HIROKAWA. 2. 看護の基本となるもの【新装版】、ヴァージニア・ヘンダーソン著、湯槇ます・小玉香津子訳、日本看護協会出版会. 3. 系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ、茂野香おる他著、医学書院。(基礎看護技術で使ったものと同一)
参考書	1. しっかり身につく看護過程、黒田裕子著、照林社. 2. 看護過程と看護診断、ロザリнда・アルファロールフィーヴァ著、本郷久美子監訳、医学書院.
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 大澤 火曜日 16:00～18:00 E-mail: osawa@saitama-med.ac.jp 関根 木曜日 16:00～18:00 E-mail: sekiney@saitama-med.ac.jp 鳥海 木曜日 16:00～18:00 E-mail: tori_m@saitama-med.ac.jp 上記の時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、授業終了後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。また、授業へ主体的な参加をすること。課題がでるときは、授業までにきちんとやっておくこと。 1. 遅刻、早退、欠席をしないように注意する。 2. 演習記録・課題レポートの提出が提示されている場合は、指定された期日を厳守する。演習記録・課題レポートの内容および授業・グループワークの参加態度は評価対象とする。

講義名	フィジカルアセスメント		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員

職種	氏名	所属
看護師	◎ 本谷 久美子	看護学科教員

担当教員	本谷久美子・辻 美隆・嶋崎 晴雄・國澤 洋介・小関 要作・塩見 直子・丸井 明美
科目の目標	さまざまな健康問題のある人へ適切な看護を行うために、看護の視点から、対象の身体状況を把握することができる。また、身体情報の収集を修得し、その解釈の理解を深めることができる。
学習の具体的な目標	1) フィジカルアセスメントの基本技術と留意点について説明できる。 2) バイタルサインや身体計測のフィジカルアセスメントを理解し、実施できる。 3) 器官系統別（胸部、腹部、神経系、筋・骨格系）のフィジカルアセスメントを理解し、実施できる。 4) 高齢者のフィジカルアセスメントについて説明できる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	本谷		
	テーマ	看護におけるフィジカルアセスメントとは／フィジカルアセスメントの基本技術（医療面接、視診・打診・触診・聴診）【講義】		
	授業内容	1. 看護におけるフィジカルアセスメントについて説明できる。 2. フィジカルアセスメントの基本技術の特徴と、留意点について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	2限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	本谷・塩見		
	テーマ	フィジカルアセスメントの基本技術（医療面接）【演習】		
	授業内容	1. 医療面接についてグループで検討し、実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
3	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	本谷		

テーマ	バイタルサイン・身体計測のフィジカルアセスメント【講義】			
授業内容	1. バイタルサイン・身体計測からのフィジカルアセスメントについて説明できる。 2. バイタルサインや身体計測の実施における留意点について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	本谷・塩見		
	テーマ	バイタルサインのフィジカルアセスメント【演習】		
	授業内容	1. バイタルサインのフィジカルアセスメントが実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	5限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	本谷・塩見		
	テーマ	バイタルサインのフィジカルアセスメント【演習】		
	授業内容	1. バイタルサインのフィジカルアセスメントが実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	辻		
	テーマ	胸部のフィジカルアセスメント(1)(心臓)【講義】		
	授業内容	1. 心音の正常と異常をアセスメントすることができる。 2. 異常心音の原因をアセスメントすることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	辻		
	テーマ	胸部のフィジカルアセスメント(2)(肺)／腹部のフィジカルアセスメント【講義】		
	授業内容	1. 胸部のフィジカルアセスメントとその留意点について説明できる。 2. 腹部のフィジカルアセスメントとその留意点について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	3限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・本谷・塩見		
	テーマ	胸・腹部のフィジカルアセスメント【演習】		
	授業内容	1. 胸部のフィジカルアセスメントが実施できる。 2. 腹部のフィジカルアセスメントが実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	4限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・本谷・塩見		
	テーマ	胸・腹部のフィジカルアセスメント【演習】		
	授業内容	1. 胸部のフィジカルアセスメントが実施できる。 2. 腹部のフィジカルアセスメントが実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	神経系のフィジカルアセスメント【講義】		
	授業内容	1. 神経系のフィジカルアセスメントとその留意点について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	2限
	講義室	B402		

担当者	嶋崎			
テーマ	神経系のフィジカルアセスメント【演習】			
授業内容	1. 神経系のフィジカルアセスメントが実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
12	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	2限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	國澤・小関		
	テーマ	筋・骨格系のフィジカルアセスメント【講義・演習】		
	授業内容	1. 筋・骨格系のフィジカルアセスメントとその留意点について説明できる。 2. 筋・骨格系のフィジカルアセスメントが実施できる(関節可動域、徒手筋力検査など)。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	丸井		
	テーマ	高齢者のフィジカルアセスメント【講義】		
	授業内容	1. 高齢者のフィジカルアセスメントとその留意点について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	4限
	講義室	C401・C405		
	担当者	本谷・塩見		
	テーマ	事例検討・まとめ【講義・演習】		
	授業内容	1. 事例から情報を収集し、情報の意味、緊急性の有無、必要な観察とケアについてアセスメントできる。 2. 看護におけるフィジカルアセスメントの重要性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	5限
	講義室	C401・C405		
	担当者	本谷・塩見		
	テーマ	事例検討・まとめ【講義・演習】		
	授業内容	1. 事例から情報を収集し、情報の意味、緊急性の有無、必要な観察とケアについてアセスメントできる。 2. 看護におけるフィジカルアセスメントの重要性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 定期試験とレポートなどを総合して評価します。 2. 定期試験終了後の再試験は1回のみ行います。 3. 遅刻限度を30分とし、それ以降は欠席扱いとします。 4. 提出レポートについてはフィードバックを行います。			
教科書	1. 看護がみえる. vol13 フィジカルアセスメント. メディックメディア. 2019.			
参考書	授業にて適宜紹介します。			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【本谷】C620研究室で12:10~13:00の間受け付けます。 メールアドレスは学生便覧参照のこと。			
履修上の注意、履修要件	・該当部分を予習し、教科書で内容の意味を理解しておいてください。 ・授業後には教科書などでの復習を怠らないでください。			

講義名	リハビリテーション看護論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	火曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年後期		

担当教員

職種	氏名	所属
看護師	◎ 粟生田 友子	看護学科教員

担当教員	粟生田友子・西岡ひとみ・國澤洋介
科目の目標	医療の高度化により、人口の高齢化や疾病構造の変化のもとで、急性期から生活期・終末期へとリハビリテーションが継続され、医療の場や在宅での生活など、様々な場面でリハビリテーションの必要性が高まっている。そこで、リハビリテーションの概念、歴史、障害を持つことの意味、生活への影響について学ぶ。それを基に、リハビリテーションの概念である人間の基本的生活の保障、ノーマライゼーション、QOLの観点からリハビリテーションにおける看護の対象の理解と看護の方法を学び、リハビリテーションにおける多職種との連携とそこでの看護の役割を考える。 さらに、現在、拡大しつつあるリハビリテーションの分野について学修し、障害発生後の移行行く生活機能の状態、および発症後の時期により必要な看護支援を検討する。
学習の具体的な目標	1) リハビリテーション医療およびリハビリテーション看護の定義・歴史を説明できる。 2) リハビリテーション医療に携わる様々な専門職の役割と機能を学習し、その中での看護師の役割を説明できる。 3) WHOのICFモデルをもとに、リハビリテーションを必要とする人の生活機能の特徴と必要となる生活支援を広く学修する。 4) 身体機能の変化に伴う新たな身体機能獲得のための日常生活自立支援の必要性を、病期（急性期・回復期・生活期・終末期）および療養の場のそれぞれの観点から理解し、リハビリテーション看護の視点を学習する。 5) 障害分類に基づいて、肢体不自由、知的障害、内部障害、感覚器障害等の障害の特徴とケアについて説学習する。 6) 先天性の障害、小児期から老年期までの各期におけるリハビリテーション看護の現況を学習し、成長発達段階に基づいて、リハビリテーション看護の必要性と支援について理解する。 7) リハビリテーション医療の最近の動向と関心のあるトピックスについて知見を集め、概要を説明できる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	コースオリエンテーション リハビリテーション概論：リハビリテーション看護とは		
	授業内容			

1. リハビリテーション医療および看護の定義、歴史について概観し、リハビリテーション看護の射程と必要な視点を述べられる。
2. ICFモデルを学習し、障害の概念、生活機能、ならびにリハビリテーションの関係について説明できる。
3. リハビリテーション看護を展開する上で、ICFモデルの位置づけ、その活用方法を述べられる。
4. 多様なリハビリテーション医療の現況と医療チームの連携について説明できる：心臓・腎臓疾患のリハビリテーション、呼吸器リハビリテーション、がんリハビリテーション等の現況を捉えることができる。
5. PT/OT/ST/MSW等の役割と多職種連携について説明できる。
6. 障害の発生から回復過程の各期におけるリハビリテーションの特徴と看護の機能が説明できる。
(予習時間30分、復習時間30分)

2	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	リハビリテーション看護援助論(1)：急性期リハビリテーション		
	授業内容	1. 急性期における重篤化回避、合併症予防がその後の身体機能回復、生活への影響について説明できる。 2. 急性期における、リハビリテーション栄養の必要性と支援方法について説明できる。 3. 急性期から進めていく看護の援助方法について検討し、看護師の役割を述べられる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	國澤		
	テーマ	リハビリテーション分野における多職種の機能と協働		
	授業内容	1. 多職種の中でも理学療法士が行う支援と、チームの中での機能について説明できる。 2. リハビリテーションが必要な人の身体機能・活動・社会参加の評価指標について説明できる。 3. 多職種が実施している身体機能の維持・向上のための支援について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月28日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	リハビリテーション看護援助論(2)：回復期リハビリテーション		
	授業内容	1. 患者のセルフケアの査定と多様な自立のありようについて説明できる。 2. 回復期において生活機能障害が生じている要因を説明できる。 3. 生活機能障害による心理社会的体験を発達への影響を含めて説明できる。 4. 生活機能障害による活動・参加への影響を理解し回復期における援助方法を説明できる。 5. 事例を通して、回復期における生活機能を高めていく看護師からの支援方法について提案できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月04日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	西岡・粟生田		
	テーマ	リハビリテーション看護援助論(3)：生活期・終末期リハビリテーション		
	授業内容	1. 人間の基本的な生活やQOLを考慮して、生活期におけるリハビリテーション看護の目標について説明できる。 2. 障害による家族への影響、社会における障害の捉え方の移り行きについて説明できる。 3. 在宅における日常生活活動の拡大を支援する方法を説明できる。 4. 社会資源の活用について検討できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	西岡・粟生田		
	テーマ	リハビリテーション看護援助論(4)：さまざまな障害の状況における終末期ケア		
	授業内容	1. 終末期リハビリテーションについて説明できる。 2. リハビリテーションを必要とする人々のQOLについて説明できる。 3. 在宅における重度障害者、高齢者、不可逆的に進行していく障害のある人々への支援について説明できる。 4. 法的な体系に基づいて、社会資源の活用、支援の体制について検討し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月18日(火)	時限	1限
	講義室	C401		

担当者		粟生田		
テーマ		リハビリテーション看護援助論（5）：認知機能／高次脳機能障害リハビリテーション		
授業内容		1. 認知機能障害のある人のリハビリテーションの特徴について、説明できる。 2. 高次脳機能障害の症状である注意障害、社会的行動障害、失語・失行・半側空間無視等への援助方法について説明できる。 3. 事例の障害の状況を理解し、自立への方法を検討できる。 4. 事例のセルフケアの状況に合わせた支援の方法を検討できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年11月25日（火）	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	粟生田		
	テーマ	リハビリテーション看護援助論（6）感覚器障害のリハビリテーション		
	授業内容	1. 感覚器障害のある人の生活への適応について説明できる。 2. 視覚障害、コミュニケーション障害等に対する援助方法を説明できる。 3. 具体的な援助方法を体験し、対象にとっての障害体験の意味を考察できる。 4. このコースのまとめとして以下について簡潔に要約できる。 障害、受傷、ICFモデル、多職種連携、社会環境、エンパワーメント、レジリエンス、セルフケア、ADL訓練、TDL訓練、自立、補助具、ロボットの活用、障害者スポーツによる障害者の可能性等について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
評価方法		1. 定期試験80%、レポート小テスト20%、出席状況と参加度を総合して評価します。 2. 定期試験終了後の再試験は1回のみ行います。 3. 遅刻限度を30分とし、それ以降は欠席扱いとします。		
教科書		新体系看護学全書別巻 リハビリテーション看護：落合芙美子監修・粟生田友子編集, メヂカルフレンド社, 2024		
参考書		授業に必要な資料は講義ごとに配布する。		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはできるだけオフィスアワーを利用してください。 【粟生田】C621研究室で12:10～13:00、および16:30以降、その他、在室ならば直接受けつけます。 【西岡】C615研究室で12:10～13:00、および16:30以降、その他、在室ならば直接受けつけます。 あるいは、メールで連絡をいれたあと、約束の日を取りつけてください。対応します。 メールアドレス：粟生田 aohda@saitama-med. ac. jp 西岡 n_hitomi@saitama-med. ac. jp		
履修上の注意、履修要件		・ 授業内容は障害の発生プロセスを軸に組んでいますが、障害の種類も併せて組み込んでいます。講義内容には連続性がありますので、必ず前の講義を復習して臨んでください。 ・ 該当部分を予習し、教科書の内容を理解しておいてください。 ・ 授業後には資料を再確認しておいてください。 ・ 8コマというコマ数では十分に盛り込めない内容が入っています。関心がある方は、担当教員にお尋ねください。		

講義名	生殖医療と看護		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	月曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	2年後期		

担当教員

職種	氏名	所属
助産師	◎ 大森 智美	看護学科教員

担当教員	大森 智美・藤村 博恵・加藤 順子・梶原 健
科目の目標	現代社会において生殖医療は急速に進歩しており、それに伴って多種多様の複雑な倫理的問題を生み出している。その現状を理解し、看護の役割について考えることができる。
学習の具体的な目標	1) 現代における生殖医療に関してどのような問題があるか説明できる。 2) 生殖医療に関する原因・検査・治療について説明できる。 3) 生殖医療を受ける対象者（不妊症を中心に）の心理プロセスについて説明できる。 4) 生殖医療に関する倫理問題を説明することができる。 5) 生殖医療における看護の役割について説明できる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	大森		
	テーマ	生殖医療の現状と看護①：人工妊娠中絶		
	授業内容	1. 生殖医療について説明できる。 2. 人工妊娠中絶における問題点と看護師の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 8年01月06日(火)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	梶原		
	テーマ	特別講義①：現代の生殖医療とその課題		
	授業内容	1. 不妊治療を中心とした生殖医療の現状について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	3限
	講義室	C305		
	担当者	大森		

テーマ	生殖医療の現状と看護②：出生前診断			
授業内容	1. 出生前診断における倫理的問題を説明できる。 2. 出生前診断における看護師の役割を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	大森		
	テーマ	生殖医療の現状と看護 ③：不妊治療		
	授業内容	1. 不妊治療について説明できる。 2. 不妊治療における対象者の心理プロセスについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	3限
	講義室	C305		
	担当者	加藤		
	テーマ	特別講義②：不妊治療と看護		
	授業内容	1. 不妊治療中の患者の心理社会的特徴を述べるができる。 2. 不妊治療に伴う患者の看護について述べるができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 8年01月15日(木)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	大森・藤村		
	テーマ	グループワーク①		
	授業内容	1. DVD・文献の中からテーマとする生殖医療に関する問題を選択する。 2. テーマとした問題について看護の役割と今後の課題について話し合う。 3. 議論の過程を振り返りながら、グループワークの結果をまとめ、報告する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	大森・藤村		
	テーマ	グループワーク②		
	授業内容	〃		
8	年月日(曜日)	令和 8年01月20日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	大森・藤村		
	テーマ	グループワーク③		
	授業内容	〃		

評価方法	1. 評価はレポートによって行います。 レポートの内容および期限等については授業で伝えます。 また、課題レポートに対しコメントを返します。 2. 再試験は1回のみ行います(レポートの再提出)。
教科書	授業毎に、内容に沿った資料を配布する。 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[2] 母性看護学各論、森恵美他著、医学書院
参考書	1. 生殖医療の衝撃、石原理著、講談社現代新書 2016 2. 子どもを選ばないことを選ぶ、大野明子編著、メディカ出版 2003 3. 不妊を語る―19人のライフストーリー、白井千晶著、海鳴社 2012 4. AIDで生まれるということ、非配偶者間人工授精で生まれた人の自助グループ・長沖暁子著、萬書房 2014
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【大森】 月曜日・金曜日の3・4限 上記の時間帯以外で面接を希望する者は、メールにてアポイントメントをとること。 E-mail：t_oomr@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	余暇を利用して図書館で参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。 生殖医療や倫理問題に関する書籍や資料をたくさん読みましょう。そして、自分の考えを講義やグループワークを通して深めていきましょう。

講義名	基礎看護学実習Ⅱ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（臨地実習）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	2	時間	90.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/90時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 横山 ひろみ	看護学科教員

担当教員	横山ひろみ・関根由紀子・山崎美智子・塩見 直子・鳥海美穂子・加古 幸子・宍戸 裕子
科目の目標	これまでに学習した看護学の基礎的知識や技術を活用し、看護が、対象との関係を基盤として成り立っていることを理解する。このことから入院生活を送っている患者と援助的関係を築きながら、看護職者としての基本的な日常生活行動の援助技術を実施し、倫理的態度を養う。
学習の具体的な目標	詳細は別途配布する「実習要項」による。
授業計画表	
詳細は別途配布する「実習要項」による。 実習期間：2025年9月22日～10月3日 実習場所：埼玉医科大学国際医療センター 事前に学内で実習オリエンテーションを行う。	
評価方法	実習状況・態度、記録物、出席状況を総合的に評価する。
教科書	看護学概論Ⅰ、看護方法演習Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴで使用した教科書
参考書	看護学概論Ⅰ、看護方法演習Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴで使用したテキスト
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【横山】 月曜日から金曜日の16：00から17：00 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 Email：yoko_h@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	1) 基礎看護学実習Ⅰの単位を修得していること。 2) 基礎看護技術Ⅳ、Ⅴ、看護方法演習Ⅱを履修し、単位認定資格を有すること。 3) 実習内容について、予習、復習し実習に臨むこと。 4) 遅刻、早退、欠席をしないように注意すること。 5) 次週記録、課題に対し、フィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)

講義名	老年看護学実習Ⅰ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（臨地実習）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	実習
基準単位数	1	時間	45.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/45時間		
必修・選択	必修		
配当年次	2年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 鳥谷 めぐみ	看護学科教員

担当教員	鳥谷めぐみ・丸井 明美・高橋裕里子
科目の目標	高齢者疑似体験や高齢者とのふれ合いを通して、「高齢期を生きる」ということについて学修を深める。
学習の具体的な目標	1. 高齢者が営んでいる日常生活の多様性について理解できる。 2. 高齢者と円滑なコミュニケーションをとる上で配慮すべきことを説明できる。 3. 高齢者の語る内容に関心を向けて話を聴き、対象である高齢者の強みや大切にしていることを説明できる。 4. 高齢者疑似体験を通して、高齢期を生きる人々が体験している身体的・心理的・社会的な変化とその変化に伴う必要な支援について説明できる。 5. 実習を通して自己の高齢者観を深め説明できる。
授業計画表	
詳細は別途配布する「実習要項」を参照。 ・実習期間：前半グループ 令和7年7月22日（火）～7月25日（金） 後半グループ 令和7年7月28日（月）～8月1日（金） ・学習内容：高齢者疑似体験（学内演習）高齢者ケア関連施設における実習 ・実習施設：日高市、飯能市、越生町にある介護保険に関連した高齢者ケア施設5か所。各施設に3～5人配置。実習前に全体オリエンテーションを実施します。	
評価方法	1. 実習記録、課題レポート、実習の参加状況、実習に際しての身だしなみ、グループワークやカンファレンスでの積極性を総合的に評価する。
教科書	配付資料
参考書	1. 認知症ケアガイドブック（照林社） 2. 認知症plusコミュニケーション（日本看護協会出版会） 3. 高齢者の看護技術（医歯薬出版株式会社）
連絡先/オフィスアワー	オフィスアワー：火曜日・水曜日12:10～12:30。 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にメール等でアポイントメントを取って下さい。 メール：toriya@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	事前に図書館で参考文献などの確認を行い、実習終了後には学習内容の見直しを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けて下さい。 （予習時間30分、復習時間30分）